

建設荷役車両



NOV

VOL.43 No.254

第254号
2021-7

令和3年7月1日発行 (隔月1回1日発行)



令和3年特自検啓発イメージモデル
葵わかなさん



公益社団法人 **建設荷役車両安全技術協会**
SAFETY ASSOCIATION OF CONSTRUCTION AND LOADING VEHICLES

URL <http://www.sacl.or.jp>



とくじけんさん

建設車両用タイヤに待望の新シリーズ登場！！



クッション性に優れた
穴あきノーパンクタイヤ

製品サイズ

- ・16.00-25
- ・17.5-25
- ・20.5-25
- ・23.5-25 他各種

大型ホイールローダー対応!!
各機種用ホイールも製作します
ホイールとセットで更にお買い得!

スノー用パターン
大型ニューマチックタイヤ

製品サイズ

- ・16.9-24 12PR TL
- ・17.5-25 12PR TL(今冬販売開始)
- ・20.5-25 16PR TL(今冬販売開始)

大好評スノーパターンに
待望の大型サイズ登場!!
ピン打ち場所もしっかり確保



産業車両用 建設機械用タイヤのことなら

MRC 丸中ゴム工業株式会社

TEL:052-889-5556

FAX:052-889-5558

本社:愛知県名古屋市瑞穂区二野町4-11

URL : <http://www.marunaka-rubber.co.jp>



『建設荷役車両』 254号 (2021-7月号) アンケートのお願い

(公社)建設荷役車両安全技術協会
 広報委員会 行(ご回答期限: 令和3年8月16日)

送信先 FAX : 03-3221-3665
 E-mail : koho@sacl.or.jp

※ この用紙は必要な場合はコピーしてお使いください

ご記入頂いたアンケートは、上記宛先まで、FAXもしくはE-mailでご送信下さい。

なお、本アンケートはWEB上からもご回答いただけます。建荷協HPの会員ページより、「機関誌アンケート」にアクセスしてください(詳細は本用紙裏面を参照)。

※回答期限までにご回答を頂いた方の中から抽選でQuoカード1000円分を3名様に贈呈いたします。(結果発表は発送をもって代えさせていただきます)

◆ 下記の記事について、あてはまるものを一つお選びいただき□に✓をご記入ください。

記事番号	記事(掲載頁)	読んだ(あてはまるものを一つ選んでください)					読んでいない
		満足(興味をもった)	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満(興味をもてず)	
1	広報 令和2年特自検済標準等頒布状況(5頁)	<input type="checkbox"/>					
2	広報 常設委員会報告(8頁)	<input type="checkbox"/>					
3	広報 令和2年度考案賞入賞作品(16頁)	<input type="checkbox"/>					
4	広報 新連載 特自検記録表作成支援ソフトの紹介 第1回(33頁)	<input type="checkbox"/>					
5	広報 グラフで見る特自検 第8回(35頁)	<input type="checkbox"/>					
6	広報 特自検Q&A 第8回(39頁)	<input type="checkbox"/>					
7	技術解説 WJ09B1RN アップ&オーガ型電動式高所作業車の紹介(43頁)	<input type="checkbox"/>					
8	連載講座 技術・技能の継承 第2回(47頁)	<input type="checkbox"/>					
9	イラスト災害事例(53頁)	<input type="checkbox"/>					
10	安全・技術講座 我が社のセールスポイント(59頁)	<input type="checkbox"/>					
11	製品紹介(63頁)	<input type="checkbox"/>					

◆ 満足した(または不満の)記事は、どういう点が良かった(良くなかった)ですか。

記事番号	良かった(良くなかった)点

◆ 新連載の「特自検記録表作成支援ソフトの紹介」(33頁掲載)はいかがでしたでしょうか。ご感想、ご意見をお聞かせください。

また「特自検Q&A」コーナー(39頁掲載)では、特自検に関する質問を募集しています。質問は、こちらにご記入ください(欄が足りない場合は自由に用紙を追加してください)。

● 名 前(フリガナ):	● 年齢(任意)	● 性別(任意)
	歳	男・女
● 勤務先名称:	● 役職:	
● 勤務先所在地: 干 -	TEL:	
都 道		
府 県		
● 職種(○で囲んでください): 1 代表・役員 2 営業・サービス 3 設計・技術開発等 4 現業・製造等 5 総務・経理等 6 その他		

ご協力ありがとうございました (ご記入の個人情報は抽選品発送及び個人が特定できない形の集計・調査に使用させていただきます)

(切り取り線)

「機関誌アンケート」へのアクセス方法

建荷協ホームページ (<http://www.sacl.or.jp>)

- ➡会員ページ (ユーザー名 saclhp / パスワード saclhp 入力)
- ➡機関誌アンケート (「254号 (2021-7月号) アンケートへ移動」クリック)
以下アンケートにお答えください、入力時間は数分です。

The screenshot shows the homepage of the Society for the Advancement of Construction Vehicle Safety (SAACL). At the top right, a search bar contains the text '会員' (Member), which is highlighted by a black box with the text '会員ページ' (Member Page) and a downward-pointing arrow. Below the search bar is a navigation menu with icons for '特自検' (Special Inspection), '研修・教育' (Training/Education), '頒布品' (Distributions), '災害事例' (Disaster Cases), '協会案内' (Association Information), and '支部' (Branches). The main content area features a large banner for '特自検' (Special Inspection) with a photo of a woman and the text '建設荷役車両に関わるすべての企業のために' (For all companies involved in construction vehicles). Below the banner is a section titled '新着情報' (New Information) with two columns of news items.

建荷協からのお知らせ	行政・関係団体等からのお知らせ
2021年1月13日 (株) 東協扱いの詳細記録表を追加	2021年1月6日 【厚労省】「押印を求める手続の見直し等のための厚生労働省関係省令の一部を改正する

建荷協ホームページ トップページ

より良い誌面作りのため、アンケートにご協力ください。

なお、FAX (もしくはE-mail) とWEB上から重複してアンケートを回答された場合は、WEB上からの回答を採用させていただきます。



- ◆ 令和2年（1～12月）特定自主検査済標章等頒布状況
- ◆ 令和2年度考案賞入賞作品
- ◆ 新連載 特定自主検査記録表作成支援ソフトの紹介 第1回
- ◆ 令和3年度「考案賞」対象考案の募集について



建設荷役車両

2021-07 VOL.43 No.254

INDEX

■ 巻頭言

フォークリフトと当社の改善活動 岩丸 克之 4

■ 広報

令和2年(1~12月)特定自主検査済標章等頒布状況 5

常設委員会活動報告 8

令和2年度考案賞入賞作品 16

新連載 特定自主検査記録表作成支援ソフトの紹介 第1回 33

グラフで見る特自検 第8回 35

特自検Q&A 第8回 39

■ 技術解説

WU09B1RN アップ&オーバ型電動式高所作業車の紹介 福島 康之 43

■ 連載講座

技術・技能の継承 第2回 松田 博文 47

■ イラスト災害事例 53

■ 随想

世代交代 川尻 紳示 57

■ 安全・技術講座

我が社のセールスポイント 59

広島県支部 トヨタL&F広島株式会社

■ 製品紹介

新型13トン級油圧ショベル「SK125SR」、 「SK135SR」、 「SK130SR+」 /
油圧ショベル向けオプション積込み荷重計量機能「K-LOAD（ケイロード）」 /次
世代大型油圧ショベル「345GC」 /多機能型鉄骨カッター（3～5ton搭載用）
「Vc5」 /ICT 油圧ショベル「ZX200X-7」、 「ZX330X-7」 /土工用振動ローラ
「ZC120S-6」 /マカダムローラ向けオプション「衝突被害軽減アシスト装置」 /
通信工事用高所作業車「AT-121TTE」 63

■ お知らせ

令和3年度「考案賞」対象考案の募集について.....	71
建荷協の動き.....	75
令和3年度 特定自主検査資格取得研修・教育の予定表	77
令和3年度 各種研修の受講料	85
特定自主検査者資格取得者名簿（令和3年4月1日～令和3年5月31日） ...	86
支部一覧.....	88
令和3年度版 建荷協発行図書等のご案内	89
編集後記.....	93

- 機関誌アンケートはWEB上からもご回答いただけます。建荷協HPの会員ページより、「機関誌アンケート」にアクセスしてください（詳細はアンケート用紙裏面を参照してください）。



フォークリフトと当社の改善活動

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会
理事 岩丸 克之
山九株式会社 LS事業本部 3PL事業部長

当社は1918年の創業以来、100年を超える事業活動において、お客様の構内における操業のサポート、国内外での原材料の調達・製品物流、大型プラントの輸送、据え付け、機械・設備のメンテナンスなどの事業を行っており、物流・機工・構内操業支援を融合させた「山九ユニーク」と呼ぶ独自のビジネスモデルを構築し、事業を展開してまいりました。

山九の社名の由来は「ありがとう」という感謝の気持ちからきており「人を大切にできる心」を基本理念に掲げ、この企業理念に基づいた当社社員の「行動規範」の一番目は、「安全を全てにおいて優先します」であり、人材育成の基本でもあります。

また、安全に加え品質向上も事業の両輪と考え、グローバルの現場を含めて「いつでもどこでも山九品質」を提供することを合言葉に、全職場、従業員参加型の改善提案活動を進めており、直近ではグループ全体で年間約31万件強の改善が提案されています。

当社は物流・機工という事業内容から、グローバルで数多くの荷役車両を使用しておりますが、その中でもフォークリフトの数が多く、国内の現場で約1,600台、私が担当する国内の3PL^(※1)現場だけでも800台近くのフォークリフトを使用しております。

我々はこれまでの事業活動の中で、フォークリフト作業における災害や物損事故を経験し、その都度、多くの改善を行ってまいりましたが、その一例として「フォークリフト・重機と作業員の接近感知システム」の開発があります。

このシステムは、RFIDを用いて運転手の死角にいる人を検知し、運転手に知らせる改善であり、運転手の不注意を含めて作業員との接触を防止するものです。現在、特許を取得しフォークリフト・重機に活用中ですが、この改善は社員による発明改善として社長賞を受賞しました。

フォークリフトや周辺機器については技術開発が進み、当社でも3PL現場のフォークリフトの約8割にドライブレコーダーが装着されており、今後はAGF^(※2)やDX化^(※3)も進展すると思われませんが、作業においてはまだまだ人が介在する部分が多く、やはり運転手への実地教育が最も重要です。当社では、フォークリフトの技能大会を支店・エリア・全社レベルで開催しており、今後もグローバルにも拡大していきます。

これからも我々は、「人を大切にできる心」の下で、運転手、作業員の方へ「やさしい心」を持って改善活動を推進してまいります。

「ご安全に！」

(※1) 3PL：サードパーティー・ロジスティクス（物流の一括外注）

(※2) AGF：無人搬送フォークリフト

(※3) DX：デジタルトランスフォーメーション（デジタル化による革命）

令和2年（1～12月） 特定自主検査済標章等頒布状況

建設荷役車両安全技術協会 本部

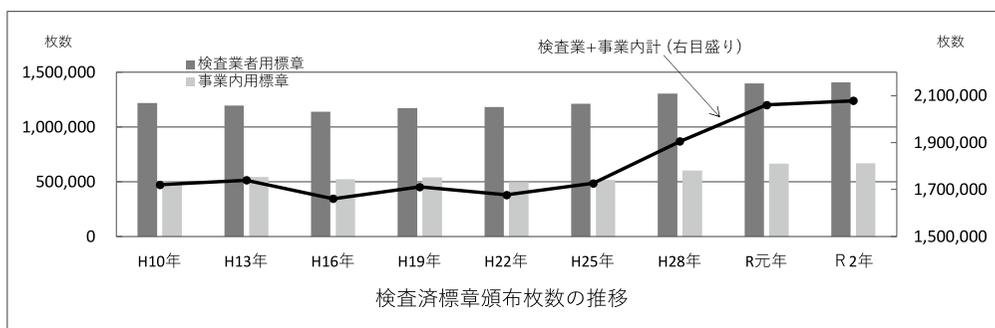
本表は標章等の頒布を通じて、特定自主検査の実情を把握するために集計したものです。
なお、下記の点に留意ください。

1. 特定自主検査済標章は暦年更新のため、令和2年（1～12月）用標章の集計枚数となっています。
2. 検査業者用標章は、不特定多数の顧客の検査を見込んでいるために実施台数より多いのが通常です。
3. 事業内検査標章は標章頒布に際し、検査資格者の確認、事業主の実施台数の申告に基づき必要枚数のみ頒布しますので、頒布枚数は実施台数に近い数値と思われま
4. 出荷標章及び月例検査済シールは、令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）中に支部の売上に基づき精算した枚数です。
5. 出荷標章は特定自主検査済標章のように暦年更新でなく、何時でも購入することができます、まとめて購入するので、年間購入枚数＝年間新車台数と見なすことはできません。傾向を知る程度でご覧下さい。

頒布状況

（単位：枚数）

No.	名称	令和2年実績	令和元年実績	対前年比(%)
1	検査業者用標章	1,408,124	1,396,910	101
2	事業内用標章	669,941	663,682	101
1 + 2 計		2,078,065	2,060,592	101
No.	名称	令和2年度実績	令和元年度実績	対前年度比(%)
3	出荷標章	170,898	199,433	86
4	月例検査済シール	8,885	9,108	98



支部別検査済標章頒布状況

(単位：枚数)

支部名	1. 検査業者用標章			2. 事業内用標章		
	R 2 年	R 元年	対前年比	R 2 年	R 元年	対前年比
北海道	60,805	62,357	98%	52,451	50,903	103%
青森県	26,223	26,833	98%	7,682	7,488	103%
岩手県	34,922	33,612	104%	6,571	7,121	92%
宮城県	30,150	28,999	104%	18,930	19,437	97%
秋田県	16,199	16,458	98%	5,388	5,162	104%
山形県	17,116	16,751	102%	4,290	4,199	102%
福島県	35,875	37,949	95%	8,003	7,393	108%
茨城県	42,003	39,218	107%	12,704	12,267	104%
栃木県	35,842	36,143	99%	6,530	6,583	99%
群馬県	33,627	32,765	103%	17,208	16,752	103%
埼玉県	69,304	68,649	101%	20,944	24,699	85%
千葉県	45,209	43,947	103%	25,281	24,254	104%
東京都	49,701	50,269	99%	126,621	123,252	103%
神奈川県	55,602	56,344	99%	33,968	32,361	105%
新潟県	38,005	37,708	101%	6,708	6,841	98%
富山県	23,122	23,434	99%	4,968	4,466	111%
石川県	18,303	18,542	99%	3,962	4,095	97%
福井県	15,286	14,980	102%	3,929	3,732	105%
山梨県	11,297	11,219	101%	3,298	2,836	116%
長野県	36,570	38,557	95%	6,389	6,250	102%
岐阜県	30,681	30,060	102%	5,150	5,199	99%
静岡県	58,789	57,749	102%	73,076	71,813	102%
愛知県	100,890	100,723	100%	20,469	20,045	102%
三重県	30,945	30,103	103%	6,956	7,054	99%
滋賀県	22,780	22,536	101%	3,594	3,476	103%
京都府	18,333	18,232	101%	6,806	8,044	85%
大阪府	72,547	71,725	101%	27,172	27,226	100%
兵庫県	49,158	48,822	101%	13,238	13,245	100%
奈良県	8,402	8,204	102%	7,274	7,194	101%
和歌山県	12,086	11,957	101%	5,984	6,194	97%
鳥取県	7,720	7,619	101%	2,653	2,622	101%
島根県	9,519	9,344	102%	3,088	3,483	89%
岡山県	27,571	27,438	100%	15,415	15,607	99%
広島県	39,319	38,291	103%	15,534	15,292	102%
山口県	16,044	15,769	102%	8,461	8,213	103%
徳島県	10,569	10,322	102%	3,365	3,065	110%
香川県	15,258	14,996	102%	4,580	4,538	101%
愛媛県	21,578	21,340	101%	6,170	6,341	97%
高知県	8,807	8,826	100%	2,480	2,690	92%
福岡県	45,962	46,573	99%	23,695	22,302	106%
佐賀県	9,558	8,865	108%	4,608	4,725	98%
長崎県	11,704	12,088	97%	4,440	4,007	111%
熊本県	17,928	17,603	102%	9,353	10,495	89%
大分県	15,020	13,090	115%	4,779	5,414	88%
宮崎県	18,352	17,103	107%	2,457	2,411	102%
鹿児島県	21,969	21,102	104%	6,213	6,397	97%
沖縄県	11,474	11,696	98%	7,106	6,499	109%
合計	1,408,124	1,396,910	101%	669,941	663,682	101%

支部別出荷標章・月例検査済シール頒布状況

(単位：枚数)

支部名	3. 出荷標章			4. 月例検査済シール		
	R 2 年度	R 元年度	対前年度比	R 2 年度	R 元年度	対前年度比
北海道	5,835	8,495	69%	58	40	145%
青森県	1,363	1,423	96%	63	94	67%
岩手県	940	885	106%	12	25	48%
宮城県	4,501	4,211	107%	204	147	139%
秋田県	789	950	83%	32	21	152%
山形県	970	1,480	66%	49	40	123%
福島県	4,078	3,780	108%	75	62	121%
茨城県	8,170	10,250	80%	235	183	128%
栃木県	3,240	2,941	110%	471	528	89%
群馬県	2,990	2,865	104%	203	286	71%
埼玉県	11,330	15,165	75%	1,010	699	144%
千葉県	5,640	5,985	94%	1,277	1,223	104%
東京都	11,235	10,830	104%	1,272	1,596	80%
神奈川県	5,443	7,377	74%	990	820	121%
新潟県	4,760	7,618	62%	37	31	119%
富山県	940	1,320	71%	11	2	550%
石川県	970	1,600	61%	0	20	0%
福井県	800	950	84%	0	44	0%
山梨県	570	869	66%	18	12	150%
長野県	2,580	2,685	96%	14	17	82%
岐阜県	1,420	1,400	101%	66	4	1650%
静岡県	5,495	5,395	102%	508	619	82%
愛知県	10,330	13,305	78%	242	316	77%
三重県	1,830	2,463	74%	224	227	99%
滋賀県	6,051	3,175	191%	83	90	92%
京都府	1,600	2,821	57%	66	40	165%
大阪府	18,115	21,475	84%	314	301	104%
兵庫県	4,210	7,510	56%	41	83	49%
奈良県	990	480	206%	10	4	250%
和歌山県	990	838	118%	11	5	220%
鳥取県	451	530	85%	5	0	-
島根県	540	540	100%	3	18	17%
岡山県	2,661	3,052	87%	73	117	62%
広島県	12,425	12,952	96%	411	388	106%
山口県	1,490	690	216%	0	24	0%
徳島県	490	640	77%	10	7	143%
香川県	2,620	2,423	108%	40	43	93%
愛媛県	1,680	1,555	108%	90	23	391%
高知県	590	620	95%	2	0	-
福岡県	13,160	19,720	67%	345	433	80%
佐賀県	580	250	232%	134	207	65%
長崎県	331	320	103%	1	51	2%
熊本県	1,740	1,345	129%	92	139	66%
大分県	860	945	91%	50	2	2500%
宮崎県	1,060	1,160	91%	15	21	71%
鹿児島県	1,175	1,030	114%	17	54	31%
沖縄県	870	1,120	78%	1	2	50%
合計	170,898	199,433	86%	8,885	9,108	98%

常設委員会報告

—令和2年度活動状況および令和3年度事業計画—

建設荷役車両安全技術協会 本部

建荷協では、協会の事業遂行に必要なさまざまな事項について、検討を行うための委員会を設置し、活動しています。(現在は「特自検委員会」「検査・整備技術委員会」「研修委員会」「広報委員会」の4委員会)

4委員会の「令和2年度事業計画に基づく活動状況」と「令和3年度事業計画に関する構想」がまとまりましたのでここに紹介します。読者の皆様、様々な委員会活動にもご協力をお願い申し上げます。

■特自検委員会

I 令和2年度事業計画に基づく活動状況

1. 「特定自主検査セミナー」を積極的に開催した。

特定自主検査セミナーは12支部において14回開催し、検査業者195社、250名、事業内検査事業所71社、79名、合計266社、329名の参加があった。

令和2年度当初の開催予定では23支部25回、1,415名参加の計画をしていたが、コロナ禍の影響で11支部が中止とした。セミナーの内容は「特定自主検査業務マニュアル」を使用し、事業主、機械管理者へ特自検の管理の重要性を周知した。また、開催した各支部については、都道府県労働局から健康安全課長、安全専門官等の出席をいただき、労働災害防止対策等の講演をいただいた。

2. 新任巡回指導員の集合教育を開催した。

新任巡回指導員の教育・研修会を実施し

た。当初計画では6月に東京会場、9月に大阪会場の2回開催予定としていたが、コロナ禍の緊急事態宣言により6月は中止し、9月に東京へ会場を変更して開催した。参加申し込みは10名あったが、最終的に受講者は首都圏近郊の6名に留まった。

教育内容としては、検査記録表の記入要領、特自検実施後の管理方法のほか、巡回指導のロールプレイング（疑似体験）を通して検査業、事業内検査者の指導方法を学んでいただいた。

3. 巡回指導活性化のため、大阪府支部とヒアリングを実施した。

特自検の普及活動促進の一環として、検査業者及び事業内検査者が適正な特定自主検査の実施と管理が出来ているかの点検を巡回指導で実施している。その中で、地域的に対象事業所数が多くあり、巡回指導の訪問カバー率を改善が必要と思われる大阪府支部と巡回指導員の活動の活性化ためのヒアリングをオンラインで行った。

課題は、巡回指導員の出身企業がフォー

ク系に偏っていることから、建機系からも排出要請が必要なこと、企業を退職されたOBへのお願いなど検討することとした。令和3年度も継続フォローを行う。

4. 「特定自主検査強調月間」を効果的に展開した。

令和2年度の特定自主検査強調月間の際に、31支部において巡回指導が実施され延べ指導日数172日（平均5.5日/支部）、訪問社数1,060社（平均34.2社/支部）であった。

巡回指導員は延べ349名、行政の同行担当官は延べ36名、その他団体等の参加者67名の動員で、延べ452名による巡回指導が実施された。

また、「特定自主検査記録表の記入要領（抜粋版）」を22支部において活用し巡回指導時に検査記録表の適正な記入の指導を行い、今後の効果に期待する。

5. 書籍等の改訂作業を行った。

特定自主検査の実施体制及びその管理体制の整備促進のため、参考資料となる各図書及び資料を追記、改訂を行った。

6. 特自検検査記録表作成支援ソフトを製作した。

昨年に引き続き、特自検記録表作成支援ソフトの開発を行い、全15機種28シートを完成させた。取扱いマニュアル、運用方法など都道府県支部の意見集約を行い、令和3年5月に協会会員向けの機関誌と同梱し、CD-ROMで配布することとした。

現状は、特定自主検査を実施後、結果を記録表へ転記することに多くの時間を費やしている。また、記録表の記入漏れ、記載

ミス等があることから、特自検検査記録表作成支援ソフトを提供することにより、協会会員の検査者は検査記録表記入の品質向上、記録表作成の効率化に期待をする。なお、特自検記録表作成支援ソフトは、現行の手書き特自検記録表すべての使用量の約97%をカバーできる。

7. 窓口資料の充実化を図った。

定期自主検査指針に沿った定期自主検査記録表（月次）を実施していただくために、昨年ホームページへ記録表を無償で公開した。協会が発行する定期自主検査記録表（月次）の使用率は特定自主検査実施台数から理論値を算出すると、2%弱である。

主な要因は、①法令で定められてはいるが未実施が予測されること、②メーカー各社が独自で記録表を作成していること、③定期自主検査（月次）の実施者が資格者へ限定されていないことが考えられる。

今年度は使用促進のためにリーフレットを作成し支部へ配布した。機械保有者及び検査者に標章頒布時や研修会等のあらゆる機会でもPRしていく。

II 令和3年度事業計画に関する構想

1. 「特定自主検査セミナー」を積極的に開催する。
2. 新任巡回指導員の集合教育を東京会場・大阪会場での2回開催する。
3. 巡回指導の活性化のために支部を支援する。

4. 「特定自主検査強調月間」を効果的に展開する。
5. 検査業者が自主的に、より適切な検査を行うための支援制度を検討する。
6. 特定自主検査の検査記録表支援ソフトの会員公開と普及を図る。
7. 関係団体へ積極的な協力を行う。
- 以上

■検査・整備技術委員会

I 令和2年度事業計画に基づく活動状況

1. 検査・整備技術委員会の活動状況

委員会開催日	実施事項
5月25日	今年度事業を推進する分科会活動の方針決定等（書面承認）
9月18日	今年度事業の中間報告及び来年度事業についての意見交換等（書面承認）
11月20日	整備技術情報の現場訪問調査を(株)豊田自動織機 高浜工場にて実施
2月15日	考案賞2次選考、令和2年度業務実施状況報告（Web会議、書面承認）

2. 各分科会の活動状況

5分科会を設置し、事業を推進した。

分科会名	開催予定月	実施事項
フォークリフトマニュアル及びテキスト改訂分科会	7月29日	フォークリフトの能力向上用テキストを改訂し、新しいモデルや機構等の解説を追加した。特自検マニュアルは、指針改訂の時期に合せ発行することとした。
	10月28日	
	3月4日	
高所作業車マニュアル及びテキスト改訂分科会	6月2日	高所作業車の特自検マニュアルと能力向上用テキストを改定し、新たな油圧機器及びシステムの解説を追加した。災害事例の章の見直しを行った。
	10月9日	
	3月10日	
コンクリートポンプ（CP）車マニュアル及びテキスト改訂分科会	6月5日	CP車の特自検マニュアルと能力向上用テキストを改定し、新たなシステム・機構の解説をした。新機種情報を追加した。
	10月16日	
	1月26日	
CP車検査・整備基準値表改定分科会	6月15日	CP車の検査・整備基準値表を改定し、ホームページ上に公開した。検索機能の付帯検討を始めた。
検査指針検討分科会	7月17日	厚労省の求めに応じ、定期自主検査指針の点検項目について技術的検討を行い、検討結果を報告・説明した。

3. 機関誌「技術解説」の掲載

検査・整備技術委員に依頼し下記技術解説を機関誌に掲載した。

企業名	解説名	掲載月
日本車輛製造(株)	DHJ60-3 多目的掘削仕様機の開発	令和2年5月 247号
日本ニューマチック工業(株)	エネルギー効率の最適化の解体用圧碎具の紹介	令和2年7月 248号
三和機材(株)	アースオーガ：SA-SMD-240R-A08Hiの紹介	令和2年9月 249号
三菱ロジスネクスト(株)	新型カウンタバランスタイプバッテリーフォークリフト“ALESIS（アレシス）”の開発	令和3年1月 251号
(株)豊田自動織機	トヨタGENEO（1.0～8.0tエンジンフォークリフト）、ショベルローダー（0.7～1.5t）の商品改良について	令和3年3月 252号

II 令和3年度事業計画に関する構想

1. 検査・整備技術の向上

(1) 検査・整備技術資料の整備充実

ア 特自検マニュアルを改訂する。

(ア) 特自検マニュアル（締固め用機械）

(イ) 定期自主検査マニュアル（ショベルローダー等）

(ウ) 特自検マニュアル（フォークリフト）

(エ) 特自検マニュアル（原動機）

(オ) 特自検マニュアル（整地運搬等及び解体）

(カ) 特自検マニュアル（上部旋回体・下部走行体）

イ 以下の技術資料の改訂を行う。

(ア) 能力向上テキスト（締固め用機械）

(イ) 「特定自主検査対象機械の概要」

ウ 今年度改訂するマニュアル等の改訂内容について年度始め、事前に意見要望を集める。

(2) 検査・整備技術情報の調査推進

ア 次の情報を収集し「機関誌」に掲載する。

(ア) 新しい製品、機構及び部品に関するもの

(イ) 検査、整備に関するもの

(ウ) 検査機器、技術に関するもの

イ 機関誌の「技術解説」をメーカーに依頼し毎号掲載する。

(3) 建設荷役車両の安全向上に関する知識の普及促進

ア 検査指針改訂内容の周知と研修図書への対応を行う。

(ア) 変更内容解説書作成

(イ) 記録表記入方法の検討・追加

(ウ) メーカー基準値の収集・取りまとめ

(4) 検査・整備関連考案情報の募集、評価及び公表

「考案賞」対象考案の募集、評価及び公表を行なう。

以上

■研修委員会

I 令和2年度事業計画に基づく活動状況

1. 資格取得研修の充実及び計画的実施の促進

(1) 資格取得研修の年間計画の策定及び機関誌等への広報

年間計画を機関誌及びホームページで広報した。

資格取得研修の開催回数を見ると本年度4月から3月までではコロナ禍の影響を受け179回と、前年同期の210回と比べ14.8%減少した。本年度の資格取得研修受講者数も同様に、2,118名と前年同期2,820名に比べマイナス24.9%と大幅に減少している。

資格取得研修修了証発行数については2月末時点で、本年度は2,164件と前年同期の2,368件と比べて8.6%の減少となっている。

(2) 資格取得マニュアルの改訂に伴う、指導書・スライド等の見直し（車両系建設機械上部旋回体、下部走行体、ジブリーダー・ワイヤーロープ）及び油圧機器、検査記録表の記入要領のスライドを改定した

(3) 検査員研修監査

15支部で監査を実施した。（指摘事項あり12支部、指摘事項なし3支部）

2. 能力向上教育、実務研修、安全教育の充実及び計画的実行

(1) 能力向上教育等の年間計画の策定及び機関誌等への広報

年間計画を機関誌及びホームページ

で広報した。

能力向上教育等の実施結果を見ると、本年度4月から3月までの能力向上教育の受講者数は検査者研修と同様にコロナ禍の影響を受け2,018名と前年同期の3,462名に比べ41.7%の大幅な減少となった。

実務研修の本年度受講者数も同様に1,149名と昨年同期の1,790名に対し35.8%の減少となった。

安全教育についても、本年度の受講者数は746名と前年同期の1,143名と比べ34.7%の減少となった。

3. 研修講師の養成・レベル向上

(1) 「建機付属クレーン部分の定期自主検査安全教育」講師養成研修

5月17日（金）に日本教育会館で予定していたが、全国的なコロナ状況により、開催を中止して、状況により再計画を構築していたが、未開催となった。

(2) 実務研修「検査業者業務点検コース」講師養成研修

8月8日（木）から8月9日（金）に日本教育会館で予定していたが、(1)と同様に未開催となった。

(3) 新任講師研修

新たに講師登録された方々を対象に「新任講師研修会」をコロナ対策として大きな会場で、検温、消毒等及び少人数で換気を施しながら開催し、検査実習や具体的な講義手法について研修を行った。

日時：令和2年10月22日（木）

13時～18時

令和2年10月23日（金）

9時～14時

場所：日本教育会館

受講者数：6名

日時：令和 2 年11月12日
13時～18時

令和 2 年11月13日
9 時～14時

場所：日本教育会館

受講者数：9 名

(4) **ベテラン講師及び研修業務管理者の
交流・研修会**

研修講師のみならず研修業務管理者
(事務局長等)も対象にした「ベテラン
講師交流・研修会」を令和 2 年 2 月25日
(火)・26日(水)に日本教育会館で予
定していたが、コロナ状況が増加傾向
のため、余儀なく中止とした。

(5) 検査員研修の監査を今期も15支部対
象に行う。

2. **能力向上教育、実務研修、安全教育の
充実及び計画的実行**

(1) 能力向上教育等の年間計画を、機関
誌、HPに広報する。

資格研修と同様に全支部の状況を
把握し、回数増加に努める。

(2) 車両系建設機械(基礎工事用)など
開催回数の少ない能力向上教育の開
催を支援する。

必要に応じ支部間の調整支援を行う。

(3) 能力向上教育及び実務研修につい
て、受講者の拡大を図る方針につい
て検討する。

II 令和 3 年度事業計画に関する構想

1. 資格取得研修の充実及び計画的実施の 促進

(1) 資格取得研修の年間計画を、機関誌、
HPに広報する。

コロナ対策として、1 回の受講者
数を抑え、多くの支部で開催できる
ように、未開催支部も含めて全支部
の状況等を調査し、回数を増加させ、
受講者数を増やすように取り組む。

(2) 広域担当研修講師及び検査実習担当
研修講師の制度を推進する。

(3) 基礎工事、コンクリートポンプ車等の
開催回数の少ない検査者研修の開催
を委員会を通し各支部に働きかけ、講
師等を派遣しながら開催につなげる。

(4) フォークリフト・コンクリートポンプ
車・高所作業車のマニュアル及び能力
向上教育テキストの改訂に伴って、指
導書・スライド等の見直しを行う。

3. 研修講師の養成・レベル向上

(1) 新任講師研修を実施する。

(2) 「ベテラン講師交流・研修会」を開催
し、研修・教育のレベル向上を図る
と共に広域担当講師の確保を図る。

(3) 実務研修「検査業者業務点検コース」
の講師研修会を昨年開催出来なかった
ためコロナの状況を見ながら開催する。

(4) 「建機付属クレーン部分の定期自主
検査安全教育」の講師養成研修も(3)
と同様に開催する。

(5) 講師の研修時の負担軽減を図ることを
目指した教材や副教材の作成し、モデ
ル支部に提供し、活用状況を見ながら、
各支部の研修に導入し定着化を図る。

4. 離島における各種研修等の開催要望への 対応

(1) 離島や通常開催地以外での各種研
修・教育等開催を支援する。

以上

■広報委員会

I 令和2年度事業計画に基づく活動状況

1. 広報委員会の開催状況

(1) 広報委員会（定例）

No.	開催日	主な実施事項
1	(5月8日)	・令和3年版年間ポスター／標語の選考他(書面にて確認、承認)
2	7月10日	・令和3年版年間ポスターの制作について協議他
3	9月4日	・令和3年版年間リーフレットおよび対象機械ラインアップポスターの制作について協議他
4	11月6日	・特自検PR用幟(のぼり)の制作について協議他
5	(1月8日)	・令和3年度掲載用イラスト災害事例の選考他(書面にて確認、承認)
6	(3月19日)	・令和3年度強調月間リーフレットとポスター制作他(書面にて確認、承認)

(2) 広報委員会による取材見学会

- ・現場、工場取材見学会とも中止

2. 令和2年度事業計画に基づく活動状況

機関誌、ポスター・リーフレット等のPR資料、ホームページ等により、特定自主検査制度の普及・定着化を図るために適切な情報をタイムリーに公開・提供した。

(1) 特自検PR資料の制作

() 内数値は前年実績

ア 年間ポスターの制作

- ・制作・配付した令和2年版年間ポスターを活用し、特自検の普及、PR活動を推進した。
- ・令和3年版年間ポスターについては、イメージキャラクターとして「葵わかな」さんを起用して15,150枚(15,400枚)を制作し、11月に支部、会員に配付した。

イ 年間リーフレットの制作

- ・制作・配付した令和2年版年間リーフレットを活用し、特自検の普及、PR活動を推進した。
- ・年間リーフレットについては、令和

3年より使用年を問わない仕様として、236,920枚(298,040枚)を制作し、11月に支部、会員に配付した。

- ・令和元年度の新たな取り組みとして制作し、支部に配付した特自検対象機械ラインアップポスター8,582部(1,200部)を制作し、令和2年は会員企業に配付した。

ウ 強調月間PR資料の制作

- ・令和2年度特自検強調月間用リーフレット120,600枚(168,500枚)およびポスター9,300部(9,500部)を制作し、9月に支部、会員に配付した。
- ・特自検強調月間用ステッカー10,458枚(11,750枚)を制作し、9月に支部、会員に配付した。

- ・強調月間の特自検PR・普及用グッズとして、卓上カレンダー5,300部(5,300部)を制作し、9月に支部に配付した。

エ その他

- ・通年用の特自検PR・普及用グッズと

して、幟(のぼり)4,296部を制作し、令和3年1月に会員に配付した。

(2) 機関誌の充実

ア 検査者・管理者等への情報提供の充実

- 令和元年度の調査結果に基づき、令和2年5月号機関誌より、会員企業の特自検に関する拠点にも拡大配付を開始した。
- モニターアンケートについて書式等を変更し、令和2年5月号より新たに開始した

イ 機関誌への新企画テーマの掲載とさらなるテーマの調査・検討

- 令和元年度より掲載開始した「考案賞受賞取材記事」「安全・教育施設取材記事」「グラフでみる特自検」を継続掲載、これに続き令和2年5月号より新企画「特自検Q & A」コンテンツの掲載を開始した
- さらなる新企画テーマとして調査・検討を行い、令和3年5月号より新連載講座「技術・技能の伝承(仮題)」の掲載を開始することとした。

(3) 情報発信の充実

ア 特自検強調月間の新聞PR

- 特自検強調月間の広告を業界向け新聞(物流業界紙11紙、建設業界紙39紙)に掲載した。
- 広告掲載に併せ、「特自検強調月間実施」の新聞発表(ニュースリリース投函)を実施した。
- 防災団体の刊行物に建荷協並びに特自検のPR広告を掲載した。

イ 本部ホームページのリニューアルオープンとフォローアップ

- 現状のメニュー・コンテンツ構成・

内容の見直しおよび画面デザインの刷新等を完了し、本部ホームページを令和2年7月16日にリニューアルオープンした。

II 令和3年度事業計画に関する構想

1. 広報活動の推進

(1) 特自検PR資料の制作

- ア 年間PR資料(ポスター、リーフレット等)を制作する。
- イ 強調月間PR資料(ポスター、リーフレット、グッズ等)を制作する。
- ウ 事業PR用ツールの見直し・改訂を行う。

(2) 機関誌の誌面充実

- ア 新企画テーマの掲載を開始し、さらに新たなテーマのための調査・準備を行う。
 - 「技術・技能の伝承」(仮題)
 - 上記に続くテーマの調査・検討
- イ 既掲載コンテンツの内容を見直し、充実させる。
 - (案)「技術解説」、「我が社のセールスポイント」見直し
 - その他の見直し
- ウ 機関誌モニターアンケートを見直して実施し、読者ニーズの把握を行う。

(3) 情報発信の充実

- ア 特自検強調月間の新聞PRを行う。
 - 支部要望も調査し、新聞PR手法について見直しを行い、実施する。
- イ 本部ホームページリニューアル後のフォローアップと充実、タイムリーな情報発信に努める。

以上

令和 2 年度考案賞入賞作品

建設荷役車両安全技術協会 本部

令和2年度の考案賞は、全国の会員から計56件の応募がありました。審査の結果「金賞」2件、「銀賞」4件、「努力賞」5件が選ばれ、各支部の総会等において賞状と賞品が授与されます。次頁以降に受賞作品の概要をご紹介します。

また、令和3年度の考案賞も現在募集中です。詳しくは本号71頁（カラー頁）をご覧ください。

なお、受賞企業を訪ねて、考案の苦労話等をお伺いする訪問取材シリーズも今後掲載する予定です。

令和 2 年度考案賞入賞作品一覧

賞名	支部名	会社名	考案者名 (敬称略)
		考案の名称	
金賞 2件	群馬県	日立建機日本株式会社 北関東信越支社 メンテナンス G 沼田メンテナンスセンタ	下村 浩武
		エアクリーナー吸塵機	
	大阪府	トヨタ L & F 近畿株式会社 メンテナンス部	谷川 貴士
		カウンター式フォークリフト ブレーキ組付け品質向上	
銀賞 4件	福島県	セフティ mio	遠藤 実
		リーチ式フォークリフトキャスタータイヤ交換治具	
	宮城県	トヨタ L & F 宮城株式会社 本部サービス部	齋藤 均
		ブレーキドラム脱着 SST	
	群馬県	日立建機日本株式会社 北関東信越支社 北関東支店 前橋北営業所	田辺 浩治
		エアシールド作製	
千葉県	コベルコ建機日本株式会社 ショベルサービス部	大谷 亮介	
	作動油タンクのバキュームポンプ（手動式）		
努力賞 5件	福岡県	日立建機日本株式会社 九州支社 福岡支店 福岡南営業所	小林 寛志
		マグネットキャッチ	
	新潟県	株式会社アル	青柳 誠
		バッテリーキャッチャー	
	岩手県	コマツカスタマーサポート株式会社 東北カンパニー 盛岡支店	藤原 和彦 (他2名)
		リーチフォークリフトキャスタータイヤのピン抜き安全治具	
	三重県	株式会社アイチコーポレーション 中部支店 名古屋中央 CSC 三重 SS	神谷 泰貴
		高所作業車下部作用リモコン作製	
	富山県	株式会社アイチコーポレーション 中部支店 北陸中央 CSC	水嶋 弘一
		ブーム起伏シリンダー脱着用高さ調整付き受け台治具	

令和2年度 公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 考案賞入賞作品

金 賞

エアクリーナー吸塵機

[群馬県支部] 日立建機日本株式会社 北関東信越支社
メンテナンスG 沼田メンテナンスセンタ 下村 浩武

【考案の動機】

整備工場内で点検整備時、以前は粉塵の蔓延を防ぐ為、周囲に気を配りながらエアクリーナーエレメントのエアブロー作業を行っており、工程に時間が費やされていた。

また、マスクや防護眼鏡を着用していても完全に防ぎきれない粉塵に作業者は悩まされていた。

以上の事の改善の為、考案した。



周囲に粉塵が飛散する状況

【考案の内容】

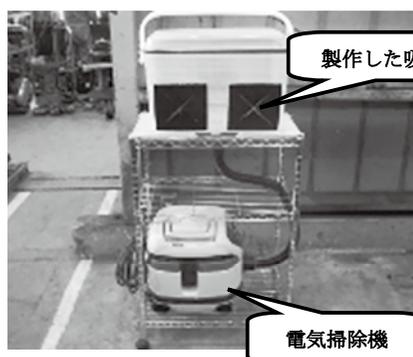
ホームセンターで入手可能な樹脂製のクリアボックスを利用したエアクリーナー用の吸塵機を製作、ボックスの寸法は縦450mm・横340mm・高さ300mmで上蓋の縁にはスポンジシートを貼り付け、作業者の手の挿入口に取り付けたゴム板の切れ込みに工夫を凝らし粉塵洩れの防止対策済みの物である。

ボックス底面には、樹脂製漏斗を加工した吸塵口を設け、吸塵効果を高めた上で電気掃除機に接続されている。



これを利用して製作

* 下側写真参照



【考案の効果】

- 周囲に粉塵を洩らす事無く、エアクリーナーエレメントの清掃が可能となり、作業場の衛生環境が改善された。
- 作業場に粉塵が散らない為、作業終了時の掃除に時間が掛からなくなり、効率化に繋がった。

金 賞

カウンター式フォークリフト ブレーキ組付け品質向上

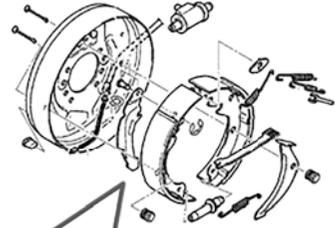
[大阪府支部] トヨタL&F近畿株式会社
メンテナンス部 谷川 貴士

【考案の動機】

フォークリフトのドラム式ブレーキは、組付け後の油漏れや各 부품の作動不良が判らない。

それ故、整備完成後のブレーキ不具合が散見し、手直し作業時間増加による、サービスマンの作業負担が増えていた。

実際のブレーキ作動が目視で確認出来ればと思い、この治具を考案した。



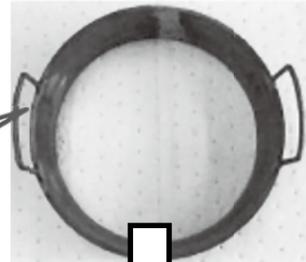
組付け後は、目視不可

【考案の内容】

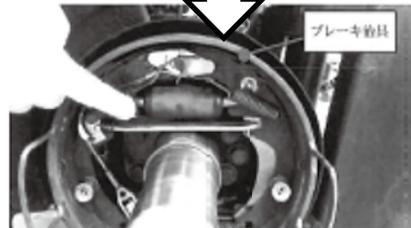
鋼材をブレーキドラム内径と同じ円筒形に加工した、ブレーキドラムに代わる治具を製作。

(1t、2t系ブレーキが対象)

ハンドルを付けたので簡単に装着できる。



ホイールシリンダ、ブレーキシューを組付け後、この治具をブレーキドラムの代わりに装着し、ブレーキエア抜き及びペダル踏み込みの負荷を掛けて油漏れチェック、ブレーキシューの動きなどの目視検査が可能となった。



* 詳しくは次項参照

* 右側写真参照

【考案の効果】

- ブレーキ作動の確認を目視で行える為、事前に組付け不良を確認出来るようになった。
- ブレーキ不具合による手直し時間が削減出来た。(1.5H/台の削減)
- 経験の少ないスタッフ等でもブレーキ調整の仕方が容易に理解出来る手助けとなった。

治具使用方法

- (1) ブレーキO/H作業終了後、ドラム組付前に治具を装着し
ブレーキ張り調整、エア抜きを実施（写真-2、3）



写真-2 ブレーキに治具装着



写真-3 ブレーキオイルエア抜き

- (2) ブレーキペダルを踏みこみリークテスト中、
目視で左右ホイールシリンダー部の油漏れがないか確認。（写真-4、5）

※ リークテストは10秒ほど



写真-4 リークテスト

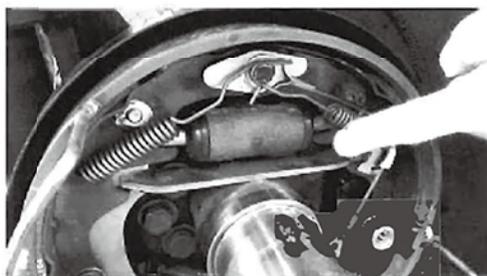


写真-5 ホイールシリンダー油漏れ確認

- (3) 油漏れ確認後、ドラム組付

銀 賞

リーチ式フォークリフトキャストータイヤ交換治具

[福島県支部] セフティmio
遠藤 実

【考案の動機】

リーチ式フォークリフトのタイヤは小径のため摩耗が早く、高稼働車は1年毎にタイヤ交換が発生します。

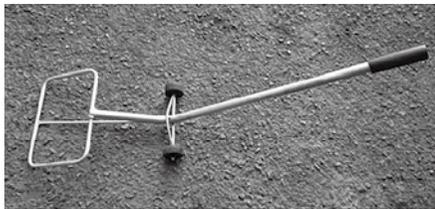
キャストータイヤ交換作業は、車体をジャッキアップし片手で重いタイヤを持上げ、片手でピンの脱着を行います。

タイヤ2本とブラケットを合せて約15kg近いタイヤを下から片手で持上げながら、取付ピンを差し込みますが取付部がフレームの陰になり、穴の位置合わせが上手く行かず、指を挟んだり、手と腰に負担の掛かる危険の伴う作業でした。

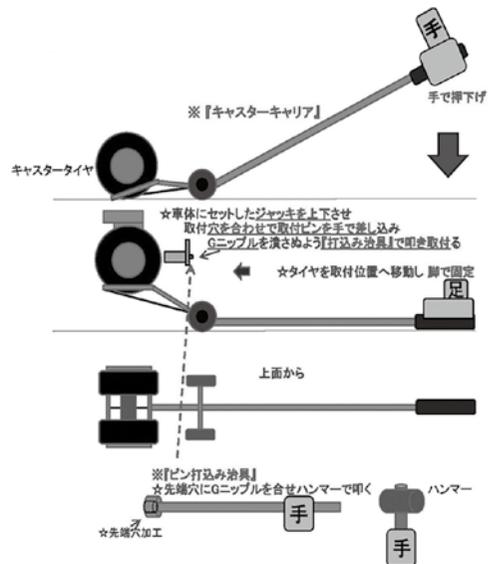
以上の事から安全作業と作業時間短縮を図る為、キャストータイヤ交換治具を考案・製作しました。

【考案の内容】

キャストータイヤ交換治具『キャストーカーリア』と『ピン打込み治具』



注…車種によって取付ブラケットの※傘状の部分とキャストータイヤ内幅で干渉するのでその場合は摩耗タイヤ取外し時と同じ幅にして新タイヤの片方を仮付しピン取付後にその片方を取付る。



【考案の効果】

キャストータイヤ交換治具を使い、作業をすることで怪我の無い安全な作業が出来るようになりました。

また、今までの交換作業に比べて作業時間が半分で完了することが出来るようになりました。

キャストータイヤ交換治具は軽量のため、持ち運びと取り扱いも楽になりました。取付ピンに付てるグリスニップルを潰さないように作業可能なピン打込み治具も製作し、安全に正確な作業と時間短縮が出来るようになりました。

ドライブ及びキャスタータイヤ交換(写真)

『キャスターキャリアー』…約寸 900×240mm



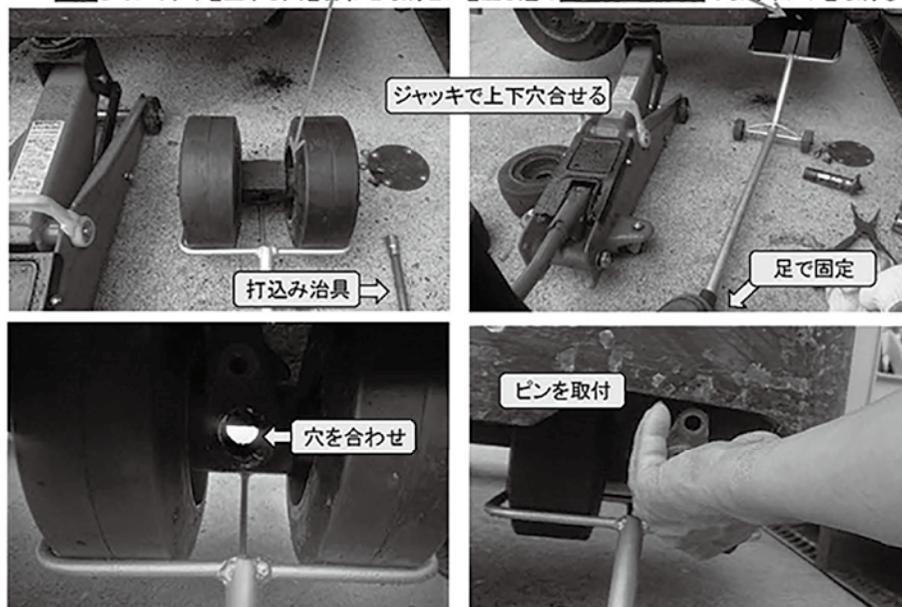
ドライブとキャスタータイヤの摩耗と取付…交換時期は高稼働で1年程度ドライブ・キャスター交換目安

下記左が摩耗ドライブタイヤと右がキャスタータイヤの取付位置及び目視で確認できる状態ですがドライブタイヤ(左)は見易く交換も簡単にできるがキャスター(右)は奥まっており交換が大変な作業



キャスタータイヤ作業手順

まず取外は上記右写真の取付ピンを外しても外れない場合は片方のタイヤの取付をずらしタイヤ内幅を広げて取り外す、その幅が新タイヤ取付時の基幅になるので測って合わせる。新タイヤは内幅を合わせキャスターキャリアーに乗せる下左写真、更に取付ブラケット穴と合わせる下右写真、足で固定してジャッキを上下し穴を合わせ取付ピンを差し込みピン打込み治具で取付ボルトを取付ける



銀賞 ブレーキドラム脱着 SST

[宮城県支部] トヨタL&F宮城株式会社
本部サービス部 齋藤 均

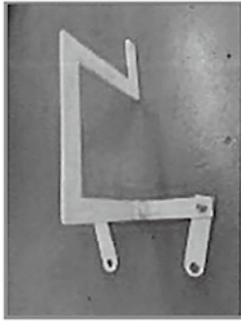
【考案の動機】

3t以上のフォークリフトでブレーキドラム脱着時、手で抱えて脱着していた為、手を滑らせてブレーキドラムを落下させ指を挟む、腰を痛めるなどのヒヤリハットが発生していました。

点検整備作業時に、この様な災害を無くす事を目的として、なるべく単純な構造で費用を掛けずに出来るSSTを考案作製しました。

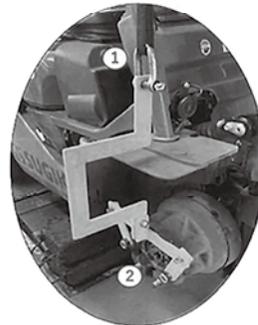
【考案の内容】

鋼材でブレーキドラム脱着SSTを製作した。



① スリングベルトとUシャックルでSSTを天井クレーンにセットする。

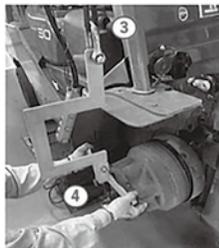
② 前輪を取外し、SSTをブレーキドラムにクリップナットでセットする。



③ スリングベルトに軽くテンションが掛かるようクレーンを上昇させる。

④ SSTの下側を両手で持ち、手前に引き抜く。

*クレーンで高さの微調整をすること。



⑤ ブレーキドラムがホーシングから完全に外れたらクレーン操作にてドラム置き台車まで移動する。



【考案の効果】

重たいブレーキドラムを手で持たずに脱着出来、クレーンで吊り上げたまま取外したブレーキドラムを置場まで移動させる為、安全作業及び腰痛予防が可能となった。

令和2年度 公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 考案賞入賞作品

銀賞 エアーシールド作製

[群馬県支部] 日立建機日本株式会社 北関東信越支社
北関東支店 前橋北営業所 田辺 浩治

【考案の動機】

点検整備作業時に各部をエアブロー清掃する際、大量の粉塵が舞い上がり飛散する。

この職場は塵害との戦い、「このホコリを吸っても大丈夫だろうか?」との思いもあり、この状況を改善する為、考案した。



【考案の内容】

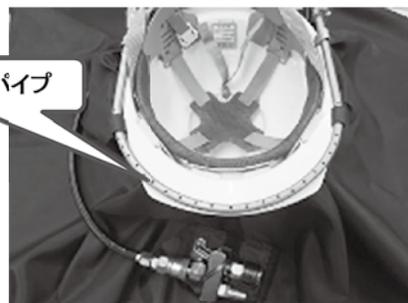
作業用ヘルメットのバイザー部に、等間隔で下向きに細かい穴を開けたパイプを固定する。

このパイプにエアレギュレーターを取り付けたホースを接続、エアコンプレッサーからの圧縮空気を供給する事により、作業者の顔面にエアシールドを形成した。

これにより細かいホコリをエアで吹き飛ばし、人体への吸引を防止出来た。

* 右側写真参照

穴を開けたパイプ



レギュレーターでエア量調整可能



実作業の状況

【考案の効果】

- 運転席室内清掃、オーバーヒート時のエアブロー、密閉空間での研り作業、軽補修塗装などに効果を発揮した。
- 粉塵の吸込み不安など、身体の負担が軽減した。

銀 賞

作動油タンクのパキュウムポンプ（手動式）

〔千葉県支部〕 コベルコ建機日本株式会社
ショベルサービス部 大谷 亮介

【考案の動機】

建機修理の現場で、油圧機器の脱着や分解時に油圧ホースを外すと作動油が洩れる。受皿が置けるような状況であれば良いが、場所によっては作動油が垂れ落ちてしまう。このような場合、パキュウムポンプで作動油タンクを負圧にするが、サービスマンが個々に携行していない為、油圧機器等の修理が予想される場合は、事前に準備しなければならなかった。

想定外の場合にも対処出来るように考案した。

【考案の内容】

自転車用の空気入れポンプを改造して、手軽な手動式のパキュウムポンプを製作した。

改造要領は次頁に記載。

* 右側写真参照



* 作動油タンクの給油口にホースを差し込みポンピング

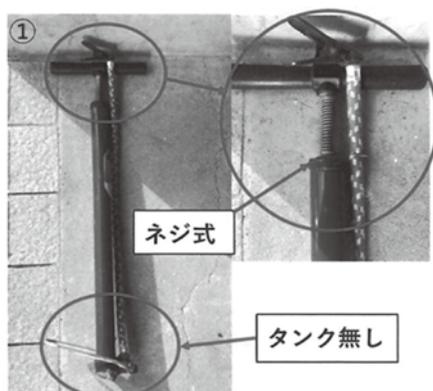


* 30回程度のポンピングで作動油が垂れなくなる
(負圧の為、片手で軽くポンピング出来る)

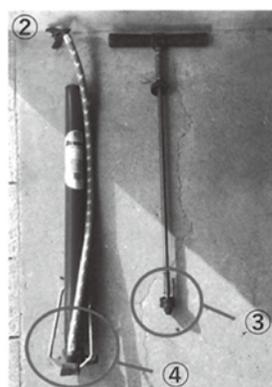
【考案の効果】

- サービスカーに常備出来、電源も不要なので、いざという時に役に立ち、作業効率が向上した。
- 作動油の流出が防止出来るので、環境への負荷が低減した。

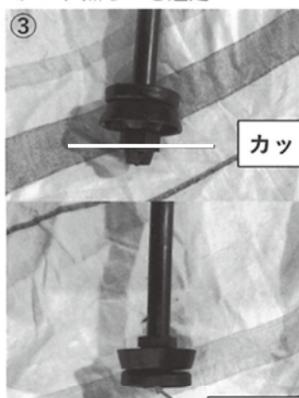
改造要領



空気ポンプは、《キャップがネジ式》
《タンク無し》を選定



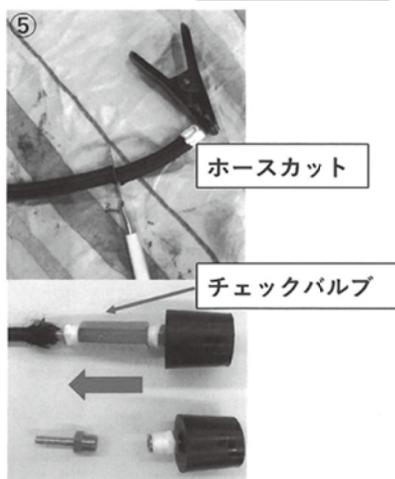
分解



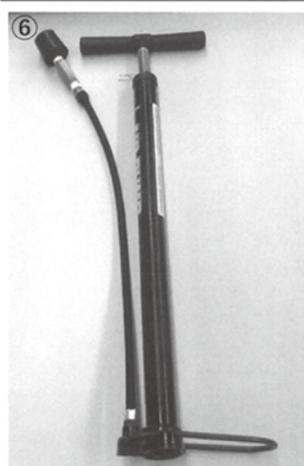
上下逆に組込む



チェックバルブを抜き取る



ホースをカットして、ゴム栓と
チェックバルブを取り分ける



完成

努力賞 マグネットキャッチ

[福岡県支部] 日立建機日本株式会社 九州支社
福岡支店 福岡南営業所 小林 寛志

【考案の動機】

機械の整備作業で、大型のサイドカバーや強化型の分厚いアンダーカバー脱着の際、持ち上げ難かったり、解体用機械などは重さも有る為、しっかりと保持していないと手が滑って落下した時に、大変危険である。

この状況を改善する為に考案した。



強化型アンダーカバーは重い

【考案の内容】

マグネットに穴を開け、持ち手を取付けた持ち上げ治具を製作した。

マグネットはカバー等に傷が付かないようにラバーコーティングの物を利用、容易に脱着出来るようになっており、幅広い機種に使用可能である。

* 右側写真参照



ラバーコーティング有り



アンダーカバーにマグネットキャッチを取り付け、両手で支えて安全作業が可能となった。

【考案の効果】

- 重量物の脱着作業時に安全性が向上した。
- 不安定な作業による作業時間ロスを防止出来た。

令和2年度 公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 考案賞入賞作品

努力賞 バッテリーキャッチャー[新潟県支部] 株式会社アル
青柳 誠**【考案の動機】**

昨今の重機は、車体がコンパクトに出来ており、始動用バッテリーを交換する際、作業者の指も入らない程の場所に設置している車両も有り、脱着作業が困難を極める事が多い。

また、バッテリーも重たい為、狭い場所での作業は、指の挟み込みなどの受傷の可能性も有り、この状況を改善する為、考案した。

【考案の内容】

鋼材を溶接加工して、周囲の隙間が狭い場所でも安全にバッテリーが脱着出来る交換用補助用具バッテリーキャッチャーを製作した。

ターンバックルを回してバッテリー上面端部の凸部にバッテリーキャッチャーのサイドプレートを引き掛け、バッテリー側面を挟んだら上部の固定用蝶ねじを締付けてセット完了。

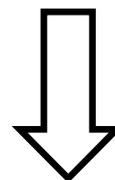
その後、両手でバッテリーキャッチャーを掴んでバッテリーを引き上げる。

* 右側写真参照

ターンバックルを回して取付



使用方法

狭い設置場所でも
安全に交換可能**【考案の効果】**

- 狭い場所での重量物でも、怪我の心配無く安全作業が可能となった。
- バッテリーをしっかりとホールド出来るので、結果的に作業時間短縮に繋がった。

努力賞**リーチフォークリフトキャスタータイヤのピン抜き安全治具**

[岩手県支部] コマツカスタマーサポート株式会社 東北カンパニー
盛岡支店 藤原 和彦 (他2名)

【考案の動機】

リーチフォークリフトのキャスタータイヤ交換作業は、ジャッキアップしてタイヤを取外す際、打撃を伴う作業となる。

車体の内側に配置され、自在に回転するキャスタータイヤの固定ピンを作業者が低姿勢で打撃する方法は、手を負傷するリスクが高い。また、タイヤ摩耗の為ジャッキを入れる隙間が狭く、車体保持部の滑り発生リスクも有り、これらを改善する為、考案した。



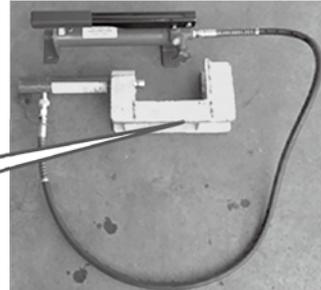
従来の打撃作業

【考案の内容】

鋼材を加工して手動油圧ポンプを利用したキャスタータイヤ固定ピン抜き安全治具を製作した。

* 右側写真参照

製作したキャスタータイヤ固定ピン抜き安全治具、手動式油圧ポンプと押しシリンダーと組合せ使用。

**使用方法**

キャスタータイヤを挟み込むように治具を取付けて油圧ポンプを操作し、固定ピンを押し出す。

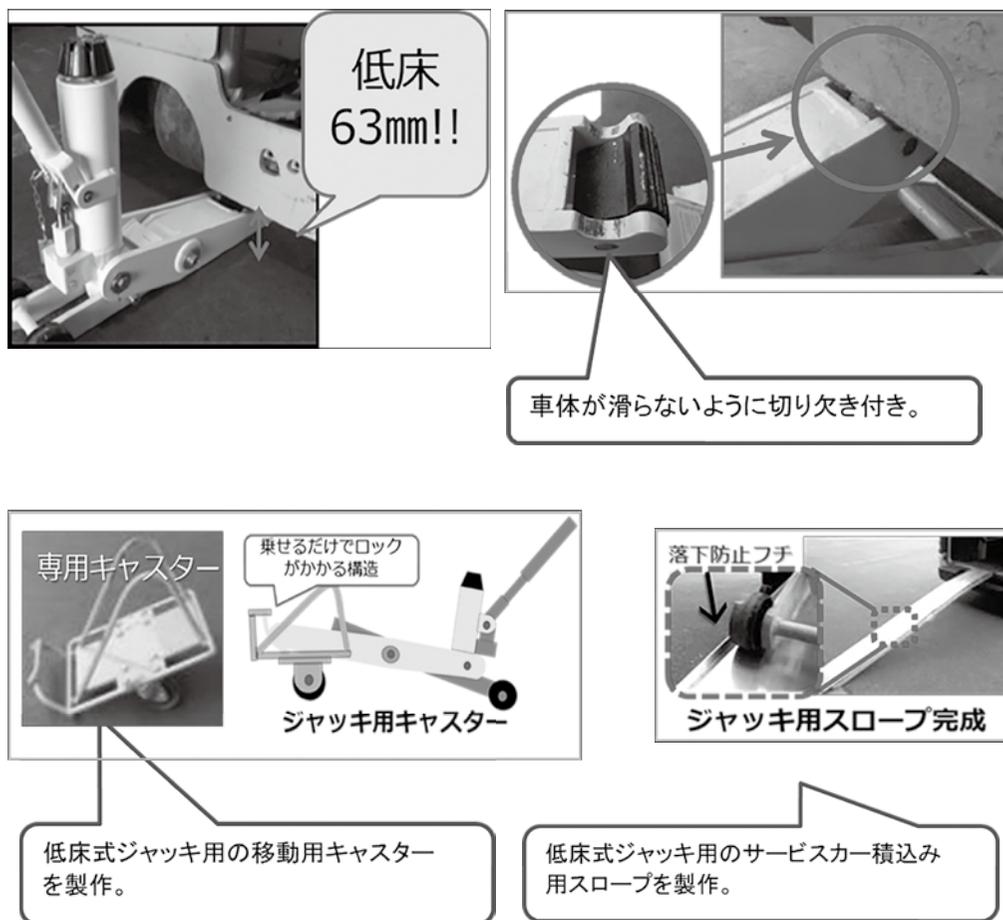
**【考案の効果】**

- キャスタータイヤ交換時の打撃作業による受傷リスクを大幅に下げられた。
- リーチ車体に適した低床式ジャッキ使用が可能になり、作業の安全性が向上した。
- 作業準備も含めた実作業時間の短縮が出来た。

製作したキャスタータイヤのピンク抜き安全治具を使用するに当たり、ジャッキを入れる隙間が狭く、ジャッキ設置で苦勞していたのに加え、車体を持ち上げる部分が滑り易く不安定な為、安定して作業が出来るようジャッキアーム先端に切欠き加工された低床式ジャッキを採用した。

また、作業時にお客様敷地内での移動時やサービスカーへの搭載時に低床式ジャッキは重たく、会社規則で20kg以上の手持ち禁止に触れてしまうので、ジャッキ前部に取付けられる移動用キャスターを製作、キャスターをセットしたままジャッキをサービスカーに積み込める専用スロープも製作した。

* 下側写真参照



努力賞

高所作業車下部操作用リモコン作製

[三重県支部] 株式会社アイチコーポレーション 中部支店
名古屋中央CSC 三重SS 神谷 泰貴

【考案の動機】

高所作業車の特定自主検査時に、各センサーの点検や作業半径の測定をする際、下部操作部で各部を操作しながらパソコンの画面を確認する事が難しく、何度も操作部とパソコンの置いてある場所を昇降して行き来する労力が大変である。

これを改善する為、考案した。

高低差が有り転落の危険！



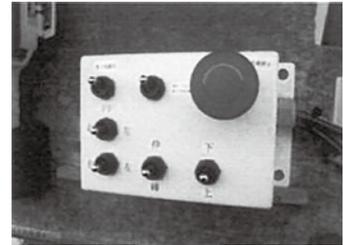
【考案の内容】

下部操作部と同様な操作が手元で出来る操作リモコンを作製した。

パソコンの設置場所で画面を確認しながらリモコンで各部操作が出来るようになった。

(SK17A・SK22A・SK27A対応)

起伏シリンダー脱着などの修理作業にも、ピン穴合わせをする際、操作側と取付作業側の2名作業でも微調整が困難な場面でもリモコン操作で1名作業が可能。



* 右側写真参照



パソコン画面を見ながらリモコン操作



起伏シリンダー
脱着作業



ロッド側ピン穴位置合わせ
が1名作業で可能になった

【考案の効果】

- 特定自主検査時の下部操作部への昇降回数が低減し（23回⇒2回）転落リスクも減少した。
- シリンダー脱着時のロッド側ピン位置合わせ1名で可能になり、2名作業の危険リスクも減少した。

令和2年度 公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 考案賞入賞作品

努力賞 ブーム起伏シリンダー脱着用高さ調整付き受け台治具

〔富山県支部〕 株式会社アイチコーポレーション 中部支店
北陸中央CSC 水嶋 弘一

【考案の動機】

伸縮ブーム型の起伏シリンダー脱着時、重荷重ブームを支持する必要があり、従来はフォークリフトで受取り、簡易的なブーム台にて支持していたが、不意なブーム降下・落下等の可能性があり、労働災害に繋がる要因にもなっていた。

ブームを完全に支持し、安全にシリンダー脱着作業が出来るように考案した。

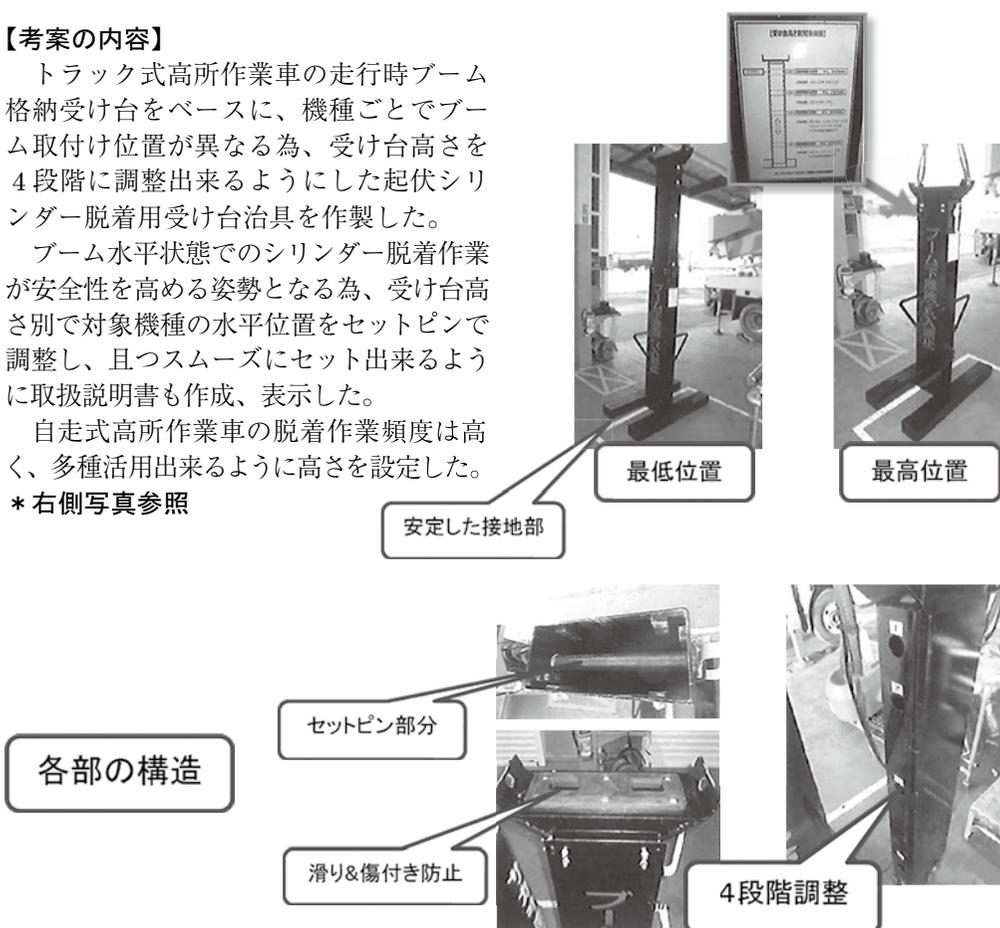
【考案の内容】

トラック式高所作業車の走行時ブーム格納受け台をベースに、機種ごとにブーム取付け位置が異なる為、受け台高さを4段階に調整出来るようにした起伏シリンダー脱着用受け台治具を作製した。

ブーム水平状態でのシリンダー脱着作業が安全性を高める姿勢となる為、受け台高さ別で対象機種の水平位置をセットピンで調整し、且つスムーズにセット出来るように取扱説明書も作成、表示した。

自走式高所作業車の脱着作業頻度は高く、多種活用出来るように高さを設定した。

* 右側写真参照



【考案の効果】

- 従来の不安全な支持と違い、安定した姿勢で重荷重のブームを確実に受けられる事で、ブーム降下 / 落下による労働災害発生防止を含めた作業の安全性向上が図れた。
- 専用治具の作製、使用する事で、見た目にも整然感があり、作業環境改善に繋がった。

自走式高所作業車



トラック式高所作業車



広報 新連載

特定自主検査記録表 作成支援ソフトの紹介 第1回

建設荷役車両安全技術協会 業務部

本号より、機関誌253号(2021-5月)に同梱(対象は特自検査業務実施事業所)しました「特定自主検査記録表作成支援ソフト(以下「本ソフト」という)」についての紹介をしていきます。第1回は「準備編」です。本ソフトが皆様の特定自主検査業務の一助になりましたら幸いです。

1. 環境設定について

本ソフトでは環境設定でいくつかの項目を設定することができます。今回は本ソフトの使用を始めるにあたって、登録しておく項目について紹介します。



(1) 会員情報

本ソフトは会員専用ソフトとなっています。ご使用にあたっては会員情報および所属支部を必ずご登録いただきますようお願いいたします。

ご登録した会員情報は記録表に会員であることを示す会員番号として記載されます。

(会員番号は機関誌の封筒に貼付されているラベルに印字されています)

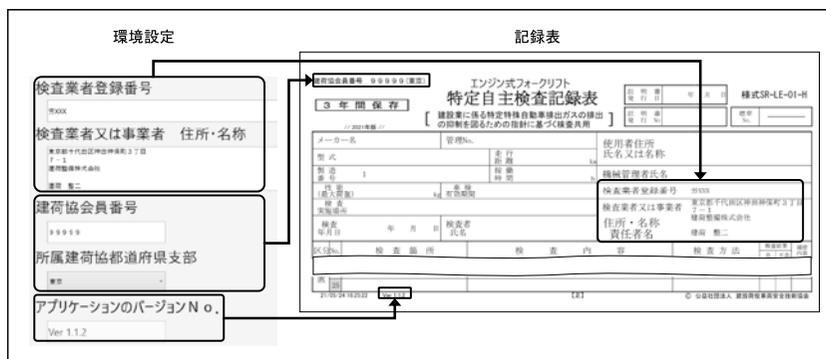
(2) 検査業者情報

記録表作成時、表題部において変わらない項目、検査業者名、登録番号は、予めここに登録しておくことが出来ます。登録することにより、登録内容を表題部に反映します。

この他の環境設定の項目については、今後ご紹介させていただきます。

(3) アプリケーションのバージョンNo.

ご使用いただいているソフトのバージョンはここで確認できます。これは登録項目ではありませんが、会員情報、検査業者情報と同様、記録表に記載されます。



2. 本ソフトの更新について

次に本ソフトの更新についてご紹介します。本ソフトは機能向上、不具合修正等で更新されていきます。

更新は建荷協のホームページよりダウンロードをして行います。最新のバージョンでご使用いただく様をお願いします。

(1) バージョンの確認

お使いの本ソフトのバージョンは環境設定でご確認いただけます。(前頁参照)

- CD版Ver1.1
- 最新バージョン (R3.5.28時点)
Ver1.1.3

(2) 更新ファイルのダウンロード

まずは建荷協のホームページにアクセスをしてください。(ホームページアドレス www.sacl.or.jp を入力するか、「建荷協」で検索)

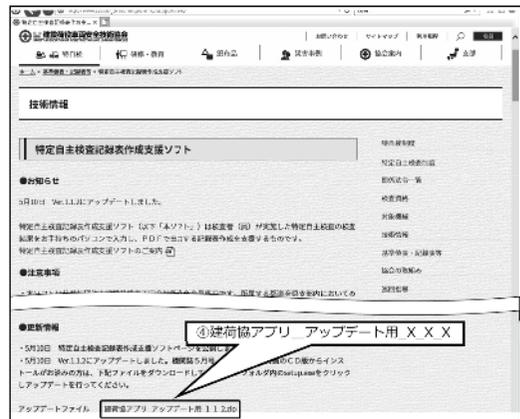
- ①② 協会ホームページトップページから「特自検」にカーソルを合わせ「基準値表・記録表等」をクリック。



- ③ 「特定自主検査記録表作成支援ソフト」をクリック。



- ④ 下にスクロールし、更新情報から「建荷協アプリ_アップデート用_X_X_X (バージョンは更新毎にことなります)」をクリック。



- ⑤ ダウンロードしたファイルを実行します。

注意 アップデートはCD版をインストール済のPCで行えます。CD版をインストールしていないPCはできませんのでご注意ください。

- (3) 特定自主検査記録表作成支援ソフトのページについて

このページでは前述の本ソフトの更新情報の他、インストール、操作方法等の動画、ドキュメント類、皆様から寄せられた質問等、様々な情報を順次更新、掲載していきますので、定期的にご確認ください様をお願いします。

次号に続く

広報

グラフで見る特自検 第8回

特定自主検査に係る現況等の調査結果報告

建設荷役車両安全技術協会 調査部

建荷協における新たな活動施策を企画立案し、特自検のさらなる普及促進につなげることを目的に、「特定自主検査に係る現況等の調査」を実施しました。

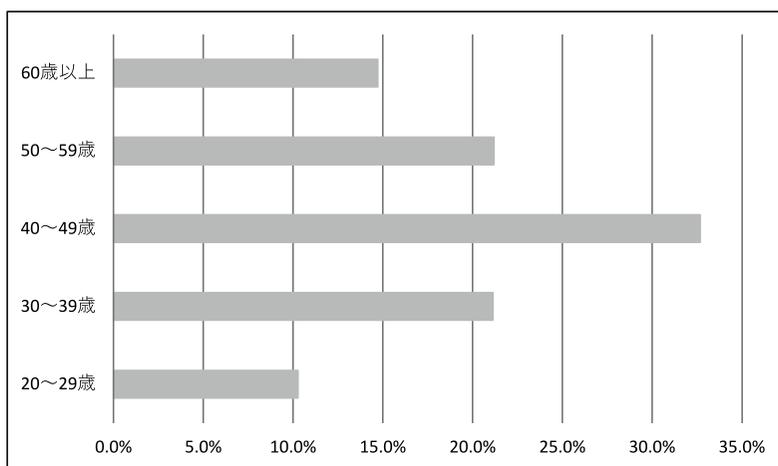
令和元年の第1次調査に続き、令和2年に行った第2次調査のアンケート結果がまとまりましたので、本誌にて数回に分けて紹介しています。今号では回答企業に在籍する検査員の資格取得の経緯や状況などを紹介します。

なお、調査の概要については機関誌251号（2021-1月）の同記事2. 調査概要をご覧ください。

1. 検査員の年代別の構成について

今回は、回答のあった検査業に在籍する検査員の年代別構成についてみます。

まずは検査員の年代別構成を回答全体でみたものがグラフ1です。



グラフ1 全体：検査員の年代別構成（n=13,101）

全回答のうち、年代別では40~49歳が一番多く、全体の32.7%と約1/3を占めています。また、50~59歳と60歳以上を合わせると、これも約1/3となります。結果40歳以上の合計が2/3を超え、39歳以下の若い検査員は1/3を下回り、特に20~29歳は

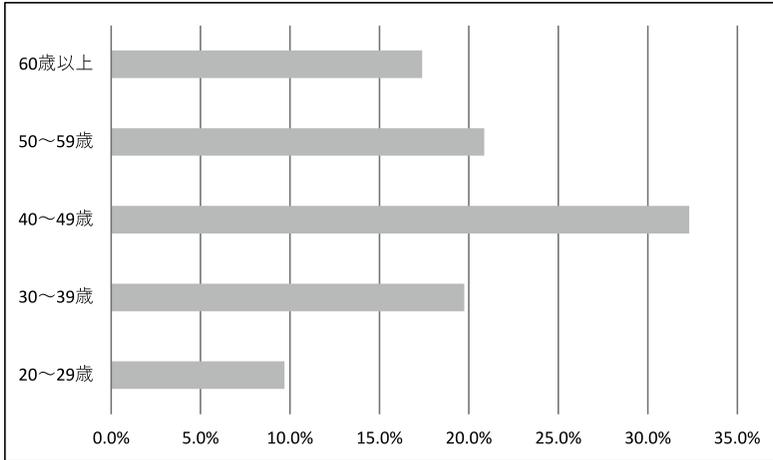
全体の約10%と、少なくなっています。

また、建荷協が発行している検査業検査員の資格取得研修終了証の発行枚数も2016年をピークに毎年減少しており、60歳以上の方がいずれ退職を迎えると検査業検査員の不足が起こり得ます。

継続して検査員の確保を図る必要があると考えられます。

次に検査を行っている企業の取り扱い機種（建設機械系、フォークリフト系、高所

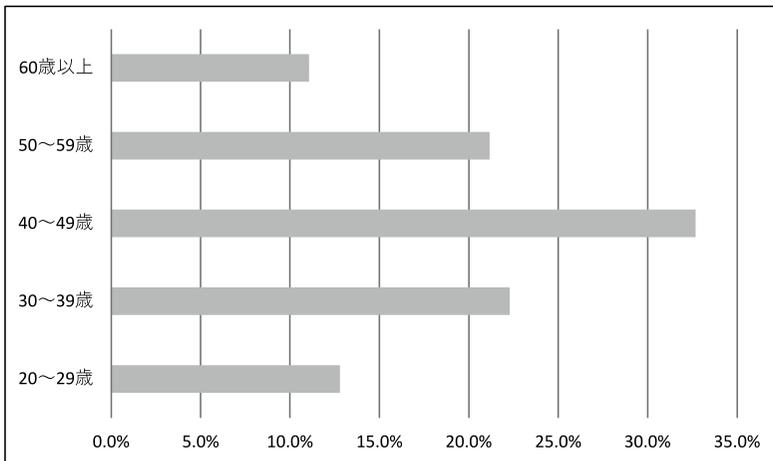
作業車やコンクリートポンプ車などのその他機種系）によって、この年代別の構成がどうなっているのかをみます。



グラフ1-2 建設機械系：検査員の年代別構成 (n=5,399)

建設機械系においては、グラフ1の全体とほぼ同じような形になっていますが、20~29

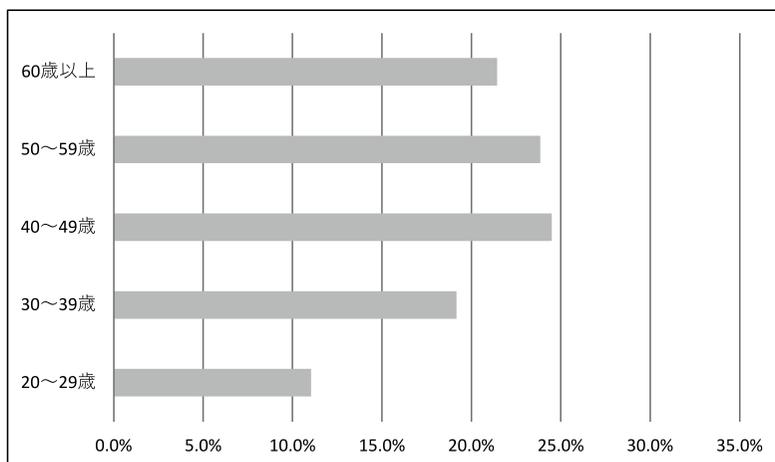
歳及び30~39歳の若い世代の割合が若干少なく、60歳以上の割合が多少多くなっています。



グラフ1-3 フォークリフト系：検査員の年代別構成 (n=4,266)

フォークリフト系では、年代別構成の中心となっている40~49歳の構成比は全体や建設機械系とほぼ同じですが、60歳以上が他より少なく、20~29歳や30~39歳の割

合が全体や建設機械系に比べるとやや多くなっています。結果検査員の年代構成が建設機械系よりやや若い構成になっています。



グラフ1-3 その他機種系：検査員の年代別構成 (n=788)

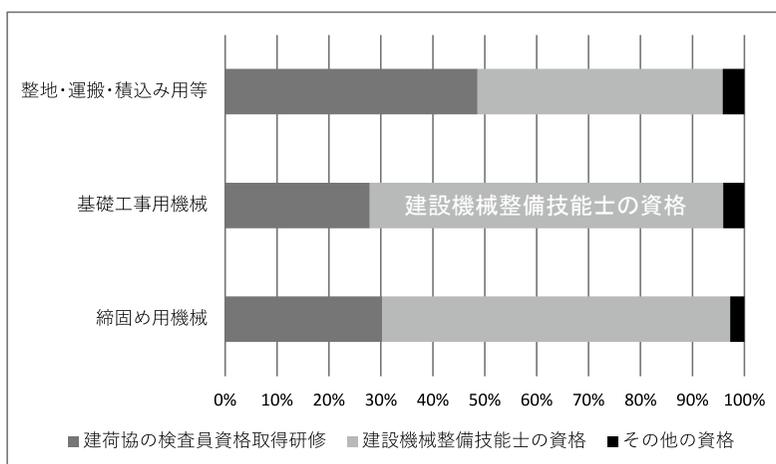
その他機種系では、建設機械系やフォークリフト系で全体の約33%を占めている40～49歳が24.5%と少なく、50～59歳、60歳以上の年代が多く、検査員の年齢層が建設機械系やフォークリフト系よりもかなり高いのが特徴です。

現状、その他機種系では、前号でも紹介したとおり、社員の技術者についての不足感が建機系やフォークリフト系と比べても高く、このまま推移すると検査員の減少が

建設機械系やフォークリフト系より早く進行するものと推測されます。

2. 検査員の資格取得方法について

検査業検査員は法令で定められた資格を取得していなければなりません。フォークリフト、高所作業車やコンクリートポンプ車の検査員資格者は、旧職業訓練法による指導員訓練修了者などを除き、そのほとんどが、建荷協が実施している資格取得研修の修了者です。



グラフ2 検査員資格の取得方法

一方、整地・運搬・積込み用等、基礎工
 事用機械、締固め用機械では、旧職業訓練
 法による指導員訓練修了者などの他にも、
 建設機械整備技能士の資格を取得すること
 でも検査資格を得ることができます。

それでは、回答のあった企業において、
 整地・運搬・積込み用等、基礎工用機械、
 締固め用機械等の検査業検査員の資格をど
 のように取得しているのかをみます。

グラフ2のとおり、検査員資格を建設機
 械整備技能士の資格で得ている方が整地・

運搬・積込み用等の機械について45%を超
 えています。

基礎工用機械と締固め用機械では70%
 に近く、非常に多いことがわかります。

ただ、建設機械整備技能士の試験では機
 械や整備についての知識、技能は求められ
 ますが、当協会の推奨する特定自主検査の
 検査記録表の記入については問われないこ
 とから、検査員資格を建設機械整備技能士
 の資格で得た方は検査記録表の記入要領を
 習得されていません。

表1 巡回指導内容（要約）

単位：指導件数

検査機器			検査記録表		検査台帳	
法定検査 機器なし	使用状況 不良	保守点検 状況不良	記入漏れ	記入方法 が誤り	なし	整理・保守 状況不良
3	22	61	123	102	2	41
検査料収納簿		標章受払簿		再交付申請書		/
なし	整理・保守 状況不良	なし	整理・保守 状況不良	なし	整理・保守 状況不良	
9	39	5	46	12	0	

表1は令和元年度に当協会の支部が全国
 352箇所の検査業の事業場へ実施した巡回
 指導での指導内容の要約です。

記録表の「記入漏れ」や、「記入方法が
 誤り」についての指導が項目別では一番多
 く、合計で225件ありましたが、これは検
 査記録表の記入要領に関する知識不足が一
 因となっているのかもしれませんが。

「記入方法が誤り」の中では、✓点を記
 入する位置が異なる、非該当箇所への－線
 の記入漏れなど記入要領についての指導も

多くみられました。

このような方へは社内にて記入要領につ
 いて指導したり、また当協会が実施してい
 る実務研修を受講させるなど、検査記録表
 の記入要領についての教育をお願いします。

今号では検査業企業に在籍されている検
 査員の年代別構成などについて紹介しまし
 た。次号では検査員の技能、技術の向上、
 育成などについて紹介していく予定です。

広報

特自検Q&A

第8回

建設荷役車両安全技術協会 本部

皆様から建荷協にお寄せいただいた「特定自主検査業務に関わる質問」の中より、重要なもの、繰り返しいただいたもの等をQ&Aの形で紹介しています。

より適正な検査の実施および信頼される特自検管理業務の参考にしていただければ幸いです。

1. 派遣社員の取り扱い

Q1：5月号の特自検Q&Aコーナーで「出向者」は検査者として認められるとのことでしたが、検査業検査員の資格がある「派遣社員」が在籍しています。「出向者」と同様に「派遣社員」も当社の検査業検査員として認められますか。

A1：「派遣社員」は、下記の「労働者派遣法」に関する業務取扱要領により、派遣先の特定自主検査・検査業者検査員としては認められていません。

また同様に、派遣先の事業内検査者としても認められておりません。

労働者派遣事業関係業務取扱要領

(令和3年4月1日以降)

第8労働基準法等の適用に関する特例等

1 概要

(省略)

2 労働基準法の適用に関する特例等

(省略)

3 労働安全衛生法の適用に関する特例等
(1)～(3)省略

(4) 派遣先の事業に関しては、一定の機械等についての特定自主検査の規程(第45条第2項)は適用されるが、当該検査を実施する者に派遣中の労働者をあててはならない(法第45条第4項)

(5) 派遣元の事業に関する(3)の規程及び特定自主検査の規程(第45条第2項)の適用については、派遣中の労働者は派遣元労働者と労働契約関係にないものとみなす。これにより、(3)の規程について事業者が負う義務は、派遣先の事業者のみが負う。また、特定自主検査(第45条第2項)を、派遣元の事業者は派遣中の労働者に実施させることはできない(法第45条第5項)。

また、「派遣労働者に関する就労条件等」は、以下の厚労省のホームページを参照してください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/haken-shoukai/hakenyouryou.html

2. 検査員の他支店への応援について

Q2：フォークリフトの検査業者です。

当社のA支店に4名の検査員がいますが、コロナ感染症のため2名の検査員が休職しており、お客様の特自検の依頼に対応できません。

B支店の検査員に応援を依頼したいと考えていますが、応援は可能でしょうか。



A2：検査員については、検査事務所(支店)ごとに必要数が所属していることを当局に届け出ていることと思います。

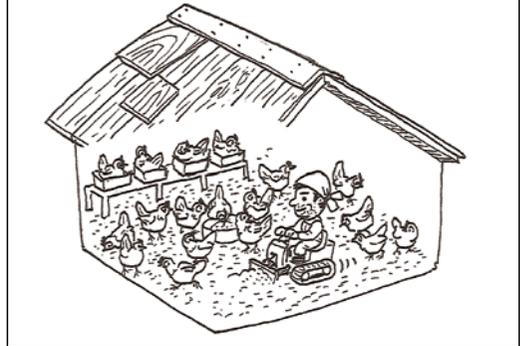
A支店で受注した特自検をB支店の検査員が、何の措置もせず、実施することは適切ではありません。

お客様と相談して、B支店での受注にさせていただくか、応援検査員を正式な異動手続きをした上で検査に当たらせると良いでしょう。

責任体制が不明確にならないか、後の説明責任を果たす際に必要となる記録が残っているかが重要です。

3. 個人経営での車両系建設機械の特自検について

Q3：労働者を雇用せず、個人の養鶏場で自ら使用する車両系建設機械(トラクターシヨベル)について特自検は必要ですか。



A3：労働者を使用しないのであれば、事業者には当たらず労働安全衛生法の適用がなく、特自検の義務付けはありません。

しかしながら、機械を貸し出して他の労働者が使用する場合や、繁忙期に臨時に人を雇って作業に当たらせるといった際の事故が見られ、また何よりもご自身の作業時の安全確保のためにも定期的に検査を実施することをお勧めします。

労働安全衛生法(安衛法)

(目的)

第1条 この法律は、労働基準法(昭和22年法律第49条)と相まって、労働災害の防止のための危害防止基準の確立、責任体制の明確化及び自主的活動の促進の措置を講ずる等その防止に関する総合的計画的な対策を推進することにより職場における労働者の安全と健康を確保するととも

に、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。

(定義)

第2条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- 一 労働災害 労働者の就業に係る建設物、設備、原材料、ガス、蒸気、粉じん等により、又は作業行動その他業務に起因して、労働者が負傷し、疾病にかかり、又は死亡することをいう。
- 二 労働者 労働基準法第9条に規定する労働者（同居の親族のみをしようする事業
又は事務所に使用される者及び家事使用人を除く。）
- 三 事業者 事業を行う者で、労働者を使用するものをいう。
三の二及び四（省略）

4. 出荷標章について

Q4：車両系建設機械の新車販売をしています。

建荷協で販売している「出荷標章」は、どのような場合に使用するのでしょうか。

A4：「出荷標章」は、当該車両が特定自主検査の対象機械であることと、最初の特定自主検査実施時期を明確にすることを目的として、新車本体に貼付するよう推奨しています。

使用方法としては、新車納車時ユーザーに「出荷標章」を示しつつ特定自主検査についての説明を行い、特定自主検査の確実な実施に関する理解を得ること等が想定されます。

また、車両系建設機械には、新品のアタッチメント用の出荷シールも用意してありますので、ご活用下さい。

註：回答中の枠囲みは

法令 指針 その他

を示します。

特自検に係るご質問をお待ちしています。質問が採用された方には、薄謝を進呈します。質問は以下の方法でお寄せ下さい。

- 巻頭アンケート用紙にて
- メールにて (E-mail : koho@sac1.or.jp)

協会PR

あなたは特定自主検査記録表を 正しく書いていますか??

実務研修 記録表作成コースのご案内



特定自主検査の結果を
検査記録表に
正しく記録します。

正しい特定自主検査記録表の記入方法を学ぶ。

※ 特定自主検査を実施した場合、その結果を記録しておくことが労働安全衛生法第45条で定められています。

この検査結果は特定自主検査を実施した検査者(員)が、「検査記録表」に記入しますが、誰が見ても判るように正しく記録されていることが重要です。

検査記録表は機械の進歩にもなって改善しています。これに伴い、記録表の記入方法も改善されています。本研修を受け、最新の知識を身に着け、特定自主検査についての正しい検査方法および記録表の記入方法を修得することをお勧めします。

関係法令 労働安全衛生法 第45条 第1項
労働安全衛生規則 第151条の23、第169条、第194条の25

開催の予定は建荷協ホームページにてご確認ください。www.sacl.or.jp

特定自主検査記録表の記入要領（製品版）(TC-ZC-02-Q)

特定自主検査記録表は、機械性能の向上により随時改訂されています。最新の記録表についても正確に記入できる様、記入方法を解説しています。(R2.4.3改訂Q版発行)

製品版では本誌に掲載されている特定自主検査記録表の記入要領に加え、記入演習課題例を多数掲載しています。

品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査記録表の記入要領	TC-ZC-02-Q	440円(税込)	550円(税込)



WU09B1RN

アップ&オーバ型電動式高所作業車の紹介

福島 康之*

1. はじめに

従来機WU09Aは、作業床上で走行操作が行え、さらにアップ&オーバ型リンクにより障害物をオーバハンクしての高所作業が可能で、ビル内の設備工事、室内装飾、工場メンテナンス等、従来足場を組んで行っていた工事の省力化および安全性の向上が可能と好評をいただいています。

今回は、この従来機WU09Aをベースに、好評をいただいている部分は踏襲した上で、市場コンプレインを解消し、より高い安全性、より操作しやすい操作性を実現するために改良開発を行いました。

その特徴、機能について紹介します。

2. 車両諸元と特徴

本車両は、コンパクトな車体で作業床の最大地上高9.0m、最大作業半径6.2m、最大乗り越え高さ4.0mを、ブームやジブの可動角範囲を広げることで実現しました。

車両外観(写真1)と主な諸元(表1)および特徴について以下に示します。



写真1 車両外観

表1 主な諸元

	WU09B1RN (開発機種)	WU09A (従来機種)
最大作業床高さ	9.0m	8.8m
最大作業半径	6.2m	6.3m
最大乗り越え高さ	4.0m	3.8m
積載重量(定員)	230kg(2名)	230kg(2名)
走行速度	0~4.8km/h	0~4.8km/h
登坂能力	25%(14°)	30%(17°)
車両全長	5.4m	5.6m
車両全幅 (作業床手摺幅部)	1.2m (1.3m)	1.2m (1.3m)
車両全高	2.0m	2.0m
車両重量	6,740kg	7,100kg

- (1) 起伏・旋回が可能な先端ジブによって、ふところが広い作業範囲を実現し、障害物越しの様々なポイントへのアプローチが容易となり、作業効率を向上させました。(写真2, 3)



写真2 大型設備をかわしながらのアプローチ

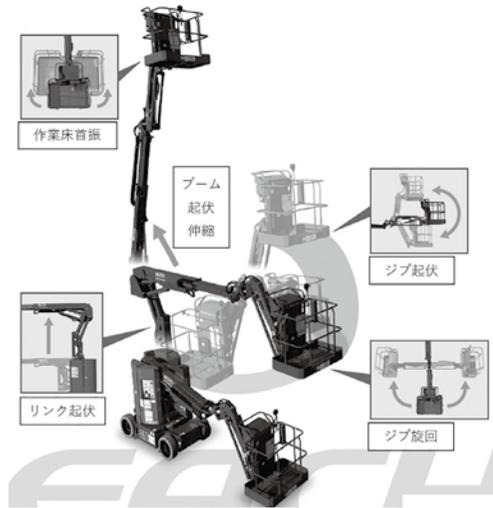


写真3 各部可動イメージ

(2) 各操作に比例制御方式を採用し、操作フィーリングを向上させ、オペレータがスムーズな操作感で安全かつ正確な操作をすることが可能となりました。(写真4)

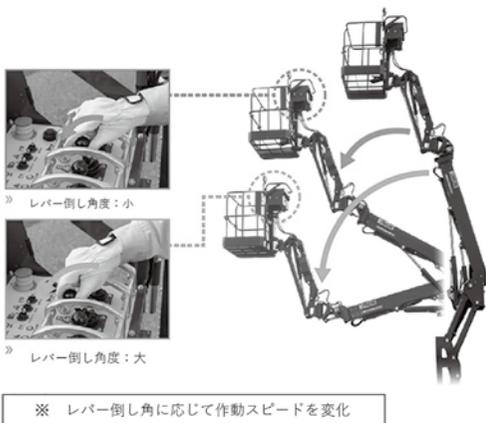


写真4 比例制御方式による操作フィーリング

(3) コンパクトなボディでノーテール旋回を実現し、ターンテーブル旋回時にブームやリンクが通路側に飛び出さずに通行車両や隣接設備などへの接触リスクを低減しました。(写真5)



写真5 ノーテール旋回

(4) 操舵装置にプロポーションステアリング※を採用し、正確で安全性の高い走行操舵性を実現しました。(写真6, 7)

(※プロポーションステアリング:

操作ダイヤルの回転量に比例して前輪が操舵し、手を離すと中立に戻る操作装置)



写真6 操舵ダイヤル

写真7 前輪操舵

3. 主な変更点について

(1) 車両のコンパクト化

車両重量の360kg軽量化、格納時の車両全長の170mm短縮化にて、最大作業揚程の200mmアップを実現しました。

また、保管時の占有スペースを低減させることで、運用もしやすくなりました。

(写真 8)



写真 8 従来機との比較

(2) 配線引廻しの改良

ブームとリンクが同軸上に並ばない「横抱き構造」(写真 9)と配線を露出させずに架装部の内部に引廻すこと(写真 10)で、機体作動時の挟み込みおよび摩擦リスクを低減させました。

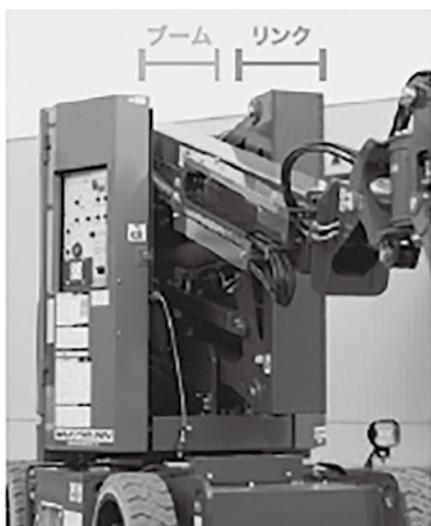


写真 9 ブーム・リンク横抱き構造



写真10 配線引廻し

(3) 上部操作部の各スイッチレイアウト変更

各レバーおよびレバーガードの間隔を広げることで操作時に手を入れやすく、操作中でも銘板を見易くなり、操作性および視認性を向上させました。(写真11)



写真11 上部操作部

(4) マルチファンクションインジケータの採用

機体の車両状態やエラー内容を液晶画面に表示する装置です。表示されたコー

ドを修理工場に伝えることで、スムーズなメンテナンス作業を実現させました。

(写真12)



写真12 マルチファンクションインジケータ

① 状態表示機能

車両が現在どのような状態にあるのか、「バッテリー容量表示部」と「アワメータ表示部」にそれぞれ数値が表示されます。(写真13)

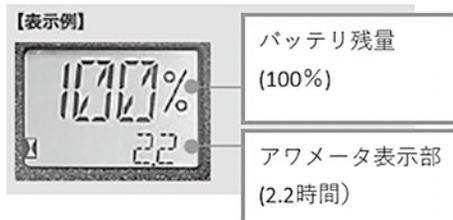


写真13 状態表示機能

② エラー表示機能

車両の制御装置にエラーが発生した際に「スパナアイコン」および「ERR」と表示されます。具体的な異常内容は、エラーコード表示部に3桁の番号で表示されます。(写真14)

(番号と「ERR」は交互で表示)

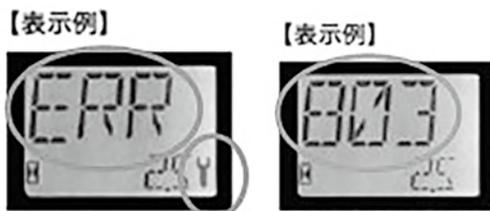


写真14

スパナアイコンとエラー表示 / 3桁のエラー番号

(5) メンテナンスフリーバッテリーの採用 (オプション)

補水不要なメンテナンスフリーバッテリーをオプションに設定し、日常メンテナンスにおける手間を軽減させることができました。

また、標準/オプションともに、開閉式バッテリーボックスを採用し、バッテリー交換を容易にしました。

(写真15)

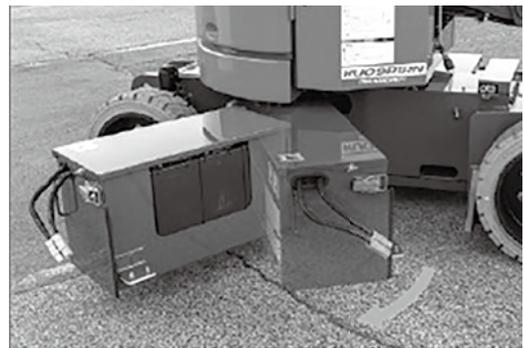


写真15 開閉式バッテリーボックス

4. おわりに

本車両は、お客様の要望、市場コンプレインに応えるとともに、密集した狭小スペースでの作業性、操作性、安全性に貢献し得る商品であると考えています。

今後も、お客様の課題解決に向けた商品の開発と普及に努めることで、お客様に貢献していきたいと考えています。

技術・技能の継承

中小企業診断士 松田 博文

4. 「技術・技能の継承」を取り巻く課題

今回も「2019年版ものづくり白書」(https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2019/honbun_pdf/index.html)を参考にしながら、製造業における技術・技能の継承について課題、取組、ポイント、方向性を説明していきます。

(1) 技能継承の重要性

ここでは、独立行政法人労働政策研究・研修機構（「JILPT」）の「ものづくり産業における技能継承の現状と課題に関する調査」（調査時点2018年11月）の結果を活用して説明します。

同調査によると、技能継承を重要と感じている企業は94%、重要性を感じていない企業は4%となっています。しかし、将来の技能継承については80%の企業が、不安があると認識しています（図8）。

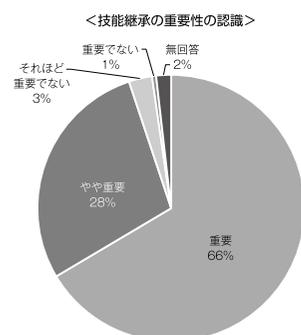


図8 技能継承の重要性と不安

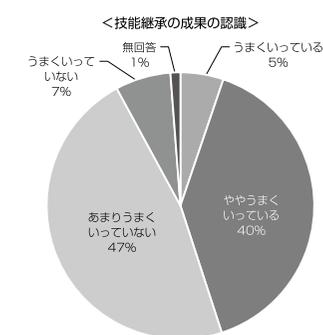
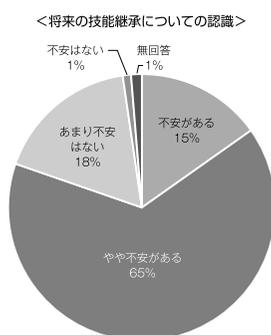


図9 技能継承の成果の認識

さらに自社の技能継承がうまくいっているかを問うと「うまくいっていない」が「うまくいっている」を上回る、やや否定的評価となっており、ほとんどの業種で同様の傾向となっています（図9）。

(2) 技能継承と生産性の向上

技能継承の取組が「うまくいっている等企業」と「うまくいっていない等企業」に、「同業同規模の他社と比べた場合の自社の労働生産性」を聞いたところ、「生産性が高い」と回答した企業では、技能継承が「うまくいっている等企業」が35.8%、技能継承が「うまくいっていない等企業」は19.2%と16.6ポイントの差が出ています。逆に「生産性が低い」と回答した企業では、「技能継承がうまくいっている等企業」が16.7%、「技能継承がうまくいっていない等企業」が36.3%と19.6ポイントの差が出ています。

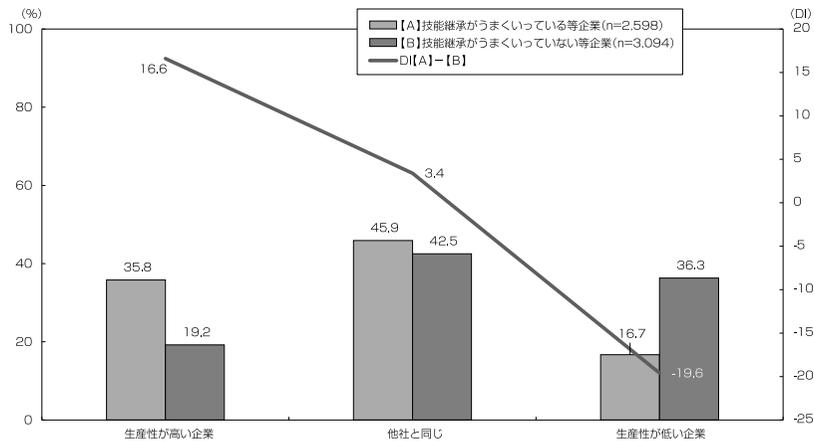


図10 他社と比べた労働生産性と技能継承の成果

つまり技能継承に成功している企業は、生産性も上がっていると認識していることがわかります (図10)。

(3) 技能の伝え手と受け手の確保

ものづくり企業におけるものづくり人材の年齢構成についてみると、技能継承が「うまくいっている等企業」では、「若手中心」と回答した企業が57.8%、「各世代均等」と回答した企業が64%、「中堅中心」と回答した企業が51.5%となっており、ベテランから中堅へ、中堅から若手へというように、技能の受け手と伝え手の世代が近く、比較的技能継承が円滑に進みやすい年齢構成となっている企業の割合が高くなっています。

一方、技能継承が「うまくいっていない等企業」では、「中堅不足」と回答した企業が61.8%、「ベテラン中心」と回答した企業が63.5%となっているなど、技能の受け手となる若手や中堅世代が少ない年齢構成と回答した企業の割合が多くなっています。

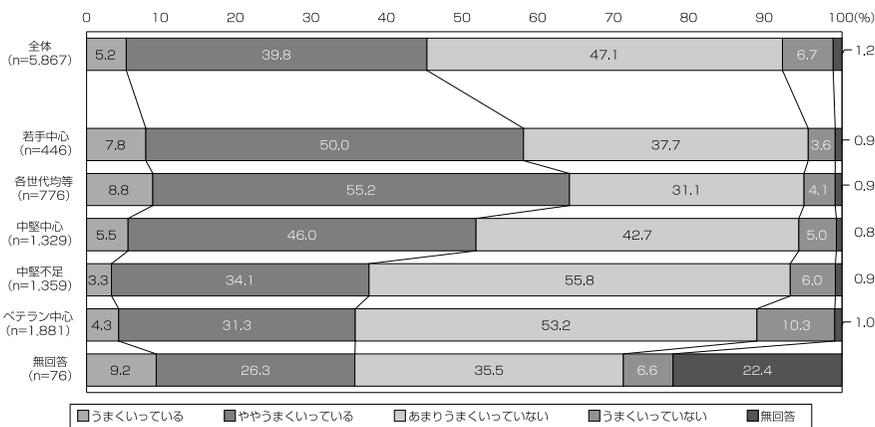
技能継承が「うまくいっている等企業」

は年齢構成のバランスが良いが、技能継承が「うまくいっていない等企業」はベテランの割合が高い傾向がみられます (図11)。

またものづくり企業におけるものづくり人材の年齢構成を企業規模別にみると、大企業では「中堅不足」(32.8%)、中小企業では「ベテラン中心」(32.3%)が最も多く、いずれにおいても若手が少なく、熟練技能者が多い様子が伺え、ものづくり人材の高齢化が進んでいます (図12)。

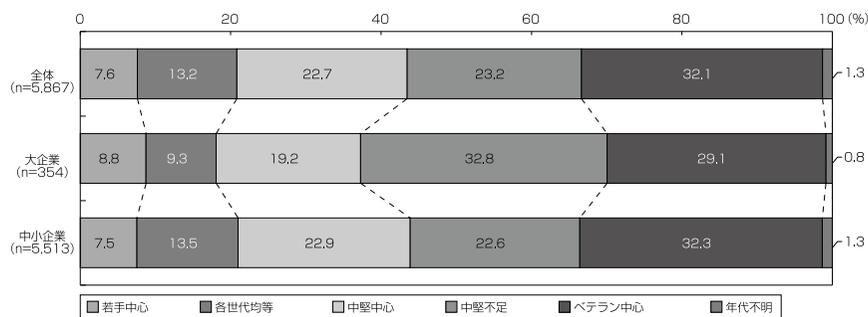
60歳以上のものづくり人材が果たす役割についてみたところ、技能継承が「うまくいっている等企業」では「若い人への技術・技能の指導役」(67.0%)が最も高いのに対して、技能継承が「うまくいっていない等企業」では、「製造・組立作業を担う技能者」(71.6%)が最も高くなっています。

技能継承がうまくいっている企業は、熟練技能者を現場で活用すると同時に、役割付けを変えて技能の伝え手として活用している状況がみてとれます (図13)。



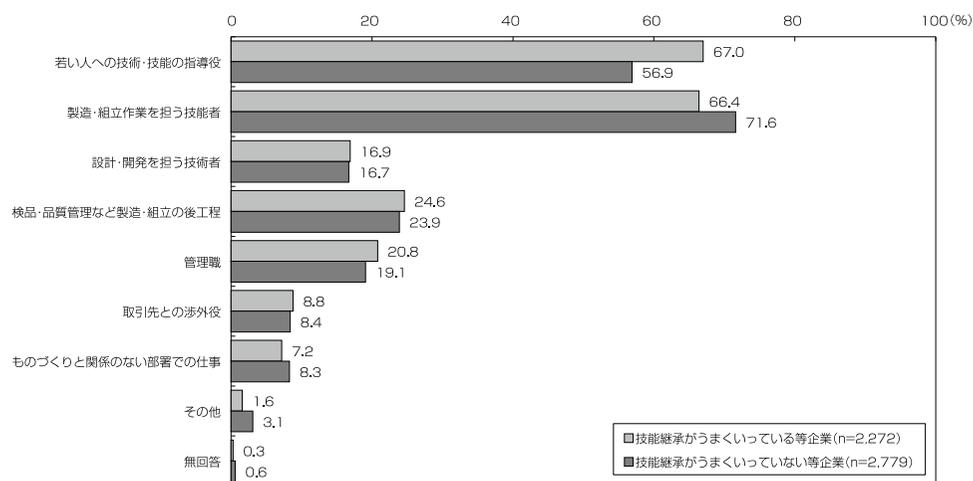
資料：JILPT「ものづくり産業における技能継承の現状と課題に関する調査」(2018年)

図11 世代構成別の技能継承の成果



備考：従業員が300人以上の企業を大企業、300人未満の企業を中小企業とした。
資料：JILPT「ものづくり産業における技能継承の現状と課題に関する調査」(2018年)

図12 企業規模別平均年齢



備考：「無回答」は表示していない。
資料：JILPT「ものづくり産業における技能継承の現状と課題に関する調査」(2018年)

図13 60歳以上のものづくり人材が果たす役割

- (4) 企業のものづくり人材の育成方針・環境
ものづくり人材の育成、能力開発の方針の社内での浸透度については、技能継承が「うまくいっている等企業」は育成・能力開発の方針が、「ある程度浸透している」(77.4%)との回答が最も高く、技能継承が「うまくいっていない等企業」は「あまり浸透していない」(49.4%)と回答した企業が最も多くなっています(図14)。

ものづくり人材の育成、能力開発の方針の社内での浸透度についても技能継承の成果に比例していることが明らかです。

- (5) 技能承継の取組方法

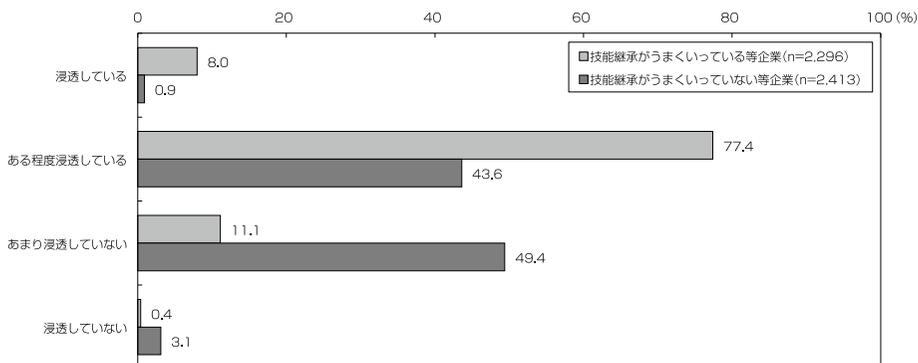
技能継承を進めるための取組について、技能継承が「うまくいっている等企業」、「うまくいっていない等企業」とともに、「再雇用や勤務延長などにより高年齢作業員に継続して勤務してもらう」と回答した企業が最も多くなっています。次いで「うまくいっている等企業」では「継承すべき技能の見える化(テキスト化・マニュアル化・IT化)を図る」(60.6%)が多くなっています。

「うまくいっている等企業」と「うまくいっていない等企業」では、「技能継

承の指導者に対して「教える」ことに関する訓練を実施する」、「会社内外を問わず熟練技能者を講師として勉強会を開催する」、「技能継承専任の指導者を選抜する」などについて、取組に差が生じています(図15)。

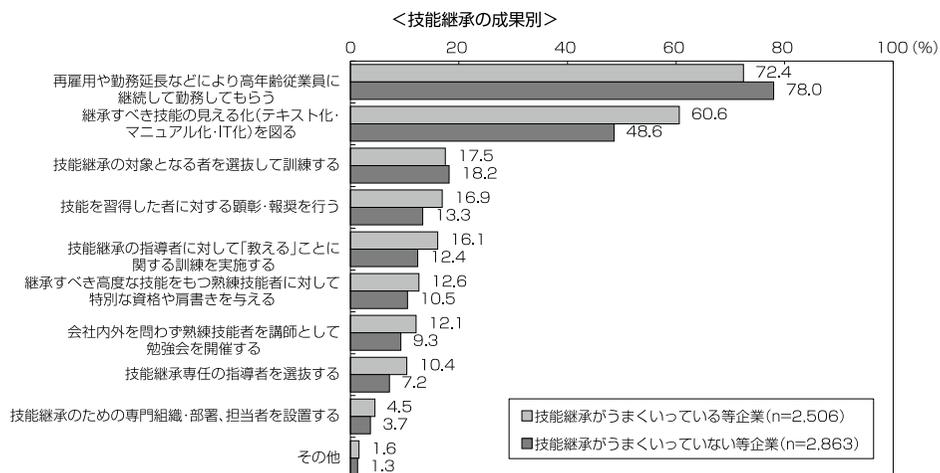
技能継承が「うまくいっている等企業」は、技能を実際に教えていくために必要なツールやノウハウ、体制の整備等について、きめ細やかな取組みをより多く行っている傾向がみ取れます。

- (6) ものづくり企業に対する必要な行政支援
人材確保・育成や技能継承にかかる行政からの支援の要望をみると、「若者のものづくりに対する意識を高めるための取組」、「職業訓練を実施する事業主への助成金の支給対象の拡大や支給額の増額」、「ものづくり人材向けの在職者訓練の充実」、「指導力強化に向けた指導者向けの勉強会の実施」となり、技能の受け手の意識啓発や能力開発への要望に加えて、技能の伝え手の指導力強化への支援の要望を挙げる割合が高くなっています(図16)。



備考:「無回答」は表示していない。
資料: JILPT「ものづくり産業における技能継承の現状と課題に関する調査」(2018年)

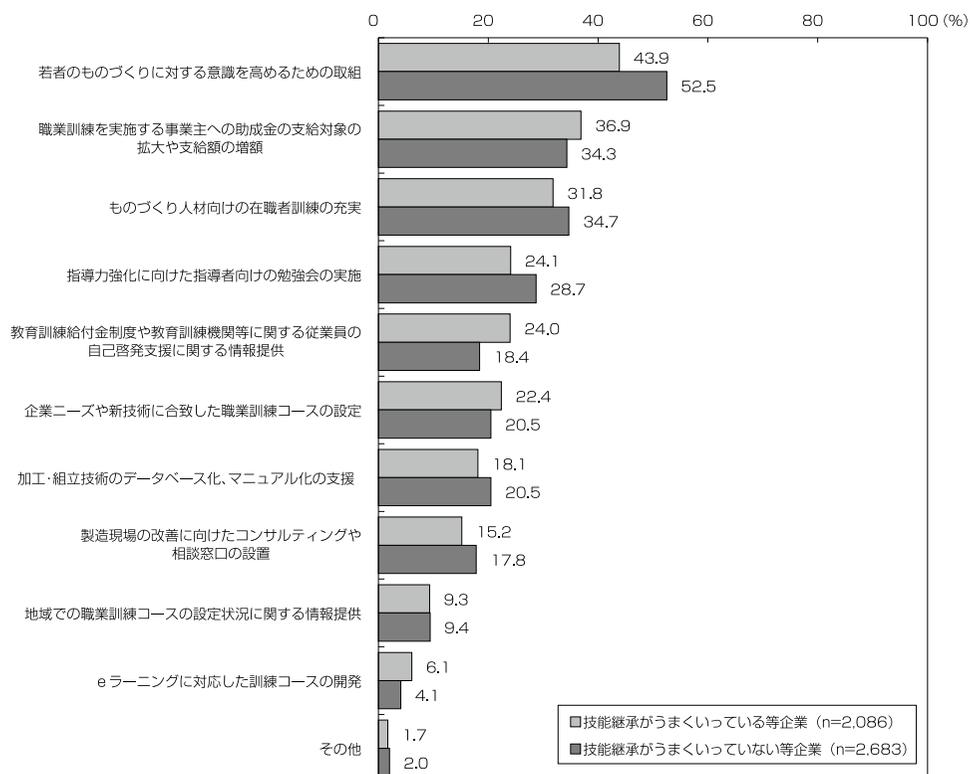
図14 ものづくり人材の育成・能力開発の方針の社内での浸透状況



備考：「無回答」は表示していない。

資料：JILPT「ものづくり産業における技能継承の現状と課題に関する調査」（2018年）

図15 技能継承を進めるための取組



備考：「無回答」は表示していない。

資料：JILPT「ものづくり産業における技能継承の現状と課題に関する調査」（2018年）

図16 ものづくり企業に対する必要な行政支援

ここで参考となる代表的な行政支援策・機関を挙げておきます。

□厚生労働省「人材開発支援策」のご案内
(<https://www.mhlw.go.jp/content/000694695.pdf>)

- 生産性向上人材育成支援センター
- 都道府県が実施する訓練ものづくりマイスター
- キャリアコンサルティング（セルフ・キャリアドック）
- ジョブ・カード 教育訓練給付金 ユースエール認定制度
- 人材開発支援助成金

□厚生労働省 技能検定制度について
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/ability_skill/ginoukentei/index.html)

□独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 職業能力の開発支援

- (<https://www.jeed.go.jp/js/index.html>)
- 職業能力開発促進センター（ポリテクセンター）
 - 職業能力開発大学校・職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ）
 - 職業能力開発総合大学校別ウィンドウ
 - 生産性向上人材育成支援センター

□中央職業能力開発協会
(https://www.javada.or.jp/kyoukai/pdf/JAVADA_JP2020.pdf)

- 職業能力評価試験 技能検定
- ものづくり基盤の強化 技能五輪大会
- キャリア形成支援

5. 今後の技能承継の方向性

ものづくり企業は、多かれ少なかれ、人材の確保に苦勞をしている状況にあります。しかし同じ状況下でも、技能承継の重要性についての方針の策定やその浸透など、企業内での技能重視という土壌をつくり、技能の見える化といった承継に必要なツールや指導体制を整備するなど、腰を据えて技能承継に取り組むという姿勢が、比較的短期間に一人前の技能者となることを可能とし、人材の定着を促し、企業の労働生産が高くなるという結果につながっていくという示唆を得ています。

「2019年版ものづくり白書」では以下の3つの方向性を示しています。事例は白書をご参照ください。

- 技能の見える化
- 良好な人材育成の推進
- 伝え手側の確保や質向上

次回からは4回に渡り、主に中小企業の実例による技術・技能の承継の創意工夫を説明します。

参考文献

- 「2019年版ものづくり白書」（経済産業省・厚生労働省・文部科学省）
- 「平成30年度ものづくり基盤技術の振興施策 概要」（厚生労働省 人材開発統括官）

イラスト災害事例

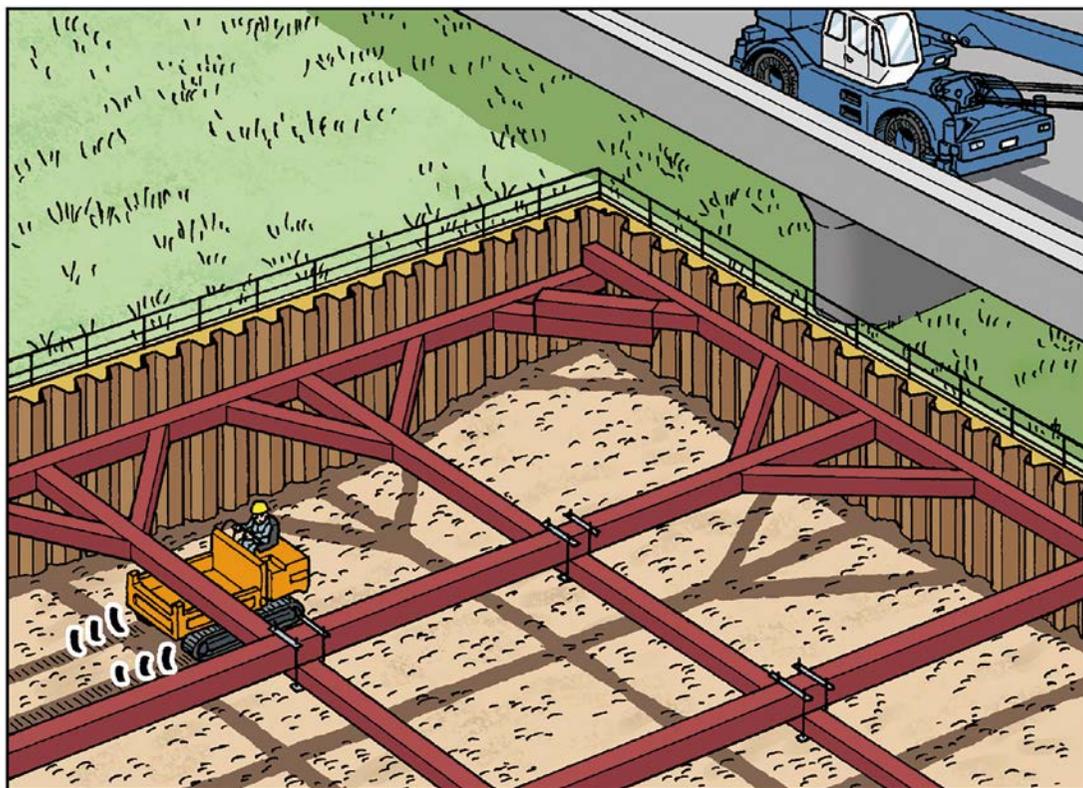
車両系荷役運搬機械および車両系建設機械・高所作業車(特自検対象機械)の労働災害事例について、災害発生前と発生後をイラストにして説明しています。職場の皆様でご覧になり、安全作業、危険予知活動等にご活用ください。

1. 車両系荷役運搬機械の災害事例

【分類】 起因物：不整地運搬車 事故の型：激突

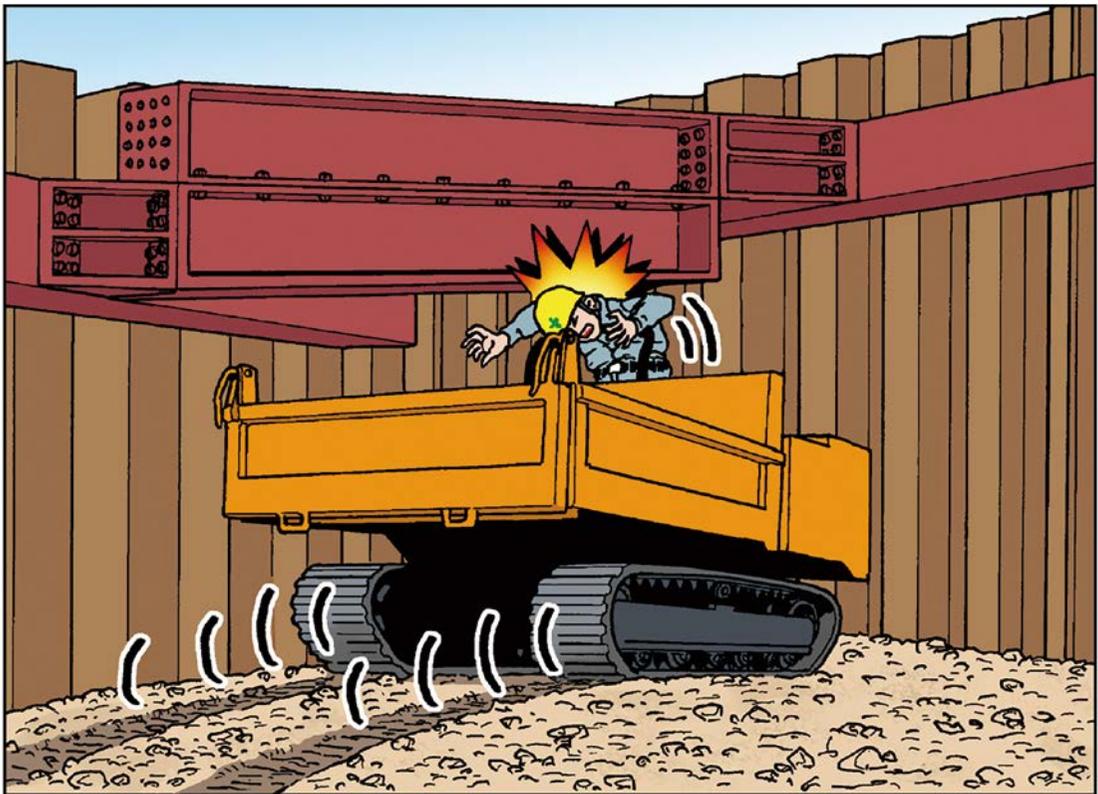
1-1 どんな危険が潜んでいるのでしょうか…(この状況で予知される災害は?)

工事現場において、小型不整地運搬車を橋下の工事箇所から橋上につり上げるため、所定の位置に移動しようと後進させていました。



1-2 どうすれば防げるでしょうか… (こんな災害が発生しました)

山止め部材の火打ち梁(山止め用H形鋼)の下に潜り込むように進入してしまい、運転者が火打ち梁と小型不整地運搬車の運転席の間に挟まれました。



【災害発生防止のポイント】

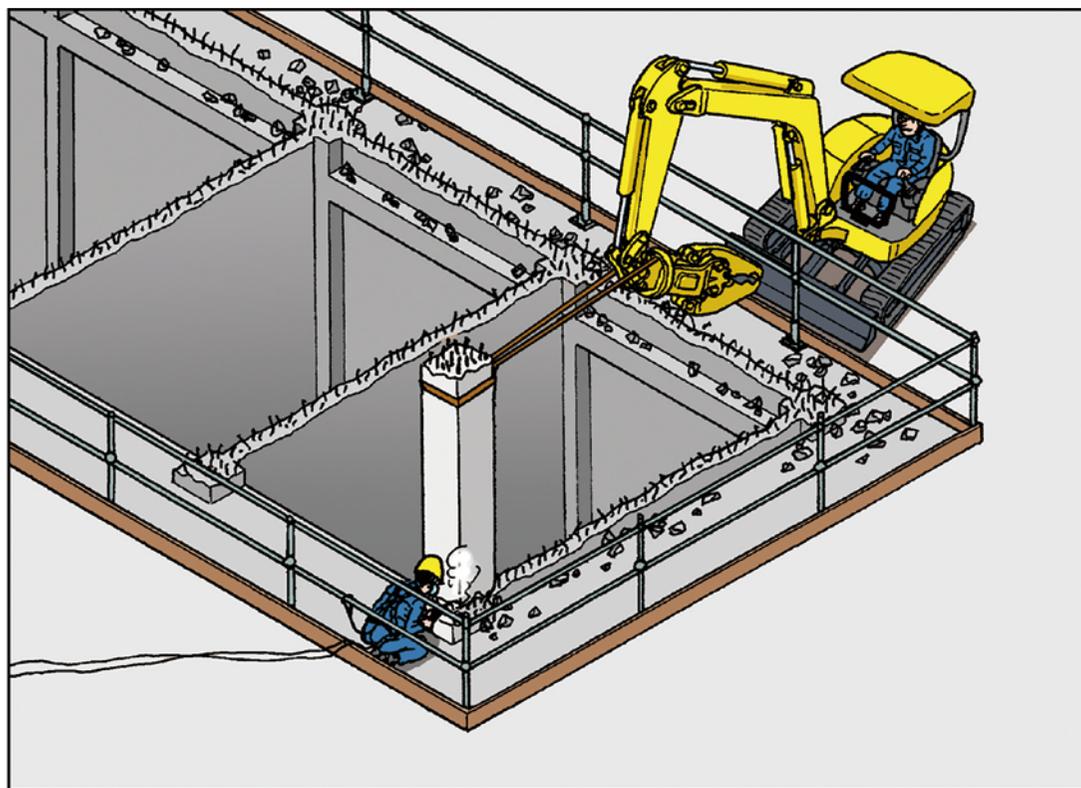
- 搬送路の高さと幅員を十分に確保するように計画し、作業(走行)させること。
- 頭上障害物がある箇所の前後に、注意表示を掲示する等の措置を施すこと。
- 障害物がある場所での走行は、できるだけ前進とし、進行方向を目視確認したうえ、徐行運転を徹底すること。

2. 車両系建設機械等の災害事例

【分類】 起 因 物：解体用機械 事故の型：墜落・転落

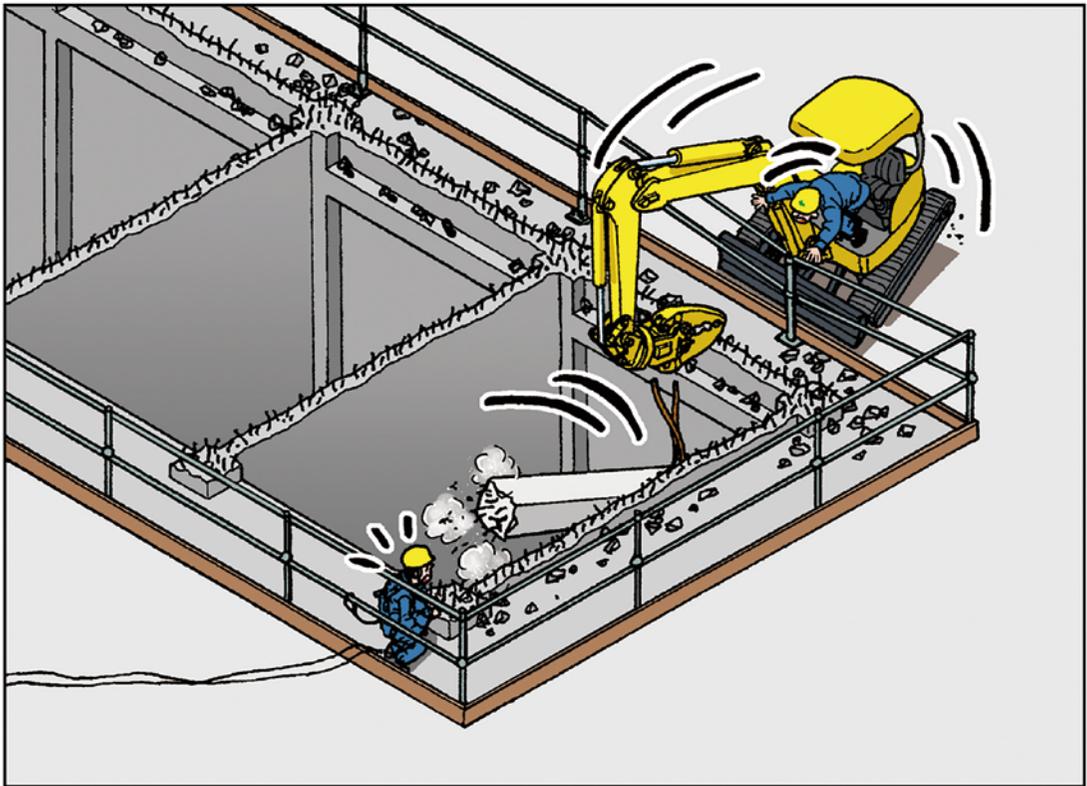
2-1 どんな危険が潜んでいるのでしょうか…（この状況で予知される災害は？）

商業ビル解体工事にて、エレベーター塔屋2階の解体作業中、コンクリート支柱をピット内に落とすため、支柱下部を研り、鉄筋を溶断しながら向かい側に設置した車両系建設機械で支柱上部をワイヤーロープで吊っていました。



2-2 どうすれば防げるでしょうか… (こんな災害が発生しました)

切断されたコンクリート支柱がピット内に倒れたたはずみで、車両系建設機械がピット内に引っ張られました。それに伴い、運転者がピット内に投げ出されて、墜落しました。



【災害発生防止のポイント】

- 車両系建設機械で支柱を吊り下げない(用途外使用禁止)。適切な機械等で作業を行うこと。
- 運転者はシートベルトを使用する。

(参考)

路肩、傾斜地等であってブーム及びビームの長さの合計が12m以上である解体用機械の転倒又は転落により労働者に危険が生ずるおそれのある場所においては、原則この解体用機械を用いて作業を行ってはいけません。(安衛則171条の4)



世代交代

運営幹事会 幹事 川尻 紳示
トヨタ L & F 中部株式会社
取締役 常務執行役員

□はじめに

コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様にも、心よりお悔やみ申し上げます。

また長期にわたり人々の命を守るため、日々ご尽力いただいている医療関係者の方々に、心よりお礼申し上げます。

□生い立ち

私は、郡上踊りが有名な岐阜県郡上八幡から、車で30分ほど山奥深く入った、棚田と養蚕・炭焼き等を生活の糧とした農村の長男として生まれ、幼少期を自然のど真ん中で育ちました。

最寄りの民家は眼下100m、耕す牛の背に乗り、裏山にある炭焼き小屋のトタン屋根の下で、満天の星を見ながらお爺さんの戦禍を子守り歌に就寝。五右衛門風呂の当番を命ぜられた時には、鉈を手に誇らしげな大人気分になった記憶が微かに残っています。

私が生まれた1950～1964年代は、東京オリンピック・いざなぎ景気・日本列島改造ブームといった高度経済成長期で育ち、学生運動などが沈静化した後の、政治経済などにあまり興味を示さない「しらけ世代」と言われています。少し悲しいネーミングではありますが、一般的にはこの表現が平均値として時世を表現しているのでしょう。ちなみに次の世代が「バブル世代」へと繋がって行きます。

1983年の入社当時には、どこの会社でも「焼け跡世代」と言われる戦後の食糧難な

どを経験された方々や、第一次ベビーブームの競争環境で育った「団塊世代」といった、戦後の日本を世界屈指の経済大国にまで押し上げた豪快な経験の持ち主が数多く、学生時代の同期連中には売りにしていた田舎話しも、諸先輩の昔話を聞く誘い水になっていた気がします。

□現在

入社から40年目を迎え、今まで色々と教えて頂いた、呑む打つ買うのハチャメチャ剛腕営業マンや、必ずカンコツで現場復旧してくるウルトラサービスマンだの…アナログにはめっぽう強かった方々のほとんどが現場からいなくなりました。時の流れではありますが、いざ自分がそこに近づくにつれ、アナログであるべき部分を次世代へ継承出来ているのか…ジレンマに陥ることがあります。

また故郷では、都市部への過密化問題などに並行して過疎化と高齢化が止まらず、それに伴う自治体の税収減少で行政サービスが低下、路線バスなどの公共交通機関や医療の衰退。そんな悪循環が続いたことで耕作放棄地が増加、昔は線引きされていた野生動物との縄張りも人間側に後退。残されたほとんどの田畑にはイノシシ除けの電流策や、2m近いシカ除け策などが張り巡らされ、昔ののどかな景色とは、かけ離れた状態となっています。

ここ5年で全国の農業従事者人口が23%減少、残っている70%強が65歳以上の高齢者

となっているらしく、いかに地方の農家が衰退しているかが飲み込めます。また名義を変えぬまま世代交代が進んでしまい、所有者不明土地となってしまう例も年々増加しているとか…コロナ禍テレワークなどで田舎の良さが見直しされ、いざ町から移住しようとしても、タダ同然の不動産が買えない例などが全国に拡大している現状を聞くと、田舎生まれの者として本当にさみしく感じてしまいます。

□これから

いま世の中はIOTやAIと言った情報技術を軸とした第四次産業革命が到来し、また日本政府による2050年カーボンニュートラル宣言やDX革命などが代表する様に、様々な業種が国際標準化に向けて、作り方や運び方などの見直しが凄まじい速度で進み、アナログ世代では追いつけない変革期に突入しています。建設荷役車両の業界でも技術革新が進んでおり、今までのカンコツ修理までもがデジタル化されてくるのかも知れません。

そんな時代の第一線で今活躍しているのが、バブル崩壊によって就職難などを味わった「氷河期世代・プレッシャー世代」、または大卒で自然にAIを使いこなしてきた「ミレニアル世代」と呼ばれる中堅幹部スタッフが主軸となって牽引しているのは、どんな業種でも共感できるところではないでしょうか。

新入社員としては、物心ついた時からスマホをサクサク使いこなしてきた「ゆとり世代」または「さとり世代」と言われる、非ブランド志向の合理主義でワークライフバランス重視といった平均値のスタッフが登場してきています。彼らが経験してきた昔もそれぞれだと思いますが、これから目まぐるしく変化するデジタル社会には、欠かせない人材となって行くのでしょうか。

また一方では内閣府の地方創生に向けた、地方からイノベーションを起こすスーパーシティ構想たる目論みが始まった様で、その中で取り上げられている過疎化・

過密化への対策など、アナログ世代では考えもつかない創造を、次世代の若者達に期待を込めて託したいと思っています。

実家も120年を超え無人となり、いたる所から隙間風が通り抜けるボロ屋となっていますが、せめて自分の代で廃墟にしてみわれない様に、地元のシルバー大工さんと一緒にチマチマと抜けかけた床などの修繕を始めました。

これから先も、より効率的で快適な世の中へと世代交代が行われていくのですが、今と比べて決して快適とは言えないけれど、面倒くささが豊かさだったと感じられる今、「しらせ世代」の自分に出来る範囲で、昔の良き景色が追想できる環境を整備して行こうと考えています。

□少しだけPR

今年3月に、名古屋市昭和区白金にある私どもの旧本社を、設立60周年行事の一環として建替え、白金オフィスとしてオープン致しました。

ここは固定概念にとらわれない当社のミレニアル世代がコンセプトから考え、狭いながらも知恵が詰まったオフィスにしてくれたと思っています。

受付は非接触の空間投影パネル、展示場には現場の無駄や危険が立体的に体感できるバーチャルドームや、工夫を凝らした省人化機器の展示、また安全作業に向けたKY（危険予知）道場の設置。事務室はフリーロケーションとして4S（整理・整頓・清掃・清潔）の工夫なども、お客様に見ていただける施設となっています。

若手スタッフによる手作り動画もYouTubeに載せてありますので、よろしければ一度覗いてみて下さい。



以上

安全・技術講座

第69回

我が社のセールスポイント

広島県支部
トヨタ L & F 広島株式会社

「我が社のセールスポイント」は、会員同士が切磋琢磨する情報を提供する場として、通年表彰の「企業賞」の受賞会社に「安全管理」、「整備・検査」、「法令遵守」、「技術開発・考案」、「環境」などについて記載していただき、労働災害防止活動や技術開発・改良・考案等に対する意欲向上を図る場を提供することを目的としています。

250号から令和2年度に表彰された企業をシリーズで紹介していますが、今回は広島県支部のトヨタL&F広島株式会社様に執筆をお願いいたしました。

なお次回からは令和3年の「企業賞」受賞会社を紹介する予定です。

1. はじめに

弊社は1969年2月にトヨタフォークリフト販売店として広島トヨタフォークリフト(株)をスタートさせました。産業車両、主にフォークリフトの販売とアフターメンテナンスを行い、地域の物流現場を支えるとともに、よりお客様の近くでお役に立つこと目指し、事業所の展開を行いました。現在では広島県・島根県に14拠点を展開しています。

流は経営戦略を支える柱として、ますます重要性を増し、多様化する物流現場のニーズにこたえるため、産業車両にとどまらず、物流に関するあらゆる製品・システムに、トヨタ生産方式で培ってきた物流ノウハウを組合せ、それぞれのお客様に最適な物流機器をご提案するためトヨタL&F広島(株)に社名変更しました。



3輪 バッテリーフォークリフト

また1998年10月からは経済のグローバル化や情報通信技術の進化が加速する中、物

TOYOTA L&F

ロゴ

「L」はLogistics 「F」はForkliftの略で、お客様の“困った”や“改善したい”という声に応え、物流のプロフェッショナルとしてお客様の現場の最適化をお手伝いしています。



本社屋

2. 会社概要

(1) 概要

社名：トヨタ L & F 広島株式会社

設立：1969年2月

代表者：代表取締役社長 藤井開三

所在地：広島県広島市西区商工センター
2丁目16番10号

資本金：3,000万円

売上高：58億7,592万円(2020年3月期)

事業所：広島県 12拠点

島根県：2拠点

従業員数：162名



事業所一覧

(2) 特定自主検査登録機種

- フォークリフト

- 高所作業車

- 車両系建設機械

(整地・運搬・積み込み用、掘削用及び解体用)

(3) 特自検実施台数

- 年間 9,300台

(4) 協会の研修・教育への参加

- 能力向上教育、安全教育、実務研修
- 特定自主検査員資格取得研修への参加

(5) 協会事業への参加

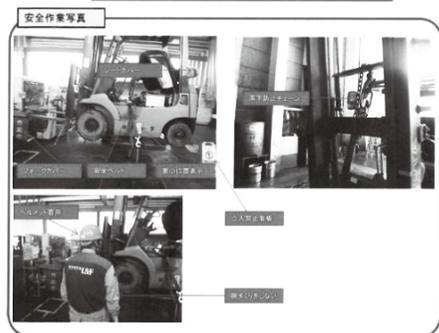
- 特定自主検査巡回指導員の派遣
- 協会主催の各教育研修へ講師の派遣

3. 安全管理の取り組み

各事業所で月に1回の安全衛生ミーティングを実施し、危険予知活動をはじめ「ヒヤリ・ハット」の撲滅や事故事例の社内展開から安全整備の考察を行っています。そして全国トヨタ L & F 販売店の事故事例を参考に定期的に講習会を開催し、安全作業に対する意識向上に努めています。

サービスインフォメーション

安全作業の徹底！！



社内展開ツール

また作業環境や設備についても安全作業を行うための更新や工夫をしています。

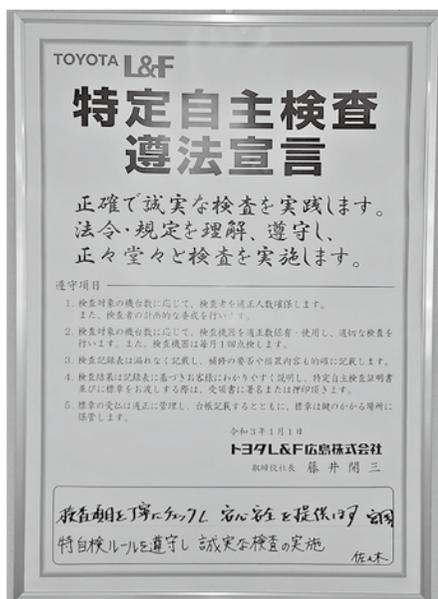


スペースに余裕を持たせた整備場

特に電動工具など省力化や作業効率の向上が見込める工具類の導入を積極的に進めています。

4. 整備・検査

「お客様の現場を止めない」整備を心掛け、検査時の重点実施事項を各資格証とともに携行し、朝礼で唱和することで意識の向上を図っています。



各事業所に掲示

またお客様の現場に整備でうかがう機会が多いため、整備場所の安全確保や現場のルール把握などを行い、積極的にコミュニケーションをとりながら状況を踏まえ安全に整備を行うよう努めています。



お客様先にて

5. コンプライアンス

検査業務フローを、漏れや不備を未然に防ぐために整理して全社で統一された運用ルールで実施し、監査委員が毎月全事業所を巡回監査・指導し、監査委員会を月に1回開催しています。

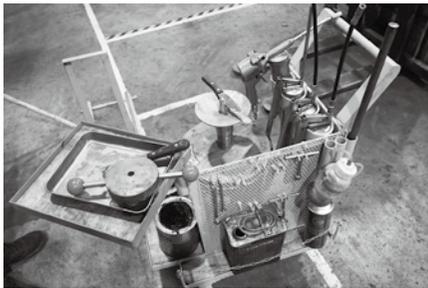
また検査の正確性はもちろん「誠実」をキーワードに検査を実施し、検査・測定方法や記録表への記載基準を定め、定期的な講習会を開催しています。



特定自主検査 講習会

6. 技術開発・改良・考案

2008年からお客様満足（CS）と従業員満足（ES）の向上、総労働時間の短縮を目的に「働き方変革プロジェクト」を起動しました。各事業所で作業手順の見直しや環境改善、整備工場のレイアウト変更などの細かいことから、工程管理方法の変更など全社の業務に関わる改善まで、主体的に改善活動を進めています。



手作りのグリス給油台車



作業工程管理ボード前にて打合せ

また毎月報告会を開催し、全19グループから3グループが報告します。報告内容は全社で共有し、次の改善につなげます。



改善報告会

7. 環境への配慮

エンジンフォークリフトの環境性能向上はもちろん、CO₂削減効果の高い電動フォークリフトを積極的に推進しています。そして照明器具のLED化による消費電力の削減や太陽光発電による再生資源活用などの取り組みも行っています。

また再利用可能な廃棄物のリサイクルや産業廃棄物の適切な処分も徹底しています。



ゴミステーション

8. 社内研修の概要

社内資格のトヨタ技能検定資格の取得研修や新商品の技術研修など年間を通して様々な研修が計画され、整備技術の向上に努めています。また産業車両製造元の(株)豊田自動織機への技術者派遣や定期的な派遣研修による技術向上や情報交換によりさらに効果を高めています。



トレーニングセンター研修

[理事・サービス部長 橋上 宣宏]

製品紹介

製品名	新型13トン級油圧ショベル 「SK125SR」、「SK135SR」、「SK130SR+」	コベルコ建機株式会社
発売年月	令和3年5月	

■概要

コベルコ建機株式会社は、機能性と快適性を大幅に向上させたオフロード法2014年基準適合の新型13トン級油圧ショベル3機種SK125SR、SK135SR、SK130SR+の販売を、2021年5月1日より開始しました。

今回販売を開始した新型13トン級油圧ショベルは、作業効率や生産性を追求するとともに機能性・快適性を大幅に向上させたフルモデルチェンジ機です。

■主な特長

1. 商品力の向上

- 従来機から定評のある「iNDR(エンジン冷却システム)」を引き続き採用し、優れた防塵・メンテナンス・低騒音性を実現しています。
- 全体の油圧制御を見直したことで、掘削速度が向上、掘削サイクルタイムが従来機^{*1}比8%、生産性が9%アップしました。
- バケット掘削力が従来機^{*1}比17%(SK130SR+は従来機^{*1}比6%)アップしました。
- 左右と後方の機械周囲約270°を鳥瞰的に確認することができるイーグルアイビューを標準装備しました。パネルに内蔵した左右/後方のカメラの映像をモニタに表示することが可能で、安全性確保に貢献します。
- エンジン始動時にパスワード入力設定が可能となり、セキュリティを強化しました。
- バケット、ブレーカ、ニブラーに加え、回転グラブプルやチャルトロータなど計7つの先端アタッチメントに対応する流量モードが初期設定されており、スピーディなアタッチメントの変更対応が可能となりました。他のアタッチメントの設定・追加も簡単におこなえるとともに、各モードのカスタマイズも簡単な操作で可能です。
- アタッチメントの高さ・深さ表示機能により、現在の高さを確認できるとともに、任意の高さ・深さでアラームを鳴らすことが可能になりました^{*2}。
- シートベルト未装着警告機能を採用。未装着時にはモニタに警告表示をおこないます。
- 多様なオペレータの体格に合うように、また疲れにくく快適に操作できる角度にレバーポジションを新設定しました。

2. インテリア(機能性と快適性の向上)

- 業界最大級の大型10インチカラーモニターを採用しました。各種操作はジョグダイヤルを採用することで、ストレスなく意のままに操ることが可能です。また、各種スイッチ・

ダイヤル類にはLEDバックライトを採用し、室内の質感と夜間の室内視認性を向上させています。

- アームレスト付のメカニカルサスペンションシートを採用することで優れた衝撃吸収性を実現しました。
- 操作時の最適なシートポジションを検証し、従来機よりも足の踏ん張りが効き、よりショベルの操作に向けたシートポジションとしました。
- Bluetooth及びハンズフリー機能付ラジオを採用したことで、スマートフォンとのペアリング、ハンズフリーでの通話が可能となります。コンソールにはスマートフォンホルダ・USBポートも新たに装備しました。
- ドアの開閉、キーのオンオフに連動して自動点灯・消灯するLEDルームライトを採用しました。
- エアコンの背面吹き出し口を大幅に見直すことで、蒸れやすい腰や肘など、オペレータに直接風を当てることができるような設計としました。
- ロールアップ付サンシェードを新たにオプション設定しました。

3. エクステリア

- 外観形状は“ソリッド(堅牢)&アドバンス(先進性)”をコンセプトに刷新しました。
- ブーム及び本体前面の前置灯はLEDを採用し、夜間作業性を向上しました。

4. メンテナンス性

- カウンタウエイトの形状を見直すことで、左右のパネル内の機器が見易くなりました。
- 尿素タンクの位置を見直し、地上からの補給を可能としました。
- 出し入れを考慮し、地上から収納可能な開口部形状の平仄収納スペースを新設しました。
- オプションのトップガードは開閉式とすることで清掃しやすくなりました。
- バッテリー遮断装置が標準装備されており、スイッチ操作でバッテリーからの通電を遮断できます。これにより、長期休車時の電力消費を軽減できるほか、メンテナンス性の向上にもつながります。

*1 従来機：SK125SR-5/SK135SR-5/SK130SR+-5

*2 ハイリーチクレーン仕様機の機能となります。

■問合せ先

コベルコ建機株式会社
広報秘書グループ TEL: 03-5789-2112

■主な仕様

機種名	SK125SR	SK135SR	SK130SR+
本体型式	SK125SR-7	SK135SR-7	SK130SR+7
運転質量	kg 13,300	14,100	14,200
●性能			
標準バケット容量 (山積/平積)	m ³ 0.45/0.35	0.50/0.37	0.45/0.35
旋回速度	min ⁻¹	11.0	
走行速度(1速/2速)	km/h	3.4/5.6	
登坂能力	%	70	
最大掘削力	バケット kN	105.4	92.9
	アーム kN	64.0	61.9
●寸法			
全長	mm	7,430	7,560
全幅	mm	2,490	
全高	mm	2,810	2,860
●エンジン			
定格出力/回転数	kW/min ⁻¹	80.7/2,200 (ファン付き)	
		86.0/2,200 (ファン無し)	



油圧ショベル「SK135SR」

※ この欄では、会員企業から随時提供されるニュースリリースをもとに、数機種を選び掲載しています。

製品名	油圧ショベル向けオプション積込み荷重計量機能 「K-LOAD(ケイロード)」	コベルコ建機株式会社
発売年月	令和3年7月	

■概要

コベルコ建機株式会社は、現行の20トンクラス油圧ショベルSK200-10/SK210LC-10への新車時オプションとして、積込み荷重計量(ペイロード)機能※「K-LOAD(ケイロード)」の設定を2021年7月1日より開始します。

本機能は、積込み作業における積載荷重を見える化するものです。本機能を搭載することで、土砂積込みの過積載・過少積載の抑制や、秤量後の積込み超過/過少による往復、重量調整作業を削減することができます。

■主な特長

1. バケット内の土砂の荷重及び積込み回数に応じた積算荷重を作業の過程で算出することが可能です。
2. 工場出荷時にキャリブレーション設定済で、作業現場で即ご使用いただけます。
3. グリップスイッチで積算の開始/終了ができるため、運転姿勢のまま容易に算出が可能です。また、前日・当日の積込み実績や積算はその場で確認が可能です。
4. バケット交換時のキャリブレーション設定に基準おもりが不要であり、運転席モニタに表示される指示に従って簡単にキャリブレーションが可能です。

5. 積込み目標をオーバーする前にアラーム音とポップアップ画面で警告されるため過剰・過少積載を未然に防ぐことが可能です。

6. 本機能は、国土交通省のNETIS(新技術情報提供システム)に登録済です。

積込み荷重計量機能搭載型バックホウ
(NETIS登録番号:KT-200109-A)

※本機能は、計量法に準拠した製品ではございません、取引・証明には使用しない様お願いします。

正確な計量はトラックスケールを用いておこなってください。

※ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。

※本機能のオプション設定は、標準仕様機のみです。また、本機能の適切な利用には一定の条件がございます。詳しくは販売店までお問い合わせください。

<参考>

○コベルコ建機日本エリアサイト(ホームページ)
「K-LOAD PickUp ページ」

<https://www.kobelco-kenki.co.jp/pickup/generation10/>

■問合せ先

コベルコ建機株式会社

広報秘書グループ TEL:03-5789-2112



「K-LOAD(ケイロード)」表示画面



「製品ロゴ」

※ 掲載は、定期又は特定自主検査の対象機種とそのアタッチメント、及び検査測定器に限ります。

製品名	次世代大型油圧ショベル「345GC」	キャタピラー ジャパン 合同会社
発売年月	令和3年4月	

■概要

キャタピラージャパン合同会社は、Cat 345 GC 油圧ショベルを4月16日より発売を開始しました。

今回発売の345 GCは、大型油圧ショベルが稼働する現場の中でも製品積み込み作業や油圧ブレーカ作業での作業性を維持しながら運転経費を大幅に削減させるために、新たなコンセプトで設計したマシンです。お客様の利益を追求し、燃料生産性の最大化とメンテナンスコストの低減で、土木工事や砕石など様々な現場へご提案できるマシンです。

なお、345 GCはオフロード法2014年基準に適合しています。

■主な特長

1. 燃料生産性の最大化

(1) 燃費消費量 最大10%削減

エンジン回転数と油圧ポンプの最適な組み合わせにより、旧モデル349Fと比較し燃料消費量を最大35%削減。また現行の従来機349と比較して燃料消費量を最大10%削減しています。

(2) 選べる2つのモード：パワーモードとスマートモード パワーモードは常時最大の油圧馬力を発揮し掘削・積み込み作業など生産性を、スマートモードは作業負荷を判断し、軽負荷作業時には最適な燃料効率で低い時間あたりコストを実現します。

2. メンテナンス性

(1) メンテナンス間隔の延長やメンテナンス作業の更なる容易化により、メンテナンスコストを従来機349と比較して最大35%低減しています(12,000時間稼働時)。

(2) 燃料フィルタの交換間隔は従来の500時間から1,000時間に、作業油リターンフィルタは2,000時間から3,000時間にそれぞれ延長し、メンテナンスにかかるコストと手間を低減しています。

3. Catテクノロジー

(1) プロダクトリンクやVisionLink® (ビジョンリンク) を利用することで、車両の位置や状態を把握し適切な機械管理が行え、燃料消費量やアイドル時間の分析によるコスト削減も可能です。

(2) オートハンマーストップ機能を搭載。ブレーカや車体へのダメージが著しい長時間打撃を自動で制御します。オン/オフはキャブ内モニターで行い、15秒でモニター上部に警告メッセージが表示され、30秒経つと自動で停止します。

4. 安全性

(1) 車両後方と右側方をサポートするカメラを標準装備。油圧ショベルの周りの人や物をキャブ内のモニターで確認でき、安全に作業が行えます。

(2) 標準装備の転倒時運転者保護構造 (ROPS, Rollover Protective Structure) は、ISOの規格に適合しています。

■主な仕様

		345 GC
運転質量	kg	43,300
標準バケット容量	m ³	2.1
エンジン名称		Cat C9.3B ディーゼルエンジン
総行程容積	ℓ	9.3
定格出力/回転数	kW/min ⁻¹	258/1,900
全長	mm	11,600
全幅 (トラック全幅)	mm	3,340
全高	mm	3,370
旋回後端半径	mm	3,530

■問合せ先

キャタピラー

GCI マーケティング イノベーション

〒220-0012 神奈川県横浜市区西みなとみらい3丁目7-1

TEL 045-682-3553



Cat® 345 GC 油圧ショベル

※ 提供されたニュースリリースは、必ずしも全数掲載とは限りません。また掲載時期がずれることもあります。

製品名	多機能型鉄骨カッター(3～5ton搭載用)「Vc5」	古河ロックドリル株式会社
発売年月	令和3年3月	

■概要

古河ロックドリル株式会社は、多機能型鉄骨カッター「Vc5」を開発し、本年3月より販売を開始しました。

3月より販売を開始した多機能型鉄骨カッター「Vc5」は、3～5tonクラスミニショベル搭載用であり、切れ味の鋭いストレート刃を標準装備。重量鋼材もラクラク切断可能です。大型のセンタピンにより、アクティブフレームの開きを抑えカッターの切れ味を維持します。コンクリート大塊も破砕する一体型くさび形状センタツースを装着し、それにより油圧圧碎機の操作性の向上や作業効率のアップが見込め、工期短縮に寄与できるようになりました。また、3次元CAD解析を駆使した設計により、強度や耐久性の向上、耐摩耗による長寿命化を実現し、ユーザーメンテナンスコストの低減が可能になりました。



多機能型鉄骨カッター「Vc5」

■主な特長

1. 重量鋼材も切断するカッター刃

切れ味の鋭いストレート刃を標準装備。4面が使用できるので経済的です。オプションで波型刃、L字型刃を用意しています。

2. 軽量・強靱なくちばし形状フレーム

超高強度鋳鋼一体構造フレームを採用。アクティブ

フレームの開きを抑え、強力なカッター切断力で重量鋼材もラクラク切断します。超スリムなくちばし形状のフレームは、狭い所への突込み作業での操作性を向上させています。

3. くさび形状センタツース

破砕効率を追求した、一体型の大型くさび形状センタツースをアクティブフレームに装備します。

4. ピストンロッドガード

大型スライド式ロッドガードをピストンロッド部に標準装備。

5. 360°フリー旋回機構

フリー旋回機構が、あらゆる方向・角度での連続作業を可能にしています。

6. オート旋回仕様(オプション)

圧碎機の開口時に開ききる状態を検知し自動的に旋回モータに作動油を流し旋回します。圧碎機への2本配管だけで片方向の油圧旋回が可能になり鉄骨切断をパワフル&スピーディに行います。

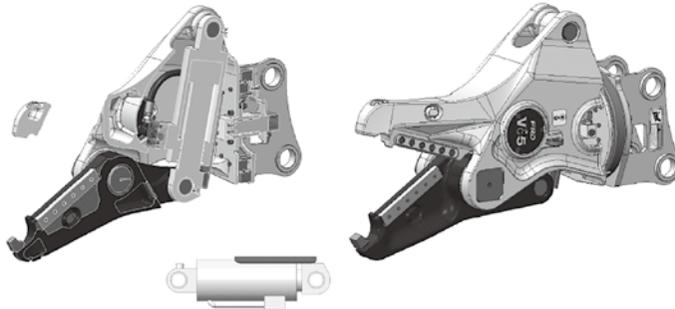
■主な仕様

モデル名称	Vc5	
質量	kg	280
全長	mm	1,155
全幅	mm	709
先端開口幅	mm	325
カッター長	mm	90
カッター切断力	kN	340
使用圧力	MPa	25
適合油圧ショベル	ton	3～5

■問合せ先

古河ロックドリル株式会社 営業企画部

TEL: 03-3231-6961



「Vc5」構造

※ 編集の都合により、ニュースリリース記載内容の一部を省略することがあります。掲載は無料です。

製品名	ICT 油圧ショベル「ZX200X-7」、「ZX330X-7」	日立建機株式会社
発売年月	令和3年10月	

■概要

日立建機株式会社は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」2014年基準に適合した新型ICT油圧ショベルZX200X-7とZX330X-7を、日本国内向けに2021年10月1日より発売します。

両機種は、日立建機のICT施工ソリューションの中核を担うICT油圧ショベル「Solution Linkage[®] Assist (ソリューションリンケージアシスト)」で、制御精度をさらに向上させた独自のマシンコントロール機能を搭載し、国土交通省が推進する i-Construction に対応するとともに、建築基礎、土木工事など、さまざまな現場でのICT施工の支援を実現します。

また、新採用の「エリアコントロール」機能により、油圧ショベルの上下・左右方向の動作制限エリアをモニター上で設定することが可能で、狭所や障害物のある現場での安全性向上に寄与します。

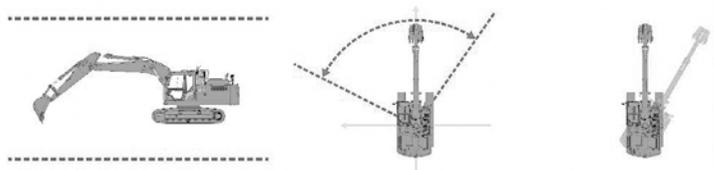
さらに、日立建機のICT・IoTソリューション「SolutionLinkage[®]」の新たなソリューションとして開発した「SolutionLinkage[®] Work Viewer (ソリューションリンケージワークビューワー)」を採用しました。現在と過去の稼働状況の映像を、スマートフォンで見ることができ、作業者および管理者の両方の観点での施工進捗管理を支援します。

■主な特長

- 独自のマシンコントロール機能をさらに改良
 - 新開発のマシンコントロールで作業スピードを向上し、操作負担を低減
 - マシンコントロール機能のアップグレードに対応
- ICT・IoTソリューション「Solution Linkage[®] Work Viewer」を採用、施工進捗管理を支援

車体の近くでスマートフォンと車載端末をWi-Fiで接続する*ことで、車体に搭載された各カメラで撮影された現在と過去の稼働状況の映像を、スマートフォンで見ることができ、施工進捗管理を支援します。本システムは、標準の「Aerial Angle[®]」のモニター映像に加え、フロントカメラ映像により360°の周囲映像も記録することができます。

*クラウドを利用して遠隔で稼働状況を確認できる追加サービスの提供を2021年12月に予定しています。
- 安全性向上
 - エリアコントロール機能の新採用
 - 周囲環境視認装置「Aerial Angle[®]」を標準搭載
- 生産性向上
 - 荷重判定装置「ペイロードチェッカー」を標準搭載
- ライフサイクルコスト低減
 - サービスソリューション「Con Site[®]」および「Con Site[®] OIL」に標準対応
 - 遠隔から機械の状態診断とソフトウェア更新を行うサービスソリューション「Con Site[®] Air」を適用



エリアコントロール機能(左から「高さ・深さセッティング画面」、「高さ・深さ」、「旋回角・旋回半径」、「面」)

※ この欄では、会員企業から随時提供されるニュースリリースをもとに、数機種を選び掲載しています。

■主な仕様

項目		ZX200X-7	ZX330X-7
標準バケット容量	m ³	0.8	1.4
運転質量	t	20.7	33.0
エンジン定格出力	kW/min ⁻¹	122	202
最大掘削半径	mm	9,920	11,100
最大掘削深さ	mm	6,670	7,380
最大掘削高さ	mm	10,040	10,350
最大ダンプ高さ	mm	7,180	7,240
最大掘削力昇圧時	kN	158	246
旋回速度	min ⁻¹	11.4	9.7
走行速度	km/h	5.5/3.5	5.0/3.2
全長(輸送時)	mm	9,670	11,210
全幅(輸送時)	mm	2,840	3,190
全高(輸送時)	mm	3,030	3,310
後端旋回半径	mm	2,910	3,600
最低地上高さ	mm	450	500

注) 単位は国際単位系(SI)による表示。

■商標注記

• SolutionLinkage、AerialAngle、ConSiteは、日立建機株式会社の登録商標です。

■問合せ先

日立建機株式会社 ブランド・コミュニケーション本部
 広報・IR部 広報グループ
 〒110-0015 東京都台東区東上野2-16-1
 電話：03-5826-8152



ICT 油圧ショベル「ZX200X-7」

製品名	土工用振動ローラ「ZC120S-6」	日立建機株式会社
発売年月	令和4年度	

■概要

日立建機株式会社の連結子会社である株式会社日立建機カミーノは、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）」2014年基準に適合した土工用振動ローラ ZC120S-6 を開発しました。土工用振動ローラの開発は、日立建機グループでは初めてです。本製品は、日本国内において2021年4月よりレンタルを開始し、2022年度から販売を予定しています。

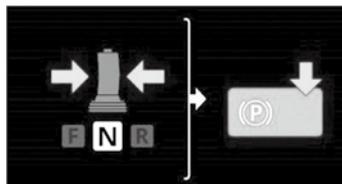
道路は、大きく分けて路床、路盤、基層、表層の4つの層から成り立ちますが、1つの層を施工するごとに、異なる道路機械での作業が必要です。

日立建機グループのこれまでの製品ラインアップは、路盤から表層までの工程を対象としたものでしたが、今回開発した土工用振動ローラは、道路や舗装の土台となる路床の締固めのほか、ダムや空港、港湾、宅地造成などの大規模なインフラ整備や、防災・減災に向けた国土強靱化の取り組みにおける活用が期待されます。

本製品は、今後、さらにニーズが高まっていく自律化やICT施工にも対応していく予定です。

■主な特長

1. 運転席からの死角を少なくし、機械周辺の目視確認が可能
 運転席の窓を大きく、後方が確認できるモニターを設置することで、オペレータが機械周辺を幅広く見渡せるよう工夫し、安全性の向上につなげます。
2. 操作ガイダンスや注意喚起などを運転席内のモニターに表示
 駐車ブレーキの解除のし忘れや、排出ガス後処理装置の再生手順をモニターに表示するなど、さまざまな情報を確認できることで、経験の浅いオペレータの安全性向上を支援します。また、エンジンオイルや作動油などの次回のメンテナンスまでの時間をモニターで確認でき、より適正なタイミングでのメンテナンスの実施を促します。
3. 短い動線で、地上から日常点検が可能
 エンジンオイルレベルゲージやエアクリーナなどを車体の低い位置にレイアウトすることで、地上から日常的に点検を行うことが可能です。



駐車ブレーキの解除をし忘れの際の操作手順(左)と排出ガス後処理装置の再生手順(右)

■主な仕様

	項目	ZC120S-6
質量	運転質量	kg 12,400
	前軸質量	kg 6,400
	後軸質量	kg 6,000
	静線圧(前輪) N/cm (kgf/cm)	294 (30.0)
	動線圧(Lo/Hi)(前輪) N/cm (kgf/cm)	1,024 / 1,699 (104.5/173.4)
振動装置	振動数(Lo/Hi) ^{*1} Hz (vpm)	30.5 / 30.5(1,830 / 1,830)
	起振力(Lo/Hi) ^{*1} kN	156 / 300
	振幅(Lo/Hi) ^{*2} mm	1.0 / 2.0
性能	走行速度	km/h 0~11
	登坂能力 ^{*2} 度(%)	28.8 (55)
	最小回転半径	m 6.2
	締固め幅	mm 2,135
エンジン	メーカー	カミンズ
	型式	QSB4.5
	最大出力(グロス) kW/min ⁻¹ (PS/rpm)	108/2,000 (146/2,000)
	最大出力(ネット: JIS D0006-1) (PS/rpm)	106/2,000 (143/2,000)
	総行程容積(総排気量) L (cc)	4.46 (4,460)

*1: 理論値

*2: 理論値。地盤によって変化することがあります。

■問合せ先

日立建機株式会社 ブランド・コミュニケーション本部
 広報・IR部 広報グループ
 〒110-0015 東京都台東区東上野2-16-1
 電話: 03-5826-8152



土工用振動ローラ「ZC120S-6」

※ 掲載は、定期又は特定自主検査の対象機種とそのアタッチメント、及び検査測定器に限ります。

製品名	マカダムローラ向けオプション 「衝突被害軽減アシスト装置」	日立建機株式会社
発売年月	令和3年6月	

■概要

日立建機株式会社は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(以下、オフロード法)」2014年基準に適合したマカダムローラ ZC125M-5 のオプションとして、作業中に障害物を検知した際に、車体速度と物体までの距離に応じて、段階的に衝突被害の軽減を支援する装置(以下、衝突被害軽減アシスト装置)を設定し、日本国内向けに2021年6月より発売しました。

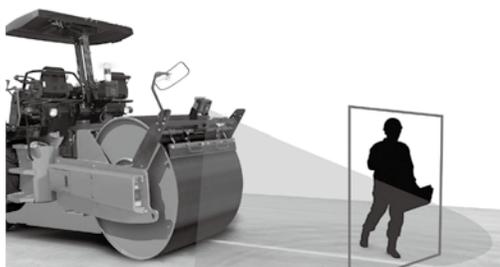
マカダムローラをはじめとする締固め機械は作業時に車体周辺に作業者が多く、接触による事故発生リスクが高いことから、建設・土木業界において安全性の向上が課題となっています。

衝突被害軽減アシスト装置は、車体速度と物体までの距離に応じて、3段階での警告・制御を行います。物体までの距離が離れている場合は、モニター表示や回転灯・ブザー音でオペレーターや周囲の作業者に警告し、距離が近接した場合には、エンジン回転数やブレーキを自動制御して車体を減速あるいは停止することで、衝突被害の軽減を支援します。

■主な特長

1. 見えにくい車体後方の物体を検知して、衝突被害の軽減を支援

物体検知センサーおよびカメラにより、車体から



装置イメージ

6 m以内、地上から0.6m以上の範囲の物体を検知します。

2. 車体速度と物体までの距離に応じ、適切なタイミングでの制御を実施

衝突被害発生のリスク度合いに応じ、LEVEL 1～3の各段階で警告、制御を行います。LEVEL 2で十分に減速した後にブレーキが作動するため、路面材の押出しを抑制します。急な飛び出しなどの場合、LEVEL 2の減速を待たず、LEVEL 3のブレーキが作動します。

3. 車体前方の物体検知に対応(オプション)

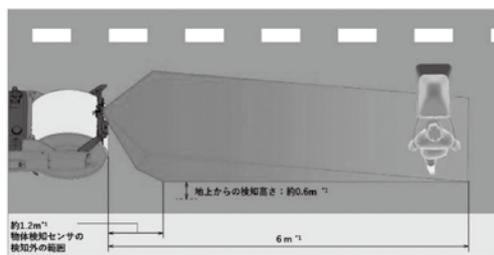
前進側へのオプション装備も可能。前後進のレバー操作に応じ、検知方向が切り替わります。

4. 注意喚起を促す回転灯を装備(オプション)

回転灯をオプション装備することで、車体周辺の作業者にも注意喚起を促し、衝突リスクの低減に寄与します。

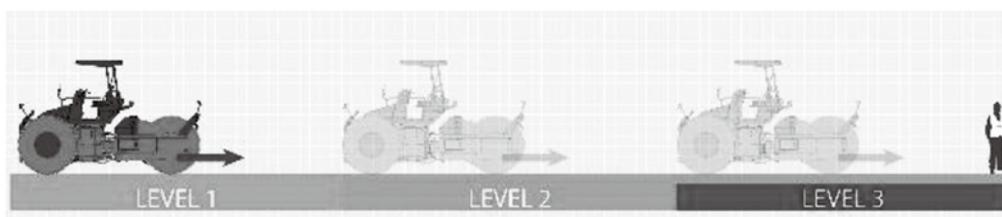
■問合せ先

日立建機株式会社 ブランド・コミュニケーション本部
広報・IR部 広報グループ
〒110-0015 東京都台東区東上野2-16-1
電話：03-5826-8152



検知範囲(後方)

※1 検知範囲は目安値であり、さまざまな状況により変化します。



距離に応じた警告・制御

LEVEL 1 : モニター上に「警告」と表示し、黄色の回転灯※2、ブザー音で警告。

LEVEL 2 : LEVEL 1の警告を継続しながら、エンジン回転数を低減させ減速。

LEVEL 3 : モニター上に「ブレーキ作動」と表示し、油圧ブレーキで停止。停止後は駐車ブレーキが作動。

※2 回転灯をオプション装備した場合にのみ有効。

※ 編集の都合により、ニュースリリース記載内容の一部を省略することがあります。掲載は無料です。

製品名	通信工専用高所作業車「AT-121TTE」	株式会社タダノ
発売年月	令和3年3月	

■概要

株式会社タダノはこのたび、通信工専用高所作業車「AT-121TTE」をモデルチェンジし発売しました。

過密市街地や狭い道路幅の住宅地など、通信工事における現場環境は多様です。そこでクラス最大の作業範囲や作業効率の向上、収納力アップをはじめとする利便性の向上などをコンセプトに、更なる快適性を追求した通信工専用高所作業車を開発しました。

また環境に配慮し、アクセル無段階制御を搭載。燃料消費量の改善やCO₂排出の削減、低騒音作業など、環境保全の取り組みを通じて、SDGs推進に向けた製品となっています。

■主な特長

- 通信工専用高所作業車としてクラス最大の作業範囲
最大地上高12.1m、積載荷重200kg。フルブーム全周同一性能の作業範囲が、余裕の作業と効率化に貢献します。
- バケット・スイングの高速化
左右104°のワイドなバケット・スイングの速度は、従来機から33%向上し、スピーディな作業を実現しました。
- 直下式ジャッキによる車幅内設置
従来のリンク式ジャッキから、車幅内設置の直下式ジャッキへ。壁際やガードレール脇でのジャッキ設置が容易になりました。また敷板の位置合わせもカンタンです。
- 下部操作を車両後端に集中配置
これまで分離されていた車両下部のブーム操作とアウトリガ操作を、車両後端部に集中配置。壁際設置などにおけるブーム操作の容易化や、安全確認もスムーズになりました。
- 環境に配慮した、アクセル無段階制御
アクセル無段階制御により、ムダなエンジン回転を抑え、燃料消費量を軽減します。併せて作業騒音の低減にもつながります。
- バケットへの昇降経路は車両左後方から
壁際やガードレール脇設置でも、バケットへのアクセスが容易になりました。さらにバケットへの昇降経路には、昇降ステップの大型化、昇降時の3点支持確保のための手すり設置により、昇降時の安全性を確保しました。
- 作業機材の積み込みに便利な大型荷台（オプション）
後方開閉式アオリ付きの大型荷台（2.6m²）をオプション設定。2.5mの長尺物も収納可能です。
- テレマティクスWEB情報サービス「HELLO-NET」標準装備
「HELLO-NET」で車両の稼働状況や位置情報・保守管理をインターネットでサポートします。車両の故障時における機体状況の把握及び迅速な対応等、アフターサービス面での有効活用につながります。

■主な仕様

	AT-121TTE
バケット積載荷重	200kgまたは2名
最大地上高	12.1m
最大作業半径	9.9m
ブーム長さ	3.78m～9.37m
ブーム起伏角度	-17.5°～80°
車両全長	5.155m
車両全幅	1.925m
車両全高	2.8m
車両総重量	7t未満
架装対象車	2.0t車クラス



通信工専用高所作業車「AT-121TTE」

■問合せ先

株式会社タダノ
マーケティング部
TEL：03-3621-7715

※ ニュースリリース送付先：〒101-0051千代田区神田神保町3-7-1ニュー九段ビル9F
(公社)建設荷役車両安全技術協会広報部
または E-mail：koho@sacl.or.jp まで

令和3年度「考案賞」対象考案の募集について

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

今年も当協会の顕彰規定に基づく「考案賞」の対象となる改善・考案の募集を次の内容で行います。

1. 募集目的

特定自主検査に係わる労働災害の防止および品質・効率向上に役立つ作業改善や検査技術、機器等の考案を奨励し、特定自主検査推進の意識高揚を図る。

2. 対象の改善・考案

建設荷役車両の特定自主検査および整備作業に関する作業・技術及び機器やその製作についての改善や考案で募集目的に対する効果が認められるもの。

注1)建設機械等の製品そのものの改良・開発は含まない。

注2)他団体に係る賞との重複応募は認めない。

3. 応募対象者

協会の行う事業に貢献し、顕著な功績が認められる企業所属の従業員（個人又はグループ）。

4. 募集条件

- (1) 応募者（グループ）が、自分で改善・考案したものであること。なお、開発・製作を専門に実施している者の応募はご遠慮願います。
- (2) 現在使用しているものであること。
- (3) 汎用品として市販していないものであること。（自社グループ内の利用は可）

5. 応募手続

- (1) 応募書類
 - ①「考案賞」応募申込書…1通（様式D₃）
 - ② 考案説明書…1通（様式E₃又は同等）

注1)用紙は原則として規定用紙を使用するが、同種のもので自製してもよい。応募申込書及び考案説明書はホームページよりダウンロードできます。

注2)各用紙下欄の作成要領を参照し、必要な略画、写真、図面等を添付すること。

注3)応募用紙を自製する場合は、ワードまたはエクセルを使用し、応募申込書は印刷し、考案説明書はCD及びEメール等の電子データでの提出を認める。その場合貼り付ける写真等はJPGまたはTIF形式を使用すること。

注4)応募書類は返却しない。

- (2) 送付先
当協会支部
- (3) 提出期限
令和4年1月14日（金）必着

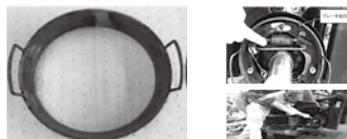
6. 審査

- (1) 審査は、協会本部に設置する顕彰審査会において行う。
- (2) 審査の項目としては、改善・考案の効果のほかに実用化状況等を加味する場合もある。
- (3) 改善・考案の内容が不明確の場合、審査の過程で追加資料の提出を求めることがある。

（令和2年度金賞作品）



「エアクリーナー吸塵機」



「カウンター式フォークリフトブレーキ組付け品質」

7. 表彰

- (1) 金賞（賞状及び賞金5万円）：3作品以内
銀賞（賞状及び賞金3万円）：5作品以内
努力賞（賞状及び図書券5千円）：5作品以内
参加賞（図書券2千円）（上記賞は除く）
- (2) 入賞作品は、令和4年3月に決定し、令和4年6月に開催する本部定時総会において公表する。
- (3) 賞状と賞品は、各支部の総会等において支部長から伝達する。

8. 入賞考案の紹介

入賞考案は、協会機関誌「建設荷役車両」及びホームページに企業名、入賞者の個人名及びその概要を掲載します。昨年度の入賞については本機関誌又はホームページをご覧ください。なお、応募された方に当該年の全応募考案の紹介資料を提供します。

問い合わせ先

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会
（担当：牛田 孝史）
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-7-1
ニュー九段ビル9階 ☎ 03-3221-3661(代)
Eメール：t_ushida@sacl.or.jp

「考案賞」応募対象の解説

この「考案賞」制度は、平成3年からスタートし今回で32回を数えます。平成8年からは「特定自主検査推進の意識高揚を図る。」目的であれば、単に技術的なハード面だけではなく、ソフト面（仕組みの改善等）も考案対象として間口を広げ、応募して頂けるようになりました。

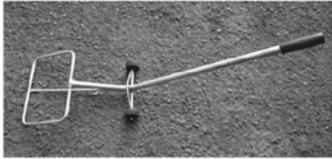
そこで、具体的な応募対象を以下に例示しましたので、参考にして、奮って応募して頂きたいと思えます。

傾向として、安全作業と作業効率改善の作品が、毎年審査員の高得点を獲得しています。埋もれている作品とアイデアを発表してみませんか。

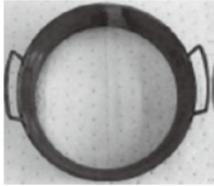
【 対象考案の具体例 】

	上段：ハード面説明 下段：ソフト面説明
労働災害の防止に係るもの	より安全な作業をするための治工具、用具等の考案。
	より安全な作業をすることができる方法、マニュアル等の考案。
整備品質の向上に係るもの	特自検、又はその関連作業で点検修理をより確実するための治工具、用具等の考案。
	特自検、又はその関連作業で点検修理をより確実するための方法、マニュアル等の考案。
作業の効率化に係るもの	特自検、又はその関連作業で点検修理を効率良くするための治工具、用具等の考案。
	特自検、又はその関連作業で点検修理を効率良くするための方法、マニュアル等の考案。
信頼される特定自主検査制度の推進に係るもの	特自検制度がより理解され、信頼されることにつながる計器、用具等の考案。
	特自検制度がより理解され、信頼されることにつながる方法、マニュアル等の考案。

考案賞応募例



リーチフォーク、キャスタータイヤ交換治具



カウンターフォーク、プレーキ組付け品質向



作業範囲測定用水糸巻取り治具



作業手順書

- 注 1) 建設機械の製品そのものの改良・開発は含まない。
- 注 2) 商品として専門に改良・開発されるものは含まない。

様式 D₃

令和 年 月 日

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 御中

「考案賞」応募申込書

企業の名称 _____

所在地（〒 - ） _____

責任者 役職 _____ 氏名 _____ ㊟

令和____年度の考案賞対象として、説明書を添えて下記を応募いたします。

記

1、考案の名称 _____

2、考案者

	所属	氏名	(フリガナ)
①	_____	/ _____	(_____)
②	_____	/ _____	(_____)
③	_____	/ _____	(_____)
④	_____	/ _____	(_____)
⑤	_____	/ _____	(_____)

3. 本件に関する連絡者

所属 _____ 氏名 _____ (_____)

作成要領：1) 応募申込には本用紙を使用して1件について1通を作成し、考案説明書(様式E₃又は同等)と合わせて、当協会支部宛に送付して下さい。(考案説明書はCD及びEメール等でも可能)

2) 責任者は、企業の代表者、又はこれに準ずる者(原則として部長クラス以上)とします。

3) 考案者が複数の場合は、全員の名前を記入し、チームリーダーを明らかにしてください。

支部	㊟
----	---

様式 E₃

令和 年 月 日

考 案 説 明 書

1. 考案の名称	
2. 考案の動機 〔従来方式の 問題点 等〕	
3. 考案内容	[構造、使用状況等の分かり易い写真及び図面を添付して下さい]
4. 考案の効果	
5. 特許・実用新案 〔出願〕 有 ・ 無	名 称： 出願者氏名： 出願年月日： 出願番号：
6. その他 考案期間、費用 実用化状況等	

作成要領；1) 考案説明書は、本用紙と同じ内容（1、考案の名称～6、その他）であれば別紙（A4 又は A3）でもかま

いません。但し、1 件 1 葉とします。考案説明書は CD 及び E メール等でも可能

2) 詳細説明文が長い場合は間隔を調整するか別用紙（A3 又は A4 判）を添付してください。

3) 考案の内容、構造、使用状況等の分かり易い写真（高解像度）及び図面を添付してください。

4) 案の効果は、安全性向上・作業効率・時間・費用低減等、具体的、数量的に記載してください

5) 特許、実用新案は、有、無いいずれかを○で囲み、「有」の場合は右欄に内容を記入してください。

6) その他は、考案・製作に要した期間・費用とその後の展開等を記入して下さい。

建 荷 協 の 動 き

(令和3年4月1日～令和3年5月31日)

運営幹事会

第28回運営幹事会(5月11日開催予定)は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から開催を中止し、資料を送付しました。

常設委員会

令和3年度 第1回特自検委員会

委員会(5月19日開催予定)は招集せず、議事内容の資料を書面にて確認、承認

議 事：

1. 令和2年度巡回指導実施報告
令和3年度巡回指導実施計画
2. 特自検記録表支援ソフト開始にあたって
(CD-ROM及びインストールマニュアル同封)
3. 令和2年度特自検管理者セミナー実績
令和3年度特自検管理者セミナー計画
4. その他
 - ・令和3年度新任巡回指導員研修開催について

令和3年度 第1回検査・整備技術委員会

月 日：令和3年5月17日(月)

場 所：WEB会議

議 事：

1. 令和2年度検査・整備技術委員会活動報告について
2. 令和3年度検査・整備技術委員会活動計画について
3. 令和元年度特自検実施台数について
4. 建荷協機関誌「技術解説」への寄稿依頼について

令和3年度 第1回研修委員会

月 日：令和3年5月19日(木)

場 所：WEB会議

議 事：

1. 令和2年度研修・教育実績について
2. 令和3年度研修・教育計画について
3. 令和3年度本部研修について
4. 副教材分科会について
5. 次回委員会開催日程について
6. その他

令和3年度 第1回広報委員会

委員会(5月12日開催予定)は招集せず、議事内容の資料を書面にて確認、承認

議 事：

1. 機関誌中期編集計画の検討(254号～256号)
2. 製品紹介(254号掲載分)
3. イラスト災害事例の検討(254号掲

- 載用初回案)
4. 常設委員会(広報委員会)「令和2年度活動状況」と「令和3年構想」
 5. 令和3年度強調月間リーフレットとポスター制作について
 6. 令和4年年間ポスター制作について
 7. 令和4年年間ポスター応募作一覧
 8. 令和4年年間標語の選考
 9. 令和3年度広報委員会開催スケジュール
 10. 令和3年度広報委員会名簿
 11. その他(令和3年度現場取材見学会について、新連載講座について)

会員入会状況

令和3年4月1日から令和3年5月31日までの会員の入会状況は次のとおりである。

種別	対象業種別	会 員 数 (社)			
		令和3年 3月末 会員数	令和3年4月1日～ 令和3年5月31日間異動		令和3年 5月末 会員数
			入 会	退 会	
正 会 員	製造業	26			26
	建設業	298		2	296
	荷役業	88		(1)	87
	製造工業等	44			44
	リース・レンタル	664		3	661
	検査・整備業	2,823	3(1)	13	2,814
	その他業種	175			175
賛 助 会 員		15			15
総 数		4,133	3(1)	18(1)	4,118

新入会員名簿

会員番号	名 称	〒	所在地	電話番号
75588	中三機械(株)	027-0037	岩手県宮古市松山6-30-2	0193-65-0630
76268	吉田重機(株)	034-0041	青森県十和田市相坂字小林335番地1	0176-51-6951
76270	シーエムシー中越モータース(株) ピットサークル燕店	959-1277	新潟県燕市物流センター1丁目4番地	0256-64-4667

令和3年度 特定自主検査資格取得研修・教育の予定表

令和3年度における当協会の支部が行う研修・教育の実施予定は別表1・2及び3のとおりです。

受講される場合は、毎号の機関誌（又は当協会のホームページ）を参考に、支部で実施予定を確認の上、お申込みください。なお、当協会の会員以外の事業所の方も受講できます。

事業所は、退職、異動等で検査者の不足が生じないよう資格取得研修の受講を計画してください。

1. 特定自主検査資格取得研修

（別表1）

厚生労働省の告示及び通達に基づく、事業内検査者及び検査業者検査員の資格取得のための研修です。

2. 特定自主検査者能力向上教育

（別表2）

厚生労働省の通達に基づき、「フォークリフト」「整地・運搬・積込み用、掘削用及び解体用機械」「締固め用機械」「基礎工事用機械」「コンクリート打設用機械」並びに「高所作業車」の特定自主検査者の業務に従事しておおむね5年以上経過した方を対象に、技術、知識を付与することを目的とした教育です。

3. 実務研修及び安全教育

（別表3）

・実務研修「記録表作成コース」

他の法令で資格を取得された方（建設機械施工士他）や記録表の記入要領について再び学びたい方などを対象に、特定自主検査の法令上の位置付け、検査方法、及び具体的な記録表の書き方

などについて学ぶことができます。

なお、このコースには座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

・実務研修「月次定期自主検査（フォークリフト）コース」

定期自主検査の中でも月次検査については、特定自主検査の検査員資格がなくても検査を行うことができます。日頃フォークリフトの整備や運転業務に従事されている方を対象に検査方法や記録表の記入要領について学ぶことができます。

なお、このコースも座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

・実務研修「月次定期自主検査（車両系建機）コース」

上記フォークリフトに引き続き車両系（整地・運搬等）の月次検査についても検査方法や記録表の記入要領について学ぶことができます。

なお、このコースも座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

・実務研修「検査業者業務点検コース」

登録検査業者として、正しい管理運営の在り方について点検表に基づいて、内容を理解しながら研修をします。

・安全教育

厚生労働省の通達に基づき定期自主検査対象であるクレーン機能付油圧ショベルのクレーン部分（「建機付属クレーン部分」という。）並びにショベルローダー等の定期自主検査者を対象とした安全教育です。

※研修・教育の予定は、都合により中止・延期等変更になる場合がありますので事前に開催支部にお問い合わせください。また最新の予定は協会HPをご覧ください。

令和3年度 特定自主検査資格取得研修（事業内） 予定表（別表1）

（令和3年5月24日現在）

地区	支部	フォークリフト			車両系建設機械		
					整地・運搬・積込・掘削・解体用機械		
北海道・東北地区	北海道	7/14～16	EF				
	青森	9/3～4	EF			5/14～15	EF
	岩手						
	宮城						
	秋田						
	山形						
関東地区	福島					8/27～28	EF
	茨城	9/27～28	EF			8/16～17	EF
	栃木	4/9～10	EF			12/10～11	EF
	群馬	10/8～9	EF				
	埼玉	8/25～27	EF			2/2～4	EF
	千葉	4/15～17	EF	9/16～18	EF	7/7～9	EF
	東京						
中部地区	神奈川	7/8～10	EF	11/11～13	EF	8/16～18	EF
	新潟						
	富山						
	石川						
	福井						
	山梨						
	長野	11/10～12	EF				
	岐阜						
	静岡	6/17～18	EF	7/9～10	EF	5/28～29	EF
近畿地区	愛知	3/10～12	EF			3/1～3	EF
	三重	10/22～24	EF			9/10～12	EF
	滋賀						
	京都						
	大阪	2/15～20	EF				
	兵庫						
中国地区	奈良					9月初旬	EF
	和歌山						
	鳥取	9/15～17	EF				
	島根						
	岡山	8/2～3	EF			5/31～6/1	EF
四国地区	広島					10/7～8	EF
	山口	5/21～22	EF				
	徳島						
	香川						
九州・沖縄地区	愛媛	9/16～18	EF			7/15～17	EF
	高知					9/17～18	EF
	福岡	9/16～18	EFG			7/8～9	EF
	佐賀					10/12～13	EF
	長崎						
	熊本	10/23～24	EF				
	大分						
宮崎							
鹿児島							
沖縄							

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Eは14時間、Fは9.5時間、Gは5.5時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和3年度 特定自主検査資格取得研修（事業内）予定表（別表1）

（令和3年5月24日現在）

地区	支部	車両系建設機械			高所作業車	
		基礎工事用	締固め用	コンクリート打設用		
北海道・東北地区	北海道					
	青森					
	岩手					
	宮城					
	秋田					
	山形					
関東地区	福島					
	茨城		1/11～12 EF		9/7～8 EF	
	栃木			10/29～30 EF		
	群馬				9/17～18 EF	
	埼玉	6/15～17 EF			1/26～28 EF	
	千葉				7/27～29 EF	
	東京				6/17～19 EF	9/9～11 EF
神奈川				3/3～5 EF		
中部地区	新潟					
	富山					
	石川					
	福井					
	山梨					
	長野					
	岐阜					
	静岡				10/1～2 EF	1/19～20 EF
	愛知	4/6～8 EF				
三重				11/12～14 EF		
近畿地区	滋賀					
	京都					
	大阪					
	兵庫					
	奈良					
	和歌山					
中国地区	鳥取				10/13～15 EF	
	島根					
	岡山					
	広島					
	山口				6/10～12 EF	
四国地区	徳島					
	香川					
	愛媛		9/2～4 EF		5/27～29 EF	
	高知					
九州・沖縄地区	福岡				11/19～21 EF	
	佐賀		7/7～8 EF			
	長崎					
	熊本					
	大分					
	宮崎					
	鹿児島					
沖縄						

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Eは14時間、Fは9.5時間、Gは5.5時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和3年度 特定自主検査資格取得研修（検査業） 予定表（別表1）

（令和3年5月24日現在）

地区	支部	フォークリフト				車両系建設機械	
						整地・運搬・積込・掘削・解体用機械	
北海道・東北地区	北海道	5/26～28 BCD	7/7～9 BCD	8/25～27 BCD	9/27～10/1 A	6/16～18 BC	9/15～17 BC
	青森	8/19～21 BCD					
	岩手	6/16～18 BC				7/19～30 ABC	
	宮城	9/16～18 BC				6/17～19 BC	
	秋田	6/10～12 BC				8/5～7 BC	
	山形	10/26～28 BCD				6/15～17 BC	
	福島	7/14～16 BC					
関東地区	茨城	9/13～15 BCD	10/4～6 BCD			7/5～9 ABC	
	栃木	7/9～11 BC				6/16～18 BC	
	群馬	7/8～10 BC				9/3～5 BC	
	埼玉	6/2～4 BCD	7/12～16 ABCD	3/7～11 ABCD		12/6～10 ABC	
	千葉	6/17～19 BC	12/16～18 BC			10/25～27 BC	
	東京						
	神奈川	6/17～19 BC	10/21～23 BC			9/8～10 BC	
中部地区	新潟	6/3～5 BCD	8/5～7 BCD			6/17～19 BC	
	富山	9/8～10 BC				7/7～9 BC	
	石川	6/24～26 BC					
	福井	6/17～20 BC				7/8～10 BC	
	山梨						
	長野	7/7～9 BC				9/8～10 BC	
	岐阜	8/31～9/2 BC				7/6～8 BC	
	静岡	6/8～12 ABC	6/28～30 BC	9/8～10 BC	2/8～10 BC	5/11～15 ABC	12/7～9 BC
	愛知	5/28～30 BC	6/18～20 BC	9/16～20 ABC	10/7～9 BC	9/28～30 BC	
三重	9/3～5 BC				5/21～23 BC		
近畿地区	滋賀	2/16～18 BCD					
	京都	9/16～18 BC				11/11～13 BC	
	大阪	7/5～11 ABCD	10/19～24 BC			6/8～13 BC	
	兵庫	7/21～23 BCD				6/17～19 BC	
	奈良						
	和歌山	6/24～26 BC					
中国地区	鳥取	9/15～17 BC					
	島根	7/14～16 BC					
	岡山	6/28～7/2 ABC	3/14～16 BC			10/25～29 ABC	
	広島	11/4～6 BC				10/18～22 ABC	
	山口	9/16～18 BC					
四国地区	徳島	7/8～10 BC					
	香川						
	愛媛	6/24～26 BCD	1/14～16 BCD				
	高知						
九州・沖縄地区	福岡	6/9～13 ABCD	7/29～31 BCD	1/13～15 BCD		2/16～18 BC	
	佐賀	2/2～4 BC					
	長崎	10/27～31 ABC					
	熊本	6/4～13 ABCD				2/4～13 ABC	
	大分	6/4～13 ABC				8/25～29 ABC	
	宮崎	7/7～11 ABC				9/8～12 ABC	
	鹿児島	10/20～24 ABC				7/7～11 BC	
	沖縄	6/2～6 ABCD				6/23～27 ABC	

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Aは35時間、Bは21時間、Cは18時間、Dは13時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和3年度 特定自主検査資格取得研修（検査業） 予定表（別表1）

（令和3年5月24日現在）

地区	支部	車両系建設機械			高所作業車	
		基礎工事用	締固め用	コンクリート打設用		
北海道・東北地区	北海道				6/2～4 BC	9/1～3 BC
	青森					
	岩手				9/7～9/9 BC	
	宮城				7/21～23 BC	
	秋田				6/2～4 BC	
	山形				4/20～22 BC	
関東地区	福島				9/9～11 BC	
	茨城		10/12～14 BC		7/19～21 BC	
	栃木				8/26～28 BC	
	群馬				6/25～27 BC	
	埼玉	10/18～22 ABC	6/14～18 ABC		2/14～18 ABC	
	千葉				10/12～14 BC	
	東京				11/11～13 BC	
中部地区	神奈川				1/13～15 BC	
	新潟				8/26～28 BC	
	富山					
	石川				11/18～20 BC	
	福井				9/9～11 BC	
	山梨					
	長野				6/15～17 BC	
	岐阜				6/1～3 BC	
	静岡				9/16～18 BC	12/21～23 BC
近畿地区	愛知	3/15～17 BC			6/25～27 BC	11/5～7 BC
	三重		7/2～4 BC		6/18～20 BC	
	滋賀					
	京都				7/1～3 BC	
	大阪				9/8～10 BC	
中国地区	兵庫			10/20～22 BC	3/2～4 BC	
	奈良					
	和歌山					
	鳥取				10/13～15 BC	
四国地区	島根					
	岡山	11/29～12/1 BC			7/12～14 BC	2/14～18 ABC
	広島				9/7～11 ABC	
九州・沖縄地区	山口				6/10～12 BC	
	徳島					
	香川					
	愛媛				10/7～9 BC	
	高知					
	福岡				10/20～24 ABC	
	佐賀				8/3～5 BC	
九州・沖縄地区	長崎					
	熊本					
	大分		9/17～19 BC		10/8～10 BC	
	宮崎		6/10～12 BC		9/30～10/2 BC	
	鹿児島				5/26～30 ABC	
沖縄	11/24～28 ABC			10/20～24 ABC		

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Aは35時間、Bは21時間、Cは18時間、Dは13時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和3年度 特定自主検査能力向上教育予定表(別表2)

(令和3年5月24日現在)

地区	支部	フォークリフト		車両系建設機械								高所作業車		
				整地・運搬・積込、掘削及び解体用			基礎工事用		締固め用		コンクリート打設用			
北海道・東北地区	北海道	6/9												
	青森	8/25			8/27									
	岩手	8/5												
	宮城	10/15			4/23							8/20		
	秋田	9/7			9/8									
	山形	7/23			8/27								6/29	
	福島	6/24	8/6	9/22	6/17	9/17				10/20			8/5	
関東地区	茨城	7/13	12/7		6/29	2/8							9/6	
	栃木	6/9	8/5		4/22	7/27					8/1			
	群馬	10/18			4/22	10/11							9/24	
	埼玉	10/6			9/8			10/27		3/2			5/19	
	千葉	9/3			9/28									
	東京	7/8											10/20	
	神奈川	12/10			10/14									
中部地区	新潟	7/14			7/28								9/8	
	富山	6/3			6/29	7/14				9/16			8/3	
	石川	8/4			8/25								6/9	
	福井	10/19			7/29								8/26	
	山梨	7/29			6/22									
	長野	8/27			9/17					6/25			7/28	
	岐阜	2/8			6/29								6/15	
	静岡	1/13	2/5		8/4	9/25				6/5			6/23	7/3
	愛知	7/15	8/19		7/6			3/23					7/2	
近畿地区	三重	8/27			6/4								7/9	
	滋賀	7/28												
	京都	1/11			8/27									
	大阪	1/26												
	兵庫	9/10			11/26							11/19	2/25	
	奈良													
中国地区	和歌山													
	鳥取	9/3			11/26									
	島根	8/5												
	岡山	9/27	10/18		9/15	11/11	11/24							
	広島	6/8	6/15	6/22	7/6	7/13	7/20						7/7	7/27
四国地区	山口	11/11			11/26								10/23	
	徳島				6/25									
	香川	10/30											8/28	
	愛媛	8/21			8/28									
九州・沖縄地区	高知				11/18									
	福岡	8/6			2/4								12/9	
	佐賀	11/25			11/25					9/8			9/8	
	長崎	8/3	3/25		6/9	8/4				9/22	11/16			
	熊本	9/11			1/29									
	大分	11/13			10/23									
	宮崎	7/16			6/18	7/2							1/8	
	鹿児島	9/4			8/21									
沖縄	1/14			12/10									8/27	

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中の網掛けは終了した教育を示します。

令和3年度実務研修、定期自主検査安全教育予定表(別表3)

(令和3年5月24日現在)

地区	支部	実務研修								安全教育				
		記録表作成コース				月次定期自主検査 (フォークリフト)		月次定期自主検査 (建機)		業務点検 コース	建機付属 クレーン部分	ショベル ローダー等		
		座学		実技		座学	実技	座学	実技					
北海道・東北地区	北海道	10/13										6/22		
	青森										6/5			
	岩手	11/5			6/29	7/16					10/28			
	宮城	9/10	11/12										11/19	
	秋田	5/18	8/24	11/25								8/27	10/20	7/6
	山形	7/16	9/9										5/12	
	福島	7/1											6/23	
関東地区	茨城				8/24	1/19						10/26	8/23	1/27
	栃木	11/26									2/4	9/3	10/22	
	群馬	6/3									10/21	11/8		
	埼玉	11/17					6/23				12/15	7/7		
	千葉	1/27									11/5	8/18	12/7	
	東京													
	神奈川	9/3	11/26					9/17					10/15	
中部地区	新潟	10/20									10/13	7/7		
	富山	2/17												
	石川				9/29	10/27					3/23	10/15		
	福井	6/24					9/2							
	山梨	9月下旬										11月下旬		
	長野	7/15										6/9		
	岐阜	11/16										10/7	7/20	7/21
		4/27	4/28	8/20							11/11	6/3	1/22	2/16
	静岡	9/4	10/6	11/6										
		12/14	1/15											
近畿地区	愛知	8/4			8/2						11/25	9/7	8/25	
	三重	5/28	6/23	9/29			8/27		8/5		1/28	6/9	7/31	
	滋賀													
	京都											10/8		
	大阪	1/12												11/24
	兵庫	2/10	2/18				3/11				8/20	6/4	1/26	
	奈良											7/9		
中国地区	和歌山	11/6										11/7	11/13	
	鳥取												11/19	
	島根	11/17										6/22		
	岡山				7/5							8/30		
	広島	7/8	2/3										6/4	
四国地区	山口											4/16		
	徳島	11/9										6/24		
	香川									6/26				6/12
	愛媛	4/17			11/27					7/28		4/10	7/16	1/22
九州・沖縄地区	高知											10/22		
	福岡				9/29						3/11	8/20	7/20	
	佐賀	8/20										9/3		
	長崎				11/14	12/17		11/17		11/17				
	熊本	6/26	3/12								8/28	11/13		
	大分	7/3					7/17		9/25			6/26		
	宮崎	1/15			6/19			5/8			8/2	4/17	4/10	
沖縄地区	鹿兒島	12/11					6/19		4/17			8/7		
	沖縄	9/10							7/15	7/16		8/13	5/14	

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中の網掛けは終了した研修・教育を示します。

令和3年度 運転技能講習予定表

(令和3年5月24日現在)

●フォークリフト												
秋田				7/16~		9/17~						
茨城	4/14~	5/10~	6/9~	7/8~	8/18~	9/13~	10/11~	11/12~	12/9~	1/13~	2/10~	3/14~
石川						9/2~						
山梨		5/8~		7/10~		9/11~		11/6~				
大阪			6/16~			9/15~	10/6~	11/2~				3/2~
兵庫	4/9~											
長崎		5/13~		7/8~	8/26~	9/16~						
熊本				7/22~								
宮崎	4/21~	6/2~	6/23~		8/25~		10/20~					

●車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）												
兵庫							10/14~					
鳥取			6/18~				10/15~					
鳥根						9/21~						
長崎			6/10~									

●車両系建設機械（解体用）												
鳥取		5/15~										

●不整地運搬車												
鳥取				7/16~								
鳥根			6/2~									

●高所作業車												
青森	4/10~	5/22~	6/19~	7/9~		9/18~	10/16~	11/13~				3/12~
群馬		5/29~				9/25~						
滋賀	4/7~		6/8~	7/6~		9/7~	10/13~		12/1~			
奈良		5/14~		7/17~		9/24~		11/27~				3/18~
鳥取	4/14~				8/19~							
鳥根						9/3~						
沖縄	4/9~		6/18~	7/9~			10/15~	11/12~			2/18~	

注1 各講習会日程の最初の日を掲載しています。詳細は該当支部にお問い合わせください。

注2 表中の網掛けは終了した講習を示します。

お知らせ

〔令和3年度〕
各種研修の受講料

1 資格取得研修

(A) 事業内検査者研修

(単位：円)

(B) 検査業者検査員研修

(単位：円)

研修の種類	14時間コース		8.5・9.5時間コース		5.5時間コース		35時間コース		21時間コース		18時間コース		13時間コース	
	会員	一般	会員	一般	会員	一般	会員	一般	会員	一般	会員	一般	会員	一般
1 フォークリフト	47,850	51,920	43,450	47,520	42,350	46,420	76,450	80,520	54,450	58,520	52,250	56,320	51,150	55,220
2 整地・運搬・積込み用、掘削用及び解体用機械	56,210	63,580	51,810	59,180	—		89,210	96,580	66,110	73,480	61,710	69,080	—	
3 基礎工事用機械	58,190	65,120	53,790	60,720	—		91,190	98,120	66,990	73,920	62,590	69,520	—	
4 締固め用機械	49,390	53,790	44,990	49,390	—		77,990	82,390	55,990	60,390	53,790	58,190	—	
5 コンクリート打設用機械	63,800	68,970	58,300	63,470	—		113,300	118,470	80,300	85,470	78,100	83,270	—	
6 高所作業車	51,920	57,200	47,520	52,800	—		86,020	91,300	62,920	68,200	60,720	66,000	—	

2 能力向上教育

(単位：円)

教育の種類	会員	一般
1 フォークリフト	12,760	14,630
2 整地・運搬・積込み用、掘削用及び解体用機械	13,530	15,840
3 基礎工事用機械	11,880	13,310
4 締固め用機械	10,890	11,880
5 コンクリート打設用機械	10,780	11,770
6 高所作業車	10,230	10,890

3 実務研修

(単位：円)

研修の種類	座学コース		実技コース		
	会員	一般	会員	一般	
記録表作成コース	フォークリフト	12,760	14,960	18,260	20,460
	整地・運搬・積込み用、掘削用及び解体用機械	13,090	15,400	18,590	20,900
	基礎工事用機械	13,090	15,400	18,590	20,900
	締固め用機械	12,870	15,070	18,370	20,570
	コンクリートポンプ車	12,870	15,070	18,370	20,570
月次定期自主検査コース	高所作業車	12,760	14,960	18,260	20,460
	フォークリフト	6,710	7,260	12,210	12,760
検査業者業務点検コース	車両系建機	9,240	9,680	14,740	15,180
			会員	一般	
		9,350		10,230	

4 安全教育

(単位：円)

教育の種類	会員	一般
建機付属クレーン部分	7,480	8,030
ショベルローダー等	12,980	15,070

- (注) 1. 受講料には、テキスト代及び消費税10%が含まれています。
 2. 当協会会員所属の受講者の受講料は、協会が教材費の一部を負担した額です。
 3. 本表に含まれるテキスト代以外の教材類を追加する等の際は、本表受講料と異なる場合があります。
 4. 受講料は、研修を実施する建荷協・支部に納金してください。

特定自主検査者資格取得者名簿

(令和3年4月1日～令和3年5月31日)

資格の種類ごとに氏名五十音順・敬称略

事業内検査者資格取得者

■フォークリフト

飯島和典	牛尾雅和	角口晃治	佐々木友裕	土屋勇	旗手直紀
池田大地	大藏竜也	小林祐介	末口元	出口丈司	松田泰典
市村智広	奥城守	小森健太郎	田尻勝利	那須基希	水田章夫
上野克彦	柏木武	是恒寛	谷本元臣	野川学	村島良和
上山巖	加藤慎治				

■整地・運搬・積みみ用・掘削用及び解体用機械

北川善彦	近藤国政	須合勝吾	谷畑盛吾	二神健一	森田千大
小林弘幸	佐藤康彦	寒川晃	中島卓	松本良	

■高所作業車

飯田陽一	加藤堅也	土屋真貴人	長島徹也	能勢正史	山本誠耶
大島源佳	河野真寛	中村貴之	永易正吾	前田章	和田護
小崎将人	佐名木真也				

検査業者検査員資格取得者

■フォークリフト

青木順平	石橋孝之	犬飼弘教	上澤奈緒人	太田寛人	小熊聡
足立暁彦	泉大祐	井上啓太	上原拓也	大野博明	尾曲将志
有村和真	伊東飛翔	今井朝陽	浦川敏昭	岡田大和	甲斐一俊
井浦和則	伊藤翼	井水大地	大隈栄三郎	岡本誠也	影山太郎
五十嵐康裕	伊藤弘成	岩永芳雄	大嶋喬暁	小方虹輝	葛西芳幸

加藤啓太	小 山 翔 大	菅 野 洋 一	富 田 幸 祈	林 野 裕 淳	矢 田 丈 司
門 良 太	小 山 琢 己	鈴 木 源 太	中 浦 峻 太	原 野 泉 介	柳 田 美 次
金 城 和 希	斉 須 雅 明	鈴 木 稜 司	中 尾 達 大	平 泉 岡 拓	山 口 仁 也
鎌 田 啓 德	齋 藤 祐 太	鈴 木 野 直 樹	中 山 友 聡 大	福 岡 田 尚 馬	山 田 達 啓 也
上 條 利 隆	齋 藤 らい 康 行	隅 野 川 貴 美 迪	長 友 主 佑 一	藤 田 一 尚 曉	山 本 田 健 二 郎
川 中 僚 一 護	坂 田 郁 斗	芹 川 橋 寛 迪	新 田 陽 一 鈴	堀 之内 慎 吾 信	吉 田 田 尚 貴 也
川 畑 浩 樹 太	佐々木 ベイリス 宏 成 迪 榮 志	高 谷 山 伸 由 達 恭 見	西 山 澤 和 希 弥 優	堀 本 兼 弘 翔 祐 希	吉 田 田 尚 貴 秀 志
川 村 鐘 一 也	サハン 首 藤 祐 義 榮 直	千 葉 賀 下 井	野 澤 田 口 中	松 本 浦 山 村 森 門	吉 田 田 尚 貴 秀 志
木 原 孝 明 矢 幸 寛	重 清 白 鳥	寺 富	野 橋 島	三 浦 山 村 森 門	若 鷺 渡
河 野 進 幸	白 鳥	富	野 橋 島	三 浦 山 村 森 門	若 鷺 渡

■整地・運搬・積込み用・掘削用及び解体用機械

飯塚幸治	海老原優大	上山雄一	佐野毅	中島伸二	前澤和樹
磯谷大河	大川博	岸和也	斯波裕太	沼田佳祐	松本佳裕
伊藤光美	小川裕大	木田裕之	砂川尚仁	波多野純一	八木橋貴志
井上善友	奥山友輔	河野孝明	高居良太	濱登駿	山木雄司
漆坂剛	小倉和也	坂勝也	高橋惇	福田茂之	山下高広
榎本聡	桶田竜司	佐藤幹祐	田澤守保		

■締固め用機械

泉田亮 | 宇内智充 | 三宅俊郎 | 森本誠基 | 横目宏之 |

■コンクリート打設用機械

青木重亮 | 小野剛 | | | |

■高所作業車

塩原浩亮	岡敏美	斉藤誠也	常賀達生	兵藤智紘	村松右京
青木弘行	岡本涼	佐藤直純	寺田文晃	廣岡徹	森典之
池内佑輔	小川松雄	澤山正彦	戸澤翔	藤原政也	森岡孝幸
池村涼太郎	金子健人	山藤良樹	仲村将哲	堀田勇氣	森本心太
石原文人	金田卓也	篠澤知明	中村吉秀	堀川智也	山口渡
市原新悟	川原智之	澁谷健太	那須秀樹	本望努	山本一輝
江川慎悟	菅金三	菅佐原拓也	鳴田美美仁	前田剛志	山本勝己
及川優樹	菊地皓司	鈴木良	西口暉人	益田卓実	吉川裕樹
大鹿寛	菊池勝利	種市童夢	西野浩一	宮本脩平	渡邊修也
大森健太郎	小早川稔	付田恒輝	西野友大	村上慧	

支 部 一 覧

令和3年6月1日現在

支部名	〒	所在地	電話番号	FAX
北海道	060-0004	北海道札幌市中央区北4条西7丁目 NCO札幌ホワイトビル9階	011(271)7720	011(271)7580
青 森	030-0902	青森県青森市合浦1-10-7	017(765)5432	017(765)5433
岩 手	020-0873	岩手県盛岡市松尾町17-9 岩手県建設会館2階	019(626)2616	019(626)2627
宮 城	983-0842	宮城県仙台市宮城野区五輪1-6-9 五輪黄葉ビル201号	022(298)2150	022(298)2151
秋 田	010-0923	秋田県秋田市旭北錦町1-14 秋田ファーストビル210号室	018(823)8258	018(823)8260
山 形	990-8681	山形県山形市流通センター2-3 山形流通団地組合会館内	023(666)6581	023(666)6582
福 島	960-8035	福島県福島市本町5-8 福島第一生命ビル4階	024(521)8065	024(521)8248
茨 城	311-3116	茨城県東茨城郡茨城町長岡3652-559	029(292)6546	029(292)6547
栃 木	321-0912	栃木県宇都宮市石井町3149-28 卸商業団地協同組合別館202	028(656)6111	028(656)6112
群 馬	371-0805	群馬県前橋市南町4-30-3 勢多会館1階	027(223)3448	027(223)3451
埼 玉	330-0062	埼玉県さいたま市浦和区仲町1-12-1 カタヤマビル5階A	048(835)3050	048(835)3055
千 葉	260-0026	千葉県千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館3階303号	043(245)9926	043(245)9927
東 京	102-0072	東京都千代田区飯田橋1-7-10 山京別館4階	03(3511)5225	03(3511)5224
神奈川	231-0011	神奈川県横浜市中区太田町6-87 横浜フコク生命ビル10階	045(664)1811	045(664)1817
新 潟	950-0961	新潟県新潟市中央区東出来島11-16 新潟県自動車会館内	025(285)4699	025(285)4685
富 山	930-0094	富山県富山市安住町3-14 富山県建設会館内	076(442)4358	076(442)6748
石 川	920-0806	石川県金沢市神宮寺3-1-20 コマツ石川(株)レンタル事業部事務所2階	076(208)3302	076(208)3303
福 井	910-0854	福井県福井市御幸4-19-25 広田第2ビル2階	0776(24)7277	0776(24)9507
山 梨	409-3867	山梨県中巨摩郡昭和町清水新居1602 ササモトビル2階	055(226)3558	055(226)3631
長 野	380-0872	長野県長野市妻科426-1 長野県建築士会館4階	026(232)2880	026(232)6606
岐 阜	504-0843	岐阜県各務原市蘇原青雲町5-34	058(382)5011	058(382)5120
静 岡	422-8045	静岡県静岡市駿河区西島127	054(236)4008	054(236)4031
愛 知	450-0002	愛知県名古屋市中村区名駅4-23-13 大同生命ビル3階	052(586)0069	052(586)0010
三 重	514-0009	三重県津市羽所町601 アカツカビル4階	059(223)7177	059(223)7180
滋 賀	520-0043	滋賀県大津市中央4-5-33 SKビル2階C	077(521)5260	077(521)5352
京 都	600-8009	京都府京都市下京区四条通室町東入函谷鈴町78 京都経済センター4階	075(351)0250	075(351)0251
大 阪	540-6591	大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 OMM19階	06(6944)6611	06(6944)6612
兵 庫	650-0024	兵庫県神戸市中央区海岸通8 神港ビル703号	078(332)4936	078(392)8921
奈 良	630-8124	奈良県奈良市三条松町29-3 奈良県電気工事工業組合内	0742(93)5181	0742(93)5181
和歌山	640-8287	和歌山県和歌山市築港3-23 和歌山港湾労働者福祉センター1階	073(435)3337	073(435)3338
鳥 取	682-0802	鳥取県倉吉市東巖城町12 中部建設会館1F	0858(22)1400	0858(23)4667
島 根	690-0012	島根県松江市古志原2-20-54	0852(27)0340	0852(27)0556
岡 山	700-0907	岡山県岡山市北区下石井2-8-6 第2三木ビル205	086(222)6039	086(222)4296
広 島	733-0011	広島県広島市西区横川町1-11-24 山田オフィスビル202	082(291)1150	082(291)3413
山 口	753-0083	山口県山口市後河原25 愛山会ビル2階	083(932)1858	083(932)1859
徳 島	770-0808	徳島県徳島市南前川町4-14 船橋設計ビル2階	088(622)8243	088(624)8258
香 川	760-0062	香川県高松市塩上町10-5 池商はせ川ビル113	087(837)3668	087(837)3671
愛 媛	790-0003	愛媛県松山市三番町7-8-1 山本ビル2階	089(941)6740	089(941)7361
高 知	780-0072	高知県高知市杉井流9-11	088(882)5025	088(882)0837
福 岡	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-14 正和ビル4階402	092(474)2246	092(474)2312
佐 賀	849-1301	佐賀県鹿島市大字常広139-2	0954(62)6315	0954(62)6368
長 崎	854-0065	長崎県諫早市津久葉町5-121 津久葉エステートビル213号室	0957(49)8000	0957(49)8001
熊 本	860-0845	熊本県熊本市中央区上通町7-32 蚕糸会館3階	096(356)6323	096(356)6325
大 分	870-0844	大分県大分市花園2-6-51 大分県林業会館4階	097(540)7177	097(540)7127
宮 崎	880-0802	宮城県宮崎市別府町2-12 宮崎建友会館3階	0985(23)5061	0985(23)5129
鹿 児 島	891-0123	鹿児島県鹿児島市卸本町6-12 オロシティーホール内	099(260)0615	099(260)0646
沖 縄	901-2131	沖縄県浦添市牧港5-6-3 南海ビル4階	098(879)3744	098(879)3757

お知らせ

けんいきょう
建荷協発行図書等のご案内

令和3年度版

安全を みんなでつくる 特自検

建設荷役車両安全技術協会

ご案内する図書等は公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会（略称 建荷協（けんいきょう））都道府県各支部にてご購入いただけます。

■ 特定自主検査制度の入門解説

特定自主検査制度についての入門編

安全と特定自主検査のおはなし

「なぜ特定自主検査が必要なのか？特定自主検査とはどのようなものか？」をご理解いただけるよう、イラストを使いわかり易く解説したものです。

(H25.6改訂C版発行)



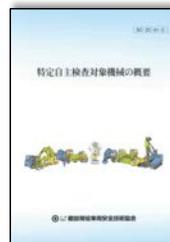
特定自主検査の対象機械について

特定自主検査対象機械の概要

特定自主検査を行うべき機械等の代表的なものを写真、図で示し、特徴、用途などの概要をまとめたものです。

また、一部対象外機械についても掲載しています。

(H29.3改訂D版発行)



品名	品番	会員価格	一般価格
安全と特定自主検査のおはなし	PC-Z0-02-C	220円	330円

品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査対象機械の概要	SC-Z0-01-D	660円	1100円

■ 特定自主検査済標章

特定自主検査 実施年月の明示

特定（定期）自主検査済標章

- 特定自主検査済標章
労働安全衛生規則に基づき、フォークリフト、不整地運搬車、車両系建設機械及び高所作業車について、年1回（不整地運搬車は2年に1回）実施することとされている特定自主検査を行った年月を明らかにするため、厚生労働省のご指導のもとに作成した標章です。検査業者用と事業内用とがあります。

- 定期自主検査済標章
労働安全衛生規則に基づき、「建機付属クレーン部分」、「ショベルローダー、フォークローダー及びストラドルキャリアー」について、年1回実施することとされている定期自主検査（年次検査）を行った年月を明らかにするため当該機械に貼る標章です。

品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査済標章（事業内）	BP-LH-03	330円	990円
特定自主検査済標章（検査業）	BP-LR-03		
定期自主検査済標章	BP-LRI-03		

特定自主検査済標章
(事業内)特定自主検査済標章
(検査業)

定期検査済標章

【注記】 検査済標章の色は、毎年1月1日をもって暦年ごとに変更されます。旧年発行の標章は同日以降使用できませんのでご注意ください。

特定自主検査に係る標章等について

標章の使い方から管理まで

特定自主検査を行ったときに貼付する標章等の取扱いについて解説したものです。

(H27.4改訂E版発行)

品名	品番	会員価格	一般価格
標章の使い方から管理まで	BC-Z0-05-E	220円	330円



表記の価格は全て消費税10%込の価格です。

■ 特定自主検査の実施

検査方法と判定基準

定期自主検査指針

労働安全衛生法、第45条第3項の規定に基づき公示にされた特定(定期)自主検査の検査項目、検査方法および判定基準をまとめたものです。

品名	品番	会員価格	一般価格
フォークリフト	SG-LC-01-A	330円	440円
不整地運搬車	SG-GR-01	220円	330円
車両系建設機械	SG-KC-01-B	440円	550円
高所作業車	SG-HL-01	330円	440円
フォークリフト(月次)	SG-LC-11-A	220円	330円



検査結果の記録

特定(定期)自主検査記録表

特定(定期)自主検査を行った際に、当該機械の検査結果および補修措置等を記録しておくものです。

- ・記録表は3年間の保存義務があります。
- ・記録表は公益社団法人建設荷役車両安全技術協会の著作物です。無断で複製、転用することを禁じています。
- ・記録表は機械性能の向上に伴い随時改訂しています。



品名	品番	会員価格	一般価格
特定(定期)自主検査記録表(普通紙)	1冊50部	495円	770円
特定(定期)自主検査記録表(ノンカーボン)	1冊25部(正副2枚で1部)	737円	1100円

記録表の記入方法

特定自主検査記録表の記入要領

特定自主検査記録表は、機械性能の向上により随時改訂されています。

最新の記録表についても正確に記入できる様、記入方法を解説しています。

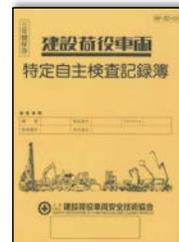
(R2.4改訂Q版発行)



記録表の保存

特定自主検査記録簿

省令により3年間保存義務がある特定自主検査記録表をファイリングしておくためのものです。



品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査記録表の記入要領	TC-ZC-02-Q	440円	550円

品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査記録簿	BP-ZC-03	110円	165円

特定自主検査業務を適正に行うための帳簿

特定自主検査台帳

- ・特定自主検査台帳 事業内用
特定自主検査済標章の受払を管理する「標章受払簿」と、保有機械の特定自主検査実施状況管理に使用する「標章貼付簿」を一体にしたものです。
- ・特定自主検査台帳 検査業者用
特定自主検査済標章の受払を管理する「標章受払簿」と、特定自主検査業務を適正に行うための「特定自主検査台帳」、検査料収納の管理に使用する「検査料金収納簿」を一体にしたものです。

品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査台帳 事業内用	BC-ZC-04-A	550円	825円
特定自主検査台帳 検査業者用	BC-ZC-07	1650円	2200円



表記の価格は全て消費税10%込の価格です。

■ 検査者標識

検査者標識は、「検査者であることを第3者が識別できる」ことと、「検査者としての意識の高揚」を目的として検査者に着用させるものです。

協会では**腕章**及び**ワッペン**（作業服等にアイロンで接着させる方式）とヘルメット等に貼付できる**シール**を用意しています。

・検査者腕章、特自検腕章

特定自主検査資格者であることを示すため着用するものです。

品名	品番	会員価格	一般価格
検査者腕章	BP-YC-01	1100円	1650円
検査者ワッペン	BP-YC-02	330円	550円



検査者腕章



検査者ワッペン

・検査者シール（検査業者用、事業内用）

検査者が特定自主検査を行える資格の種類（検査業者、事業内）、機種を示すためのものです。

特定自主検査対象機種	検査業者用	事業内用	会員価格	一般価格
フォークリフト	BP-YC-11-A	BP-YC-21	110円	165円
整地・運搬・積込用・掘削用および解体用機械	BP-YC-12-A	BP-YC-22		
基礎工事用機械	BP-YC-13-A	BP-YC-23		
締固め用機械	BP-YC-14-A	BP-YC-24		
コンクリートポンプ車	BP-YC-15-A	BP-YC-25		
高所作業車	BP-YC-16-A	BP-YC-26		
不整地運搬車	BP-YC-17-A	BP-YC-27		



■ 教育資料

当協会では実施する特定自主検査者資格取得研修および能力向上教育等で使用されている図書です。

・特定自主検査マニュアル 特定自主検査の検査方法等を機種、部位別に解説しています。

品名	品番	会員価格	一般価格
検査機器	TQ-ZC-01-E	660円	990円
原動機(ディーゼル・ガソリン)	TQ-KE-01-F	2420円	3630円
油圧装置	TQ-KH-01-E	1540円	1980円
上部旋回体 下部走行体	TQ-KB-01-E	2420円	3080円
ジブ・リーダー・ワイヤーロープ	TQ-KJ-01-D	1210円	1540円
フォークリフト	TQ-LC-02-G	1320円	1980円
不整地運搬車	TQ-GR-01-E	880円	1320円
車両系建設機械（整地等用）	TQ-GC-02-A	3300円	5280円
〃（基礎工事用）	TQ-FC-01-E	3080円	4620円
〃（締固め用）	TQ-RC-01-D	1210円	1760円
〃（コンクリート打設用）*改訂	TQ-CP-01-F	1100円	1760円
高所作業車 *改訂	TQ-HL-01-E	1430円	2200円
特定自主検査と補修	TC-ZC-01-F	550円	880円



・能力向上教育テキスト 機種別に最新の技術等を紹介しています。

品名	品番	会員価格	一般価格
フォークリフト *改訂	TL-LC-01-E	3520円	5280円
整地・運搬等&ブレーカ	TL-GE-01-F	3630円	5500円
締固め用機械	TL-RC-01-C	1650円	2530円
基礎工事用機械	TL-FC-01-D	1980円	2970円
不整地運搬車	TL-GR-01-B	660円	990円
コンクリートポンプ *改訂	TL-CP-01-D	1540円	2420円
高所作業車 *改訂	TL-HL-01-D	990円	1540円



・その他

品名	品番	会員価格	一般価格
フォークリフト安全運転テキスト	T0-LC-02-B	1540円	1540円
ショベルローダー等定期自主検査マニュアル検査・整備基準値表	TQ-SR-02-C	1760円	2640円
業務点検コーステキスト	TT-YC-01-C	1100円	1650円



表記の価格は全て消費税10%込の価格です。

■ 特定自主検査業務の管理

特定自主検査の適正実施のために

特定自主検査業務マニュアル

検査業者の業務や事業内検査の業務を適正に遂行するための管理のポイントおよび実務の詳細を説明したものです。

また、特定自主検査全般を管理する事業者が知っておかなければならない労働災害防止に関する法令や事業者の責務等をまとめたものです。(R1.11 発行)

注記) 本書は特定自主検査業務マニュアル検査業者用(BP-ZC-01-F)、事業内検査(BP-ZC-02-E)および特定自主検査とその管理(BC-ZC-06-D)の内容を合わせたものです。



品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査業務マニュアル	BC-ZC-08	1650 円	2530 円

特定自主検査制度に関する法令、通達

特定自主検査関係法令通達集

特定自主検査制度に関する法の条文ごとに関係する最新の規則・通達等をまとめたものです。

(H28.3 改訂) 版発行)



品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査関係法令通達集	BC-ZC-03-J	2310 円	3520 円

特定自主検査の実施経歴の管理

特定自主検査実施経歴書

特定自主検査の実施時期を明確にするとともに、特定自主検査が、いつ、だれが実施したかを記入できるようになっており、機械の履歴管理に活用できます。

品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査実施経歴書(フォーク)	BP-LC-01	55 円	110 円
経歴書ゼニルケース(フォーク用)	BP-LC-02	165 円	330 円
特定自主検査実施経歴書(建機用)	BP-OH-01	55 円	110 円
特定自主検査実施経歴書(解体機用)	BP-OH-02	55 円	110 円

登録検査業者の諸手続きについて

特定自主検査登録検査業者必携

登録検査業者が、厚生労働大臣または都道府県労働局長に登録申請・業務規程変更等の際に留意すべきポイントを解り易く解説したものです。また、参考となる業務規程例を示してあります。

(H31.4 改訂 K 版発行)



品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査登録検査業者必携	BC-ZC-01-K	550 円	880 円

特定自主検査制度についての疑問を解説

特定自主検査に関する Q & A

特定自主検査制度に関するさまざまな疑問を「Q&A 集」としてまとめたものです。

(H26.10 改訂 A 版発行)



品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査に関する Q & A	BC-YC-01-A	440 円	770 円

お問い合わせ先



表記の価格は全て消費税 10%込の価格です。

編 集 後 記

“ご安全に”。職場で当たり前のように使うこのフレーズは、家族には不思議に聞こえるようです。父親が家を出るときに母親が“ご安全に”と声をかける。その様子を見ていた子どもは、なぜ“いってらっしゃい!”が“ご安全に”なの？

子どもの素直な問いかけに母親は何と答えるのでしょうか。「今日一日を無事に元気に過ごせますようにという“おまじない”みたいなものかな」そんな言い訳が、子どもに伝わったら素敵ですわね。

254号も皆さまの現場の安全を願い企画編集しました。誌面作成に当たりご協力いただいた皆様には、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

コロナ禍で広報委員が集まって誌面作りに取り組むことが難しくなっていますが、会員の皆様に楽しんでいただけるよう頑張りますので、これからもよろしくごお願い申し上げます。

[広報委員：佐藤 裕治 記]

機関誌に対するご意見・ご要望等は E-mail : koho@sacl.or.jp までお願いします。

機関誌編集 広報委員会

委員長

山本 泰徳 [池田内燃機工業㈱]

平山 哲也 [大成建設㈱]

副委員長

佐藤 裕治 [住友建機㈱]

兼八 淳 [日本通運㈱]

室町 正博 [日通商事㈱]

委員

津川 元 [コベルコ建機㈱]

栞原 正行 [コマツ]

小澤 真一 [事務局：常務理事]

比留間 茂 [キャタピラー]

水島 敏文 [事務局：広報部]

新谷 勝幸 [日立建機㈱]

吉田 岳 [同]

田中 喜昭 [コマツカスタマーサポート㈱]

加藤 彰秀 [㈱豊田自動織機]

在田 浩徳 [清水建設㈱]

(令和3年6月1日現在)

「建設荷役車両」 VOL. 43 第254号

令和3年6月22日 印刷

令和3年7月1日 発行

発行所 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-7-1 (ニュー九段ビル9F)

TEL:03 (3221) 3661 / FAX:03 (3221) 3665

URL <http://www.sacl.or.jp/>

編 集 広報委員会

発行人 小澤 真一

印刷所 株式会社東伸企画

ユーザー名 (U) saclhp パスワード (P) saclhp

機関誌「建設荷役車両」広告掲載案内

建設荷役車両に関わるすべての企業のために
私たちの協会があります。

当協会は、建設荷役車両(車両系建設機械、荷役運搬機械)の検査・整備業、リース・レンタル業、ユーザー、メーカーなどから構成された団体です。

これらの企業が協力して、建設荷役車両の性能の保持向上と作業の安全を確保するために定期(特定)自主検査制度の定着化を推進しています。

販売促進の可能性をつむぎ出すために・・・。

B(Business) to B(Business) & H(Heart) to H(Heart)

「建設荷役車両」広告掲載料金
B5版 隔月奇数月発行 発行部数：6,500部

掲載場所	頁/色	掲載料金
表紙2	1頁/1C	42,000円
表紙3	1頁/1C	36,000円
表紙4	1頁/4C	54,000円
前 付	1頁/1C	34,000円
後 付	1頁/1C	30,000円

- 広告原稿締切日：機関誌発行前々月末
- 上記広告掲載料金以外に図案制作、エアブラシ、トレース及び製版等の制作費及び消費税は別途頂戴致します。

お問い合わせ先 広報部まで TEL：03-3221-3661
E-mail：koho@sacl.or.jp



公益
社団法人 **建設荷役車両安全技術協会**
SAFETY ASSOCIATION OF CONSTRUCTION AND LOADING VEHICLES

会長 酒井 信介

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-7-1 ニュー九段ビル9F
TEL：03-3221-3661 FAX：03-3221-3665 URL <http://www.sacl.or.jp/>



高所作業車用安全補助器具

空柱

sorabashira

大幅に安全性UP!
時間を短縮!!



「はさまれん棒」をセットすることで挟まれ事故の危険を音と光でお知らせします。手摺の上下2箇所固定するので、設置箇所が自由に選べます。

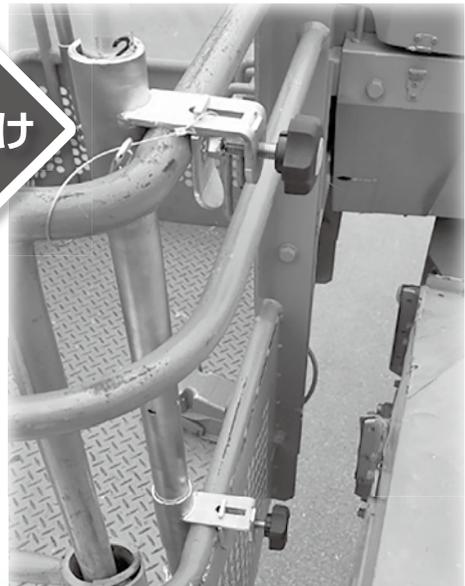
下部ネジ部はスライド式で高さ調整(幅調整)可能。
脱落防止用ワイヤー付きでさらに安心!



かんたん取付け

【商品概要】※空柱のみ

- 寸法: 700mm
- 重さ: 1750g
- 材質: ステンレス製



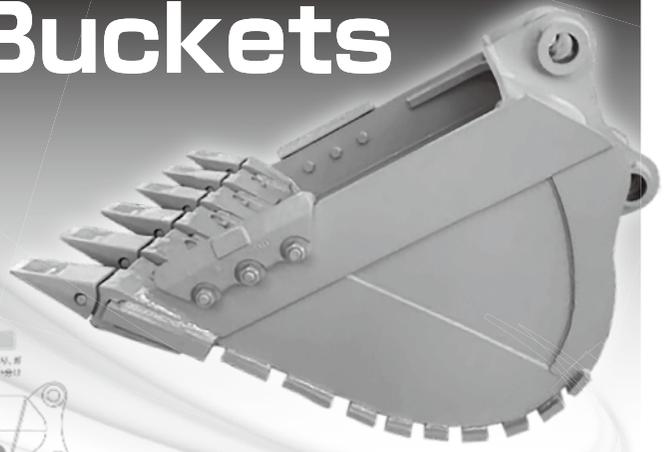
コロナ感染症対策実施中

〒500-8238 岐阜県岐阜市細畑3-13-6
TEL: 058-201-0701 FAX: 058-201-0710
Mail: info@sanki-stms.com URL: sanki-stms.com

中部産機システムズ株式会社

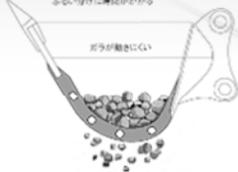


Buckets



従来のスケルトンバケット

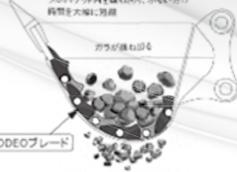
バケットの運動がすばやく、
ふるい分けに機能がわかる



力が無駄にない

RODEOバケット

数センチサイズのブレード機能により、
石のバケット内を篩わ取り、ふるい分け
機能を大幅に改善



力が無駄にない

RODEOブレード

各種バケット・フォークお問い合わせください

Attachments & Forks



ソーティンググラップル



トリマー



ソーティンググラップル



フェリンググラップル



グリップカッター



ホイルチップパー



排土板フォーク



ボーク (シリンダー保護)



打込みC形シム

改造、オーダーメイド等現場のお悩みに最適な解決策をご提案いたします
コロナ感染症対策実施中

〒500-8238 岐阜県岐阜市細畑3-13-6

TEL : 058-201-0701

FAX : 058-201-0710

e-mail : info@sanki-stms.com

CHUBU SANKI SYSTEMS

◀ kamakura

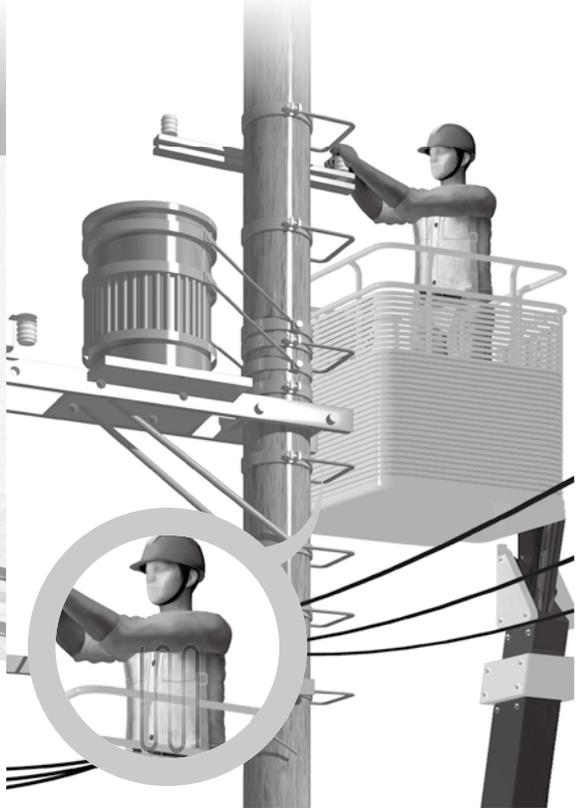
フォークリフト

高所作業車

作業を快適に。

運転者を直接冷却する

熱中症対策の決定版!!



◎小型チラーで作業者をピンポイント冷却

座席に取り付けた
専用シートに冷水を循環。
背中・尻・太もも裏を
効率的に冷却します。
※専用バッテリーで電気工事不要



インナーとして着用する
専用ウェアに冷水を循環。
脇の下を含め上半身と
全体を効果的に冷却します。
※AC100V仕様



確実に冷える
熱中症対策なら

COOLEX®
クーレックス

TEL (03)3403-0881

株式会社鎌倉製作所 COOLEX 事業部
〒107-0061
東京都港区北青山 2-7-11
FAX:03-3403-6353

クーレックス

検索

ちよつと待って

まだ使えます、そのエンジン!

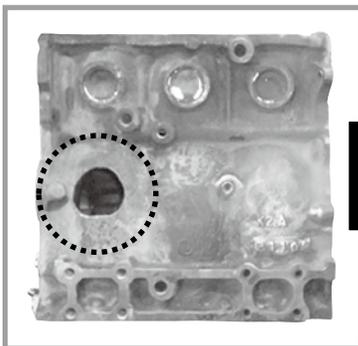


あきらめる前に是非ご一報下さい!!

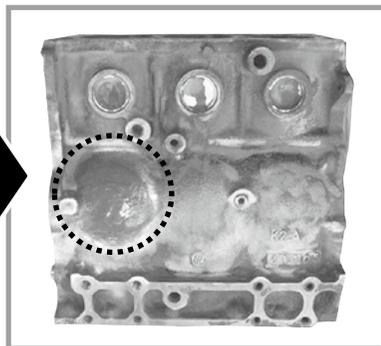
★シリンダーブロック足出し補修再生★



E-mail: info@web-krw.com



補修前



補修後

皆さんがお困りの事解決いたします!

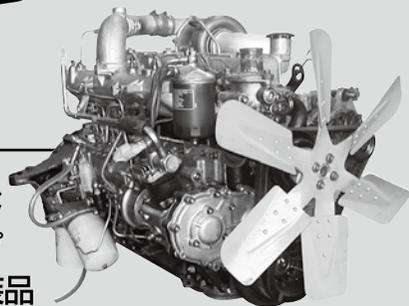
リビルト品の活用は

★リビルトエンジン、リビルト噴射ポンプ、エンジン付属品リビルト、リビルト電装品のことならおまかせください。

不況脱出の切り札!

業務内容

- リビルトシリンダーブロック ●リビルトシリンダーヘッド
- リビルトターボチャージャー ●リビルトウォーターポンプ
- リビルト噴射ポンプ ●リビルト噴射ノズル ●リビルト電装品
- 非常用発電機のエンジンメンテナンス ●不良エンジンの買取り・・・まで



新たな気持ちで50周年に向けスタートします。



製品に関するご質問・価格等のお問合せは下記まで。

TEL.076-272-3334 FAX.076-272-3332

詳細はホームページで (👉 URL:<http://www.web-krw.com> E-mail: info@web-krw.com)



ボッシュサービスステーション

株式会社 北日本リビルトワークス 〒920-2132 石川県白山市明島町山142番地1

※ 弊社の全再生品は、整備業者様へのみの販売とさせていただきます。(脱着・整備等が困難なため、エンドユーザー様への販売はしていません。)



大型解体機向け 超高耐久カップリング

大型解体機、高所解体機の分解・組立作業を効率よくクリーンに！ セインのTLXシリーズ 超高耐久フラットフェースカップリング

採用事例



超高耐久

- 独自のデザインにより類まれな耐久性を実現
激しい圧力変動に適応します。
- 各解体アタッチメントにも適応します。

分離時液ダレ無し

- 分離時油モレのないフラットフェースデザインはアタッチメント交換時の環境汚染を防ぎ、作動油の補充量を大幅に削減します。

高いメンテナンス性

- 主な消耗部品はユーザー様にて交換が可能
作業現場のダウンタイムを削減します。
- センドバックメンテナンスにより分解修理が可能、長期間安心して使用できます。

TLXシリーズ主な特徴

高合金鋼ボディ

- 高い耐圧力性能を実現します。
- 最高使用圧力42MPa

ピンロック採用

- 振動による緩みを防ぎます。

シール交換可能

- 最も消耗の激しい接続部シールはユーザー交換が可能です。
- その他製品内部のシールも消耗した場合、工場にて分解修理します。

シールプロテクトデザイン

- 接続時、シール材(Oリング)が作動油 流路に露出せず、急激な流速変化(サージフロー)が発生した時にシール材をダメージから守ります。

フラットフェースデザイン

- 分離時作動油のモレがありません。
- 作業環境の汚損を防ぎます。
- 異物混入を防ぎ機器の性能を維持、寿命を延ばします。

大きなねじ込みピッチ

- 効率良く接続、分離が可能です。
- 傷つきにくく清掃が容易です。

亜鉛ニッケルメッキ採用

- 高い防食性能を実現します。



◀ TLXの動画や
製品詳細はこちら。
ぜひご覧下さい。